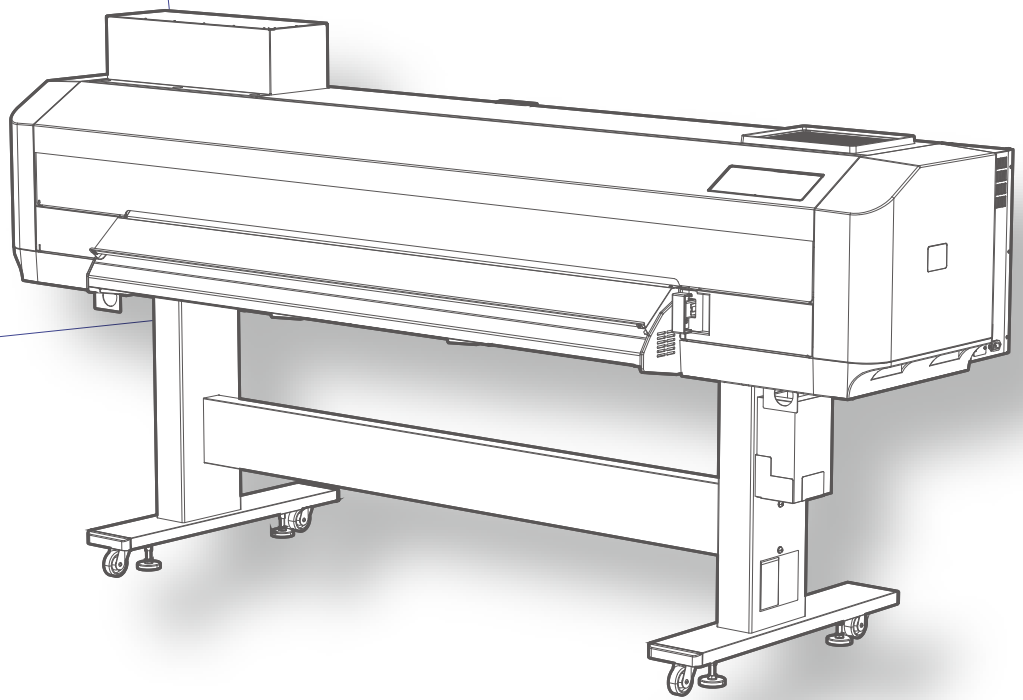
MUTOH

XPJ-1682UR

取扱説明書

使い方とメンテナンス方法



XPJ1682URJ-A-06

免責事項、商標、法規

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

目次

安全にお使いいただくために 7

安全上のご注意 8
- 安全表示について 8
- 感電・ショート・火災について 9
- 設置について 11
- 取り扱いについて 12
- インクと廃液について 14
- 警告ラベル 16
- 操作ラベル 20

ご使用の前に 22

各部の名称・はたらき 23
- 正面 23
- 背面 25
- プリンターコントロールパネル 27
- ダイレクトキーの説明 29
- プリンターコントロールパネルのインジケーター表示 31
- スロットの番号とインクの配列 32

コンピューターとの接続 33

本製品のシステム構成 35

MSM の起動 / 表示 / 終了の方法 36
- MSM の起動方法 36
- MSM の表示方法 36
- リモートパネルの表示方法 37
- MSM の終了方法 37

VerteLith のインストール 38

本製品の印刷エリア 39

使用できるメディアの条件 40
- メディアサイズ 40
- メディアの取扱上の注意 41
- メディアの使用後の注意 41

ご使用上のお願い 42
- 電源をオフにしないでください 42
- 定期的に使用してください 42
- 定期的にメンテナンスしてください 42
- 定期的に交換が必要な部品があります 43
- 本製品の「環境条件」に適合する場所でご使用ください 43

基本的な使い方 44

作業の流れ 45

電源のオンオフ 46
- 電源をオンにする 46
- 電源をオフにする 47

目次

メディアのセット方法 49
プリンターにメディアをセットする 49
ノズルチェックとクリーニング 61
ノズルチェックをする 61
ヘッドクリーニングをする 65
印刷精度の調整 67
ヘッド調整 68
画質調整（調整印刷） 72
メディア送り補正 78
印刷を開始する 84
データを印刷する 84
ジョブの停止 / 再開 / キャンセル 89
くわしい使い方 90
ヘッド高さについて 91
メディア搬送時のメディア全体にかかる加圧力を変更する 93
加圧アームの加圧力を個別に弱める / キャンセルする 94
プリンターコントロールパネルからの各種操作 97
メディア送り 97
印刷の一時停止／再開 98
印刷のキャンセル 99
メディアのカット 100
次回、かくはんが必要となるまでの時間を表示 101
印刷中にプリンターコントロールパネルでできること 102
スリープモード 103
スリープモードにするときの流れ 103
スリープモードを解除する 104

各種設定 105

キー操作 106
印刷設定メニュー 108
ノズル選択 119
自動ノズルチェック（オプション品装着時） 121
テスト印刷メニュー 123
メンテナンスメニュー 126
プリンターステータスメニュー 128
システム情報メニュー 130
ロール紙残量管理メニュー 131
読み取り 133
メディア調整メニュー 135
インクかくはんメニュー 137
印刷停止設定 137
スリープモードメニュー 141

目次

メンテナンス 142

メンテナンスについて....143
保護具をつける....144
付属の手袋の装着方法....144
インクをかくはんする....145
インクカートリッジをお使いの場合....154
大容量パックアダプターをお使いの場合....156
インクの確認と交換....158
インク残量を確認する....158
インクの交換が近づいたら....159
インクの交換....160
廃液タンクを空にする....167
手順....168
1日の作業終了後のメンテナンス....171
Step1. デイリーメンテナンスの準備....172
Step2. スリープモードにする....173
Step3. デイリーメンテナンスを行う....174
Step4. デイリーメンテナンスを終了する....183
ご使用に合わせたメンテナンス....185
ヘッドクリーニング....185
漬け置きクリーニング....186
各部の清掃....189
カラーセンサーの清掃....191
内部の清掃....193
消耗品の交換....195
フラッシングボックス用吸収材の交換....197
クリーニングワイパーの交換....201
カッターの交換....204
UV-LED ランプのフィルターの交換....207
UV-LED ランプのガラスの交換....209
排気ファンフィルターの交換、清掃....212
長期間使用しない場合 (長期保存)....216
輸送・移動....218
移動の方法....218
輸送の方法....221
インク排出後の初期充てんの方法....222

困った時は 227

メッセージとエラーメッセージ....228
動作状態表示....228
メッセージ型エラー表示と対処方法....232
スマートチップリカバリー....237

目次

再起動が必要なエラー……238
トラブルシューティング……239
設置・導入時のトラブル……239
動作に関するトラブル……241
メディアに関するトラブル……242
印刷に関するトラブル……244
メディアが詰まった場合……249

付録 252

本製品の仕様……253
オプション・サプライ品リスト……256
インク……256
サプライ品……257
オプション品……258
改訂履歴……259
お問い合わせ先……260

安全にお使いいただくために

ご使用の前に
基本的な使い方
各種設定
メンテナンス
困った時は
付録

安全上のご注意

安全上のご注意

安全表示について

本書では、人への危害や財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたい内容をマーク表示しています。
各マークが持つ意味を理解し、本製品を安全に正しくお使いください。

■指示を無視したり誤った取り扱い方で生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警　告	回避しないと死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ 注　意	回避しないと軽傷または中程度の傷害、または製品などの損害に結びつく可能性がある内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分して説明しています。

	してはいけない「禁止」です。 この中に描かれた図は、具体的な禁止の内容を示しています。
	必ず実行しなければならない「強制・指示」です。 この中に描かれた図は、具体的な強制・指示の内容を示しています。

■その他のマーク表示

Important !	とくに注意したり、お守りいただきたい内容を示しています。
Note	補足説明や参考情報を示しています。
☞	関連した内容の参照先を示しています。

Note

マーク表示中の本体の各部名称については、取扱説明書の「ご使用の前に」を参照してください。

感電・ショート・火災について

⚠ 警　告

	湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。 感電・火災のおそれがあります。		**必ず指定の電源コンセントを使用してください。** 指定外の電源コンセントを使うと、感電・火災の原因となります。
	破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災の原因になります。		**電源コンセントから直接電源を取ってください。** タコ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。		**電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。** アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。
	以下の場所には、アース線を接続しないでください。 • **ガス管** 引火や爆発するおそれがあります。 • **電話線用アース線および避雷針** 落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。 • **水道管および蛇口** T 配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。		**アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。** • **電源コンセントのアース端子** • **銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線** • **D 種接地工事を行っている接地端子**
			インクは、火気や高温のものから遠ざけた冷暗所に保管してください。 UV 硬化インクは危険物第 4 類第 3 石油類（非水溶性液体）に該当します。引火すると火災の原因となります。
	必ず指定の電源コードを使用してください。 • 指定品以外の電源コードを使用すると、感電・火災の原因となります。指定の電源コードについては、販売店までお問い合わせください。 • 電源コードは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。 • 電源コードは使用する国の安全規格、電源 電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。		
	通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。		**毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。** 通風孔をふさぐと本製品内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。

	ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。 感電または故障するおそれがあります。		**各種コード（ケーブル）は、本書で指示されているとおりに配線してください。** 配線を誤ると、火災のおそれがあります。
	本製品内部に水気が入らないように注意してください。 電気回路がショートするおそれがあります。		**異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。** 感電・火災の原因となります。すぐに電源ボタンをオフし、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサポートまでご連絡ください。
	電源コードを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。 • **電源コードを加工しないこと。** • **電源コードの上に重いものを載せないこと。** • **電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。** • **電源コードを熱器具の近くに配線しないこと。**		**電源プラグを取り扱う場合は、以下の事項に注意してください。** 取り扱いを誤ると火災の原因となるおそれがあります。 • **電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。** • **電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。**

設置について

⚠ 警　告

❗	**本製品は、以下のような場所に設置してください。** • **水平な場所** • **他の機器の振動が伝わらない場所** • **湿気やホコリの少ない場所** • **温度・湿度の変化が小さい場所** • **直射日光が当たらない場所** • **水などがかからない場所** • **風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所** • **電磁波などのノイズが少ない場所**	❗	**換気ができる場所に設置してください。** **作業場を十分換気してください。** インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。 頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。
		🚫	**この機器は子供がいる可能性がある場所での使用には適していません。**
❗	**本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外してください。** ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。		

⚠ 注　意

🚫	**プリンターに搭載されている LED-UV ランプ以外に、作業エリア内に直射日光や人工光などで UV 光が発生する場合があります。そのような場合、意図しないインクの硬化によって、(インク詰まり・メンテナンスユニットの機能障害・ヘッド破損など) プリンターが故障するおそれがあります。以下のガイドラインを守ってください。** • **直射日光のあたる場所に本製品を設置しないでください。** 待機時は、必ずフロントカバーを閉めてください。 • **カバーを取り外さないでください。本製品を改造しないでください。** 本製品を改造・分解すると、保証の対象外になります。		
❗	**本製品を移動する場合は、必ず 3 人以上で作業してください。また、水平の状態を保ったまま移動してください。**	🚫	**本製品を傾けたりしないでください。** 内部のインクが漏れるおそれがあります。また、正常動作が保証できません。

取り扱いについて

⚠ 警　告

	本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 転倒・転落により、けがをするおそれがあります。
	可動部に触れないでください。 負傷や製品の故障の原因になります。
	本製品にインクを充填後は、インクが漏れるおそれがあるため、衝撃を与えないようにゆっくり動かしてください。

⚠ 注　意

	UV LED 装置から少量の紫外線（青白い光）の漏れがありますが、安全なレベルに抑えられています。本製品を取り扱う場合は以下の点に注意してください。 • **紫外線を至近距離で長時間見つめないでください。眼障害の原因になります。** • **紫外線を至近距離で長時間皮膚にあてないでください。炎症をおこす原因になります。**
	清掃時は、以下を守ってください。 • **必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、マスク）を着用のうえ、作業を行ってください。** • **清掃作業は、必ず指示された手順通り行ってください。** • **必ず未使用のクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから、作業を行ってください。** 専用メンテナンス液以外を使用すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。 • **クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。** 皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。 • **クリーンスティックは再利用しないでください。** 付着したホコリ等により、プリントヘッドが破損するおそれがあります。

	プリントヘッド外周を清掃するときは、プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。 プリントヘッドが破損するおそれがあります。		**クリーニングワイパーを清掃するときは、クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。** 油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなるおそれがあります。
	本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。 故障の原因となります。		**シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。** 塗装を傷める原因となります。
	フロントカバーおよびメンテナンスカバーの取り扱いは以下を守ってください。 • **カバーに送風機、空調設備などの強い風が当たる場所に設置しないでください。** • **突然閉まるおそれがあります。** • **カバーを開けるときは、周囲の安全を十分に確認してください。** • **周囲の物や人にぶつかるおそれがあります。**		
	印刷物に触れる前に、インクが確実に硬化しているか確認してください。硬化しているかわからない場合は、直接皮膚や衣類が触れないよう、必ず手袋を着用してください。		**インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。** • **本製品の電源をオフにする** • **本製品の電源コードを抜く** • **フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける** • **プリンターを移動する**

インクと廃液について

⚠ 警　告

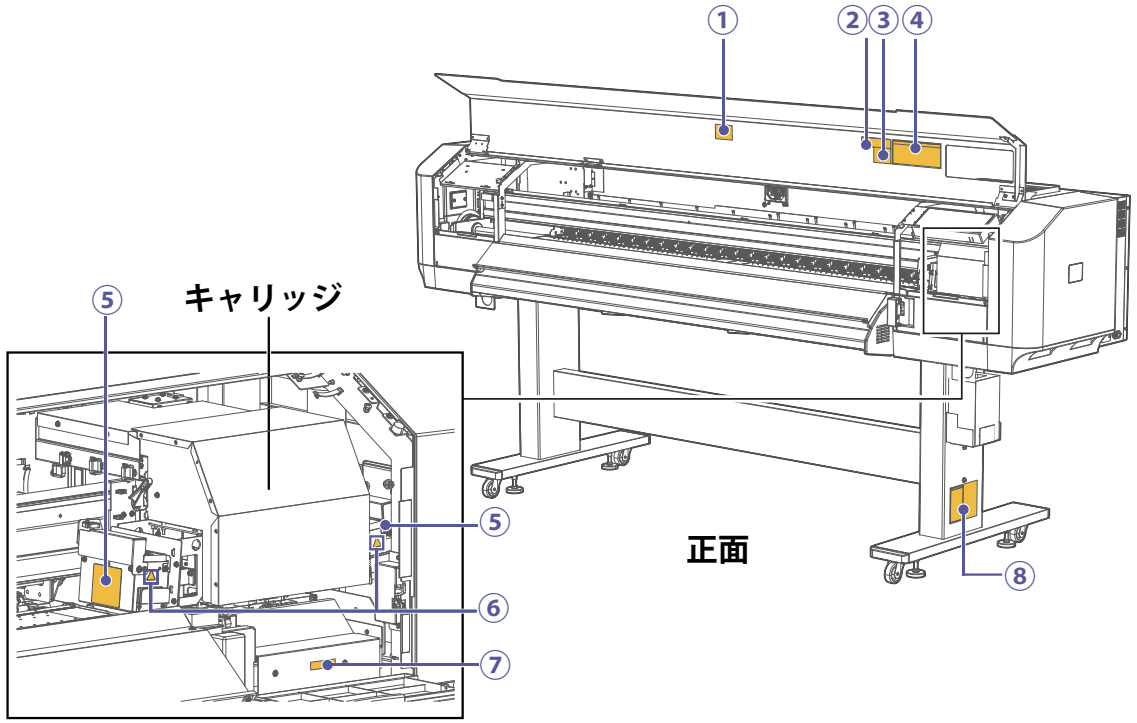
	UV 硬化インク、廃液を使用する、または取り扱う際の安全注意事項については、安全データシート (SDS) に詳しく記載されています。これらの液体を取り扱う際は、SDS をよくお読みください。 最新の SDS は、弊社ホームページ（https://www.mutoh.co.jp/）からダウンロードしてください。
	インクカートリッジ（インクパック）および廃液は、以下のような場所に保管してください。 • 子供の手の届かない場所 • 火気や高温から遠ざけ、直射日光を避けた冷暗所
	インクを取り扱うときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、マスク）を着用してください。 • 硬化前のインクに素手で触れないようにしてください。 UV インクは、メディアの表面特性により、硬化するまでの時間が異なる場合があります。特に、印字率の低い印刷は、放置が必要な場合があります（目安として 1 時間）。UV インクが硬化しているか確認するときは、必ず保護手袋を着用してください。 • 特にインクの付着するおそれがある作業を行う場合（例：インクおよび廃液の取り扱い、プリントヘッド・キャップ・ワイパのクリーニング）、必ず付属品の手袋もしくは耐溶剤性の手袋、ゴーグル等の保護具を着用し、インクが付着しないよう注意してください。 • ２種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、ポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。 • 手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。 • 皮膚に付着した場合は直ちに石鹸と多量の水で 15 分間洗浄し、万一刺激が続いたり炎症がある場合は医師の診断 / 手当を受けてください。 • 眼に入った場合は多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の医師の診断 / 手当を受けてください。 • 飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かせないようにし、医師の診断 / 手当を受けてください。
	• インクや、本製品から出る廃液、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。 • 本製品から出る廃液が、生活排水や自然水系へ流出しないようにしてください。 • 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。 • 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。 • 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。 他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。

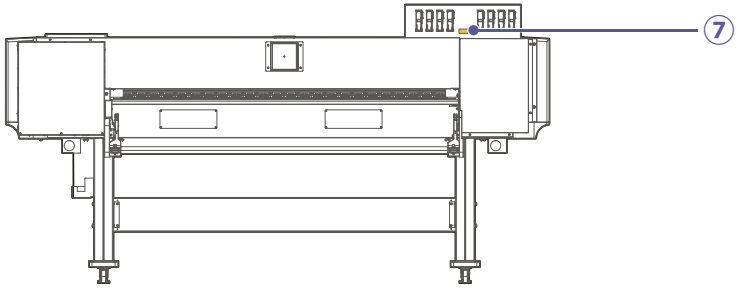
⚠ 注　意

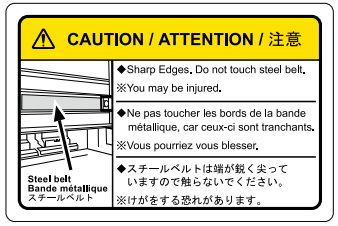
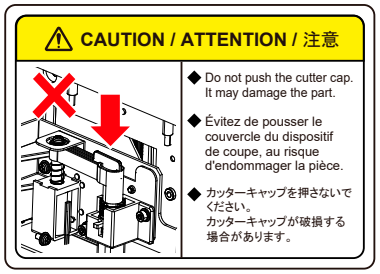
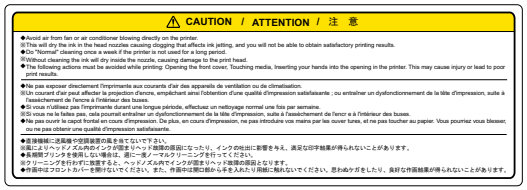
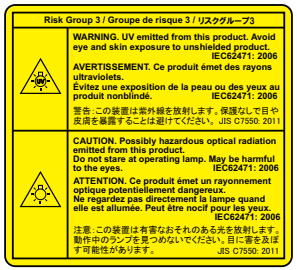
	インクパックの取り扱いは以下を守ってください。 • **分解しない** • **落としたり強くたたいたりしない** 分解したり衝撃を与えるとインクが漏れるおそれがあります。		**専用インク以外を使用した場合は故障の原因になる可能性があります。このような故障の際の修理は、お客様の負担となりますことをご了承ください。**
	インクは使用期限内に使い切ってください。 • **使用期限の切れたインクの使用は本製品の破損を引き起こす恐れがあります。** • **使用中に使用期限が切れた場合は、インクが残っていても使用期限内のインクに交換してください。** • **使用期限切れのインクは産業廃棄物として処理し、空になったインクパックはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。**		
	インクは純正品を使用してください。 本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能を十分に発揮できるよう設計されています。 非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響がでる場合があります。この場合には保証の対象外となります。		

警告ラベル

本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、必ずお守りください。
ラベルが剥がれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。





	ラベル種類	名称 / 意味
①		**スチールベルトコーション** • この部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。
②		**カッターコーション** • カッター付近に指を置かないでください。カッター刃でけがをするおそれがあります。
③		**カッターキャップコーション** • カッターキャップを押さないでください。カッターキャップが破損するおそれがあります。
④		**フロントカバーコーション** • ラベルに記載されている内容を守ってください。
⑤		**UV 警告ラベル** • 紫外線に注意：直視したり、皮膚にあてたりしないでください。

⑥		**高温注意ラベル** • この部分に触れるとやけどをするおそれがあります。印刷終了後、10 分以上経過するまで触れないでください。
⑦		**保護具着用ラベル** • インクを取り扱うときは保護具を着用してください。
⑧		**廃液注意ラベル** • 廃インクは人体に影響があります。取扱中は保護マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を着用してください。

Note

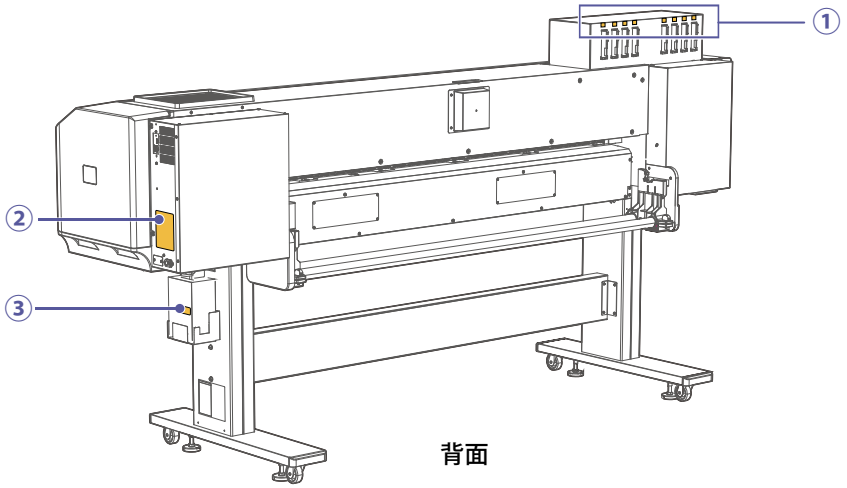
以下のマークは中国の安全規格に対応したものです。

汉文	仅适用于海拔2000m以下地区安全使用。
藏文	《2000m ཡར་ ལྟུགས་ཀྱི་ ཁུལ་ཚང་ ཁོ་ རྒྱུགས་ཐུབ་ ཀྱི་ རྟགས་ཡིན་ ཞེས་ བཤད་དོ།།》
蒙古文	“ᠲᠤᠰ᠎ᠠᠮᠵᠢᠯᠲᠠ᠎ᠶᠢᠨ᠎ᠥᠨᠳᠥᠷ᠎ᠨᠢ 2000᠎ᠠᠴᠠ᠎ᠳᠣᠣᠱᠤ᠎ᠪᠤᠰᠤ᠎ᠭᠠᠵᠠᠷ᠎ᠳᠤᠭᠠᠷ᠎ᠲᠤ᠎ᠬᠡᠷᠡᠭᠯᠡᠬᠦ᠎ᠪᠣᠯᠣᠮᠵᠲᠠᠢ᠃”
壮文	Dan hab yungh youq gij digih haijbaz 2000m doxroengz haenx ancienz sawjyungh.
维文	دېڭىز يۈزىدىن 2000 مېتر تۆۋەن رايونلاردىلا بىخەتەر ئىشلەتكىلى بولىدۇ

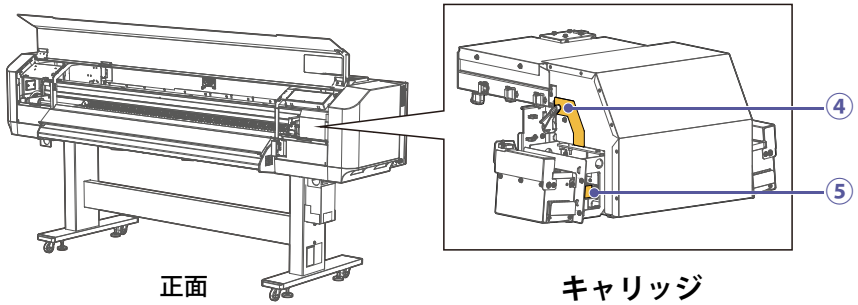
汉文	“仅适用于非热带气候条件下安全使用。”
藏文	《ཨིན་ཏྲོག་ ཨོར་ཁ་ ཁྱད་མེད་ ས་གནས་ ལ་ རྟགས་ཡིན་ ཞེས་ བཤད་དོ།།》
蒙古文	“ᠬᠠᠳᠠᠳ᠎ᠠᠭᠤᠯᠠᠭ᠎ᠤᠨ᠎ᠭᠠᠵᠠᠷ᠎ᠠᠴᠠ᠎ᠥᠭᠥᠷᠢᠭᠡᠯᠡᠭᠴᠢ᠎ᠪᠢᠰ᠎ᠠᠭᠤᠯᠠᠭ᠎ᠤᠨ᠎ᠭᠠᠵᠠᠷ᠎ᠳᠤᠭᠠᠷ᠎ᠲᠤ᠎ᠬᠡᠷᠡᠭᠯᠡᠬᠦ᠎ᠪᠣᠯᠣᠮᠵᠲᠠᠢ᠃”
壮文	Dan hab yungh youq gij dienheiq diuzgen mbouj dwg diegndat haenx ancienz sawjyungh.
维文	غەيرى ئىسسىق بەلباغ كىلىماتى شارائىتىدىلا بىخەتەر ئىشلەتكىلى بولىدۇ

操作ラベル

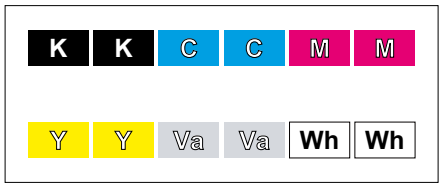
本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。

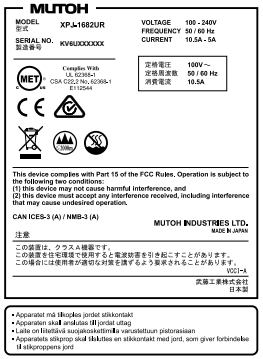
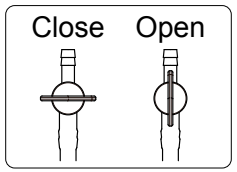
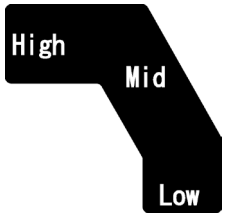


背面



正面　　キャリッジ

ラベル種類	名称 / 意味
① 	**カラーラベル** • 製品のご使用の前に、インク設定に合わせてインクスロットの上部に貼り付けてください。 ☞「スロットの番号とインクの配列」P.32 • ラベルに対応するインクカートリッジ（インクパック）をセットしてください。

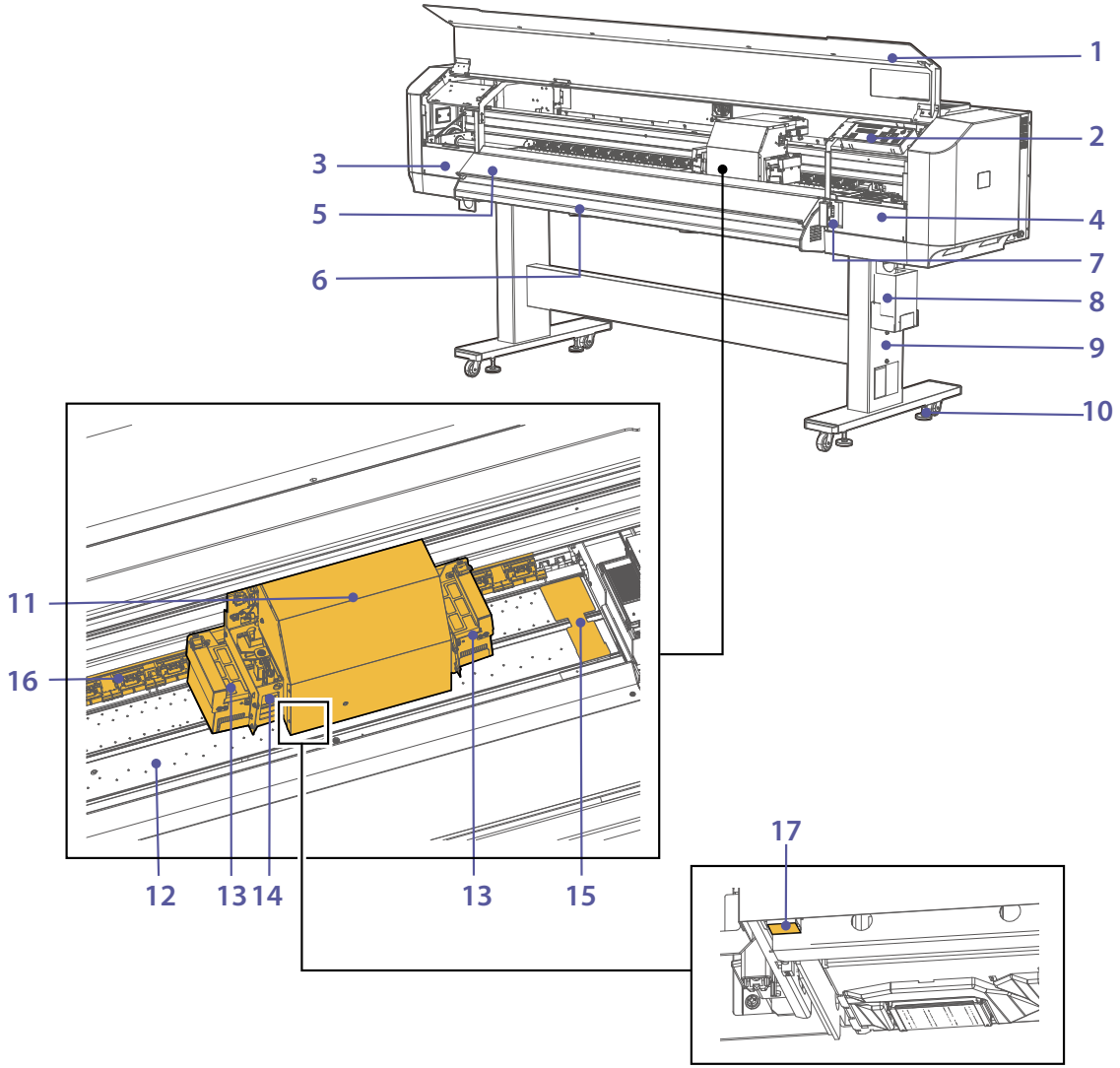
②		**定格銘板** • 型式・製造番号・電気定格・認証・届出情報が記載されています。
③		**廃液バルブコーション** • 廃液バルブの開閉位置を示しています。
④		**PG ラベル** • プリントヘッドの高さを調整します。
⑤		**ORIGIN ラベル** • 原点位置を示しています。

ご使用の前に

各部の名称・はたらき 23
コンピューターとの接続 33
本製品のシステム構成 35
MSM の起動 / 表示 / 終了の方法 36
VerteLith のインストール 38
本製品の印刷エリア 39
使用できるメディアの条件 40
ご使用上のお願い 42

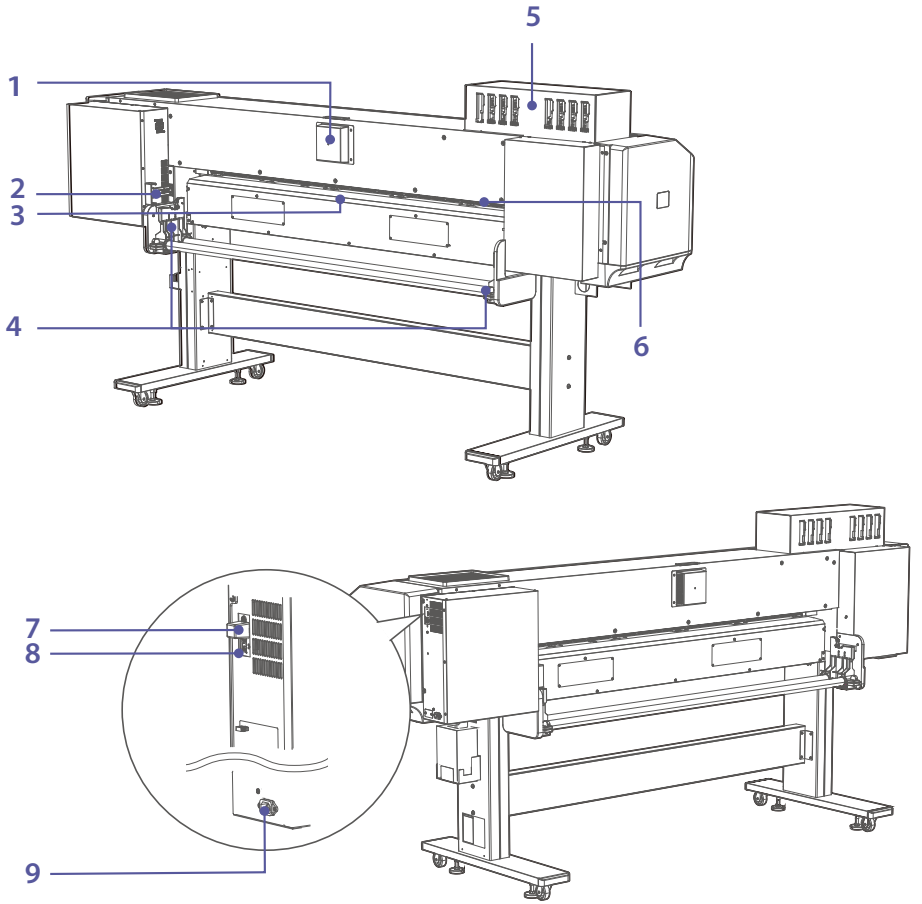
各部の名称・はたらき

正面



1	フロントカバー	メディアセット時や紙詰まり時に開閉します。通常は閉じておきます。
2	プリンターコントロールパネル	☞「プリンターコントロールパネル」P.27
3	メンテナンスカバー L	清掃時や消耗品の交換時に開閉します。通常は閉じておきます。
4	メンテナンスカバー R	清掃時や消耗品の交換時に開閉します。通常は閉じておきます。
5	UV 光除けカバー	UV 光から眼を保護するためのカバーです。
6	メディアガイド	メディアの通り道です。
7	メディアセットレバー	メディアを固定または解除するレバーです。レバーを奥に押し込むと、メディアを固定します。押し込む量により、「通常」と「強」の 2 段階に加圧力を変更できます。
8	廃液タンク	廃インクや使用後の洗浄液をためるタンクです。満タンになる前に、廃液を排出してください。
9	専用スタンド	プリンター本体を支えます。
10	アジャスター	プリンターを設置後、本体ががたつかないように高さを調整するために使用します。
11	キャリッジ	プリントヘッドを内蔵しています。印刷中は左右に動きます。
12	プラテン	本部位の上でメディアが印刷されます。内部に吸着ファンがあります。
13	UV ランプ	インクを硬化する UV 光（紫外線光）を照射するユニットです。
14	カッター	メディアを自動でカットする場合に使用します。
15	エッジホルダー	メディアの端に置いて、メディアが浮き上がるのを防ぎます（両端にあります）。
16	加圧アーム	印刷時に、メディア全体を上から押さえて保持します。それぞれの加圧アームのスライドロックレバーで加圧力を減らしたりキャンセルすることができます。
17	カラーセンサー	カラーセンサーが調整パターンを検出して、ヘッド調整や画質調整（調整印刷）を自動で行います。

背面



1	**排気ファン**	製品内部の排気を逃がします。
2	**メディアセットレバー**	メディアを固定または解除するレバーです。正面側のメディアセットレバーと連動しています。
3	**メディアガイド**	メディアの通り道です。

4	**ロール紙受け**	ロール紙をセットします。ロール紙にフランジを取り付け、ロール紙受けにセットします。
5	**インクカートリッジスロット**	インクカートリッジをセットします。
6	**給紙スロット**	メディアをセットするとき、ここにメディアを差し込んで正面にメディアを通します。
7	**巻き取りユニット用コネクター**（オプション）	巻き取りユニット（IJ-TUP30-01）をプリンターに接続するためのコネクターです。
8	**ネットワークコネクター**	イーサネットケーブルを接続し、プリンターとコンピューターとの接続に使用します。
9	**AC インレット**	電源コードを接続します。

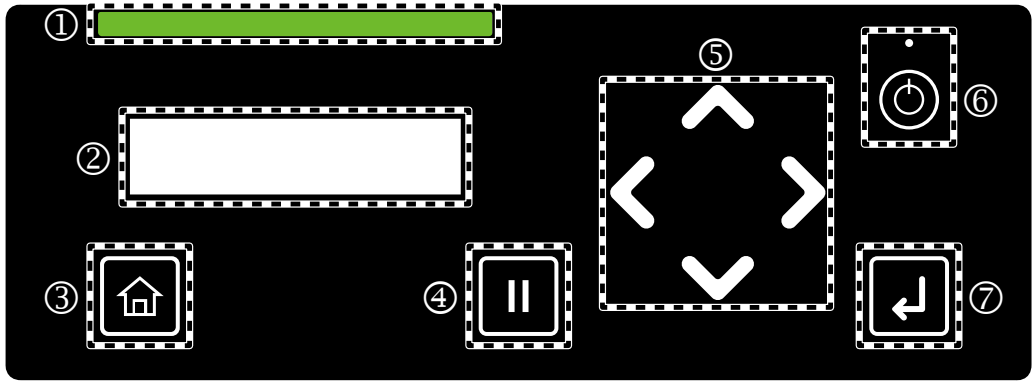
プリンターコントロールパネル

プリンターコントロールパネルの使い方

プリンターコントロールパネルはタッチパネルです。操作が有効なキーが発光して、操作をサポートします。

- タップ：キーに軽く触れて、すぐに指を離します。
- ロングタッチ：：キーを長押しします。

プリンターコントロールパネルの各部について



❶	**ステータスバー**	本製品の状態、エラーなどを表示します。 • **通常時：緑色に点灯** • エラー発生時：赤色に点灯
❷	**ディスプレイ**	本製品の状態、設定メニュー、エラーなどを表示します。
❸		[Home] キー： 設定メニューに入るとき／出るときに使用します。
❹		[Cancel] キー： • 印刷を一時停止します。 印刷停止状態で、再度タップすると印刷を再開します。 • 印刷動作を行っていないときにタップすると、メディアをカットします。

❺

方向キー：

設定メニュー表示中は、メニューの選択や、値の入力に使用します。

- ^ キー：メニューを上に送ります。
- < キー：変更を適用せず、前のメニューに戻ります。
- > キー：次の階層のメニューに進みます。
- v キー：メニューを下に送ります。

印刷可能状態では、メディアのフィードやノズルチェック、クリーニングを実施します。

- ^ キー：バックフィードします。ロングタッチすると、高速フィードします。
- < キー：ノズルチェックを実施します。
- > キー：クリーニングを実施します。
- v キー：フロントフィードします。ロングタッチすると、高速フィードします。

> **Note**
>
> **コントロールパネルに「インサツ　ゴ　カクハン」が表示されている場合は、> キーが消灯します。このため、クリーニングは実施できません。**

❻

電源ボタン：

- 2 秒以上押すと、電源がオンになります。各キーが点灯します。
- 電源がオンの状態で 2 秒以上押すと、電源がオフになります。各キーが消灯します。

> **Note**
>
> **⏻ マークはスタンバイを意味します。本製品は電源コードを接続していると微量の電力を消費します。本書では、この状態を「電源オフ」と表記しています。電源ボタン上部の LED は、電源オンでなくとも電源コードをコンセントに接続すると点灯します。**

❼

[Enter] キー：

メニューや、値の確定に使用します。

また、「インサツデキマス」または「メディアナシ」を表示している状態では、次回、かくはんが必要となるまでの時間を確認する画面に移動します。

ダイレクトキーの説明

パネルに以下の画面が表示されているときに使用すると、特定のメニューへ直接アクセスすることができるキー操作です。

キー

ノズルチェックパターンの種類選択画面にアクセスします。

1. キーをタップ ➡ [インサツヲカイシシマスカ？　ノズルチェック F] が表示されます。
   - [Home] キーをタップすると、[インサツデキマス] の表示に戻ります。
2. / キーで印刷したいノズルチェックパターンを選択します。
3. [Enter] キーをタップすると選択したノズルチェックパターンを印刷します。

Note

ノズルチェックは 3 種類あります。
「ノズルチェックをする」P.61

キー

クリーニングの種類選択画面にアクセスします。

1. キーをタップ ➡ [クリーニングシマスカ? ビリョウ] が表示されます
   - [Home] キーをタップすると、[インサツデキマス] の表示に戻ります。
2. / キーでクリーニング種類を選択します。
3. [Enter] キーをタップするとクリーニングを開始します。

Note

ダイレクトキーから選択できるクリーニングモードは、「微量」「通常」「強力」の3種類です。「ヘッドクリーニングをする」P.65

[Cancel] キー

メディアカット実行にアクセスします。詳細は「メディアのカット」P.100 を参照してください。

/ キー

メディアをフィードします。詳細は「メディア送り」P.97 を参照してください。

［Enter］キー

次回、かくはんが必要となるまでの時間が表示されます。

詳細は「ダイレクトキーからかくはんを行う場合」P.150 を参照してください。

次回、かくはんが必要となるまでの時間は、VerteLith、MSM からも確認できます。

VerteLith：Ver8.2.0 以降

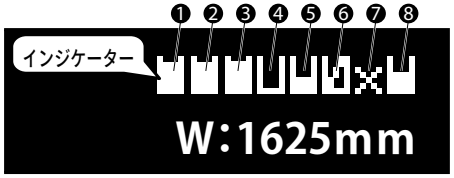
MSM　　：Ver9.01 以降

プリンターコントロールパネルのインジケーター表示

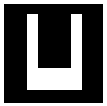
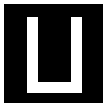
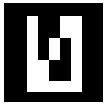
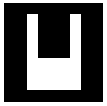
次の場合に、ディスプレイにインクやカートリッジの状態を示すインジケーターを表示します。

- メニューを表示していないとき
- インクやカートリッジのエラーのとき

対応スロット番号



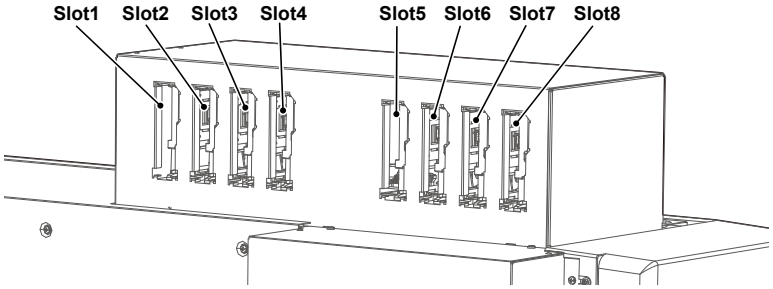
- インジケーターは、Slot 1 ～ Slot 8 のインクスロットに対応しています。左端が Slot 1 の状態を表しています。
- インジケーターの意味は下表のとおりです。

インク残量 80%以上 100%以下	 インク残量 20%未満 • インジケーターが点滅している場合、対応しているインクに対してスマートチップリカバリーが実行されています。 「スマートチップリカバリー」P.237
インク残量 60%以上 80%未満	 インク少ない
インク残量 40%以上 60%未満	 インクなし
 インク残量 20%以上 40%未満	カートリッジなし

スロットの番号とインクの配列

プリンター背面から見たスロット番号とインクの関係は次のとおりです。

	Slot1	Slot2	Slot3	Slot4	Slot5	Slot6	Slot7	Slot8
6 colors	K	M	C	Y	Va	Va	Wh	Wh
4 colors	M	M	C	C	K	K	Y	Y



コンピューターとの接続

Important !!

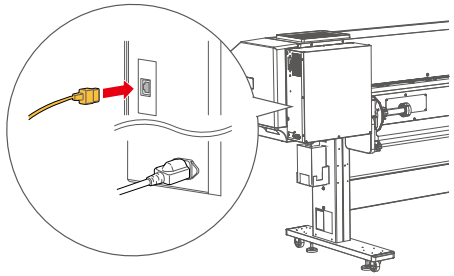
コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- OS：Windows 11、Windows 10
- CPU：Intel (R) Core (TM) i5 以上
- メモリ：8G バイト以上
- ネットワーク：ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

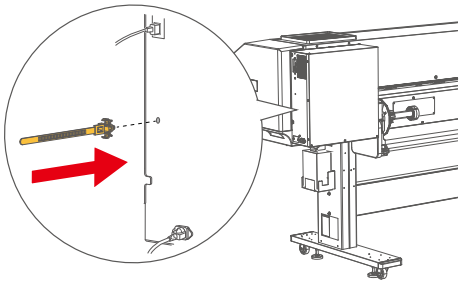
Note

- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

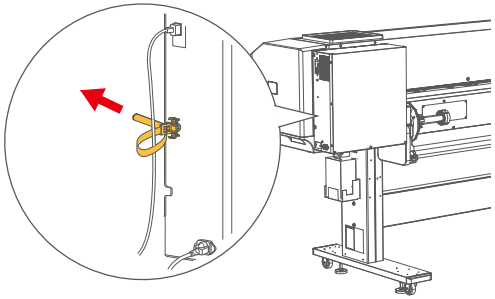
1 イーサネットケーブルを本製品に接続します。



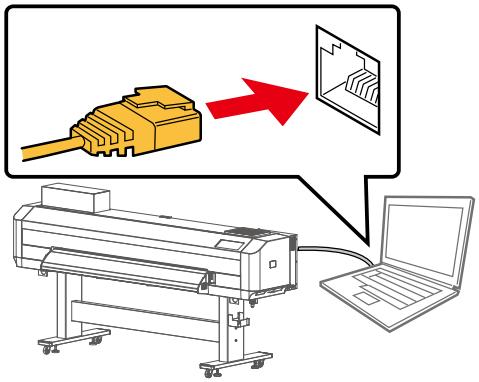
2 リユースバンドをプリンターに取り付けます。



3 イーサネットケーブルをリユースバンドでプリンターに固定します。



4 イーサネットケーブルをコンピューターに接続します。



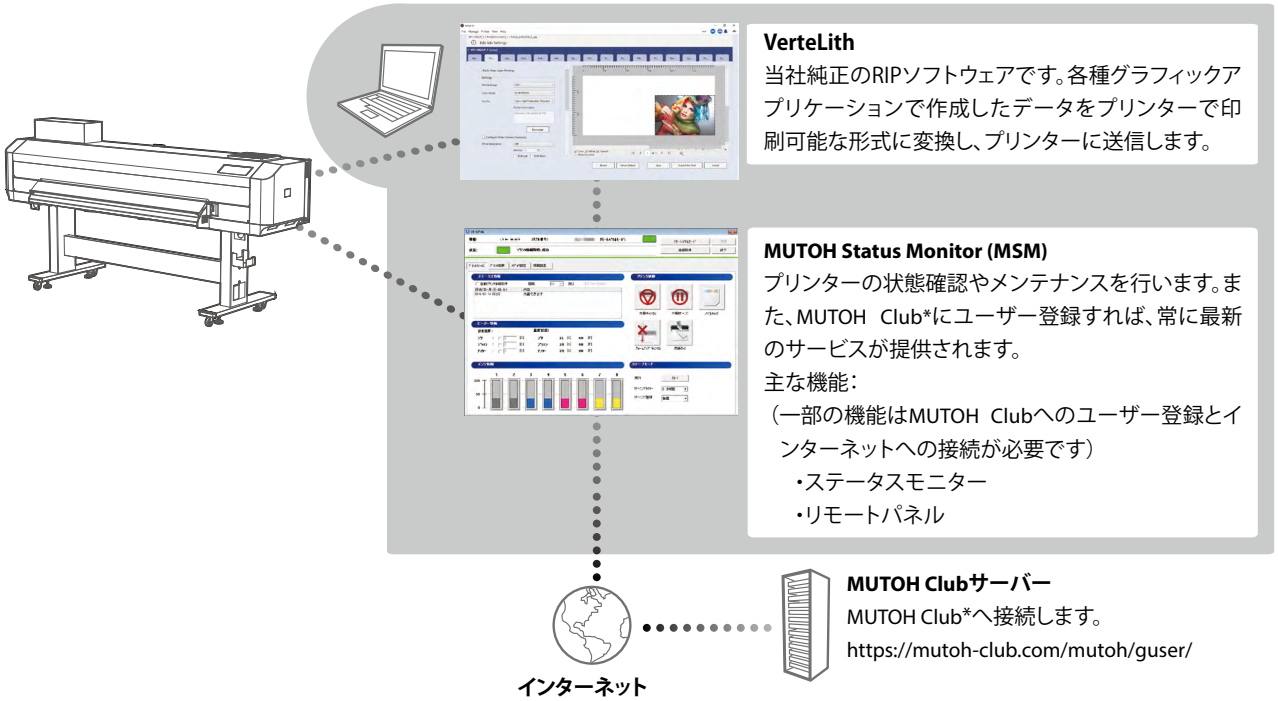
5 プリンターのプリンターコントロールパネルで、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

☞「IP アドレス」P.118 、「サブネットマスク」P.118 、「ゲートウェイ」P.118

Note

- 上図は本製品とコンピューターを 1 対 1 接続した例です。接続方法はご使用の環境により異なります。
- 本製品を LAN で使用する場合は、接続先のコンピューターと同じサブネットになるようにしてください。

本製品のシステム構成



***MUTOH Club**
ユーザーに役立つコンテンツを無料で提供するWebサービスです。ユーザー登録をすると様々なサービスをご利用いただけます。
主な機能:
・最新アプリケーション、マニュアルのダウンロード
・メディアプロファイルのダウンロード
・プリンター状態の確認（MSMのプリンター情報提供サービス使用時）

< 印刷サポートソフトについて >
本製品のスペックを最大に発揮するためには、MSM をご利用ください。
最新の MSM は、MUTOH Club からダウンロードできます (MPS 機能をご利用の場合は、RIP の出力先を MPS 機能に切り替えてください)。

MSM の起動 / 表示 / 終了の方法

MSM の起動方法

Windows 11 / Windows 10

1. デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックします。

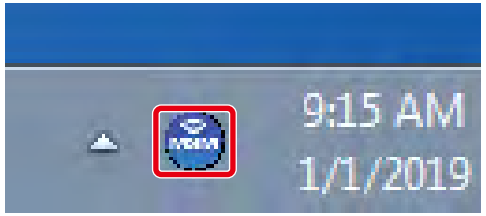
Note

Windows のスタートメニューから起動する方法

Windows 11 / Windows 10

• ［スタート］ メニューから［すべてのプログラム］（または［すべてのアプリ］）-［MUTOH］-［MUTOH Status Monitor］ の順にクリックします。

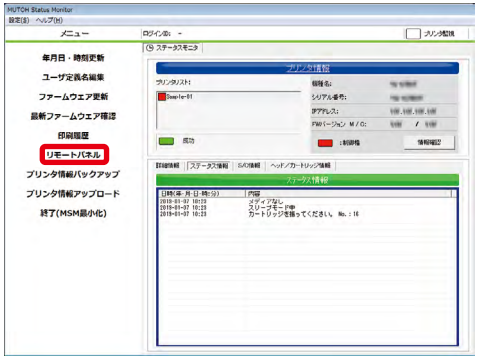
MSM の表示方法



1. タスクトレイの MSM アイコンをダブルクリックします。

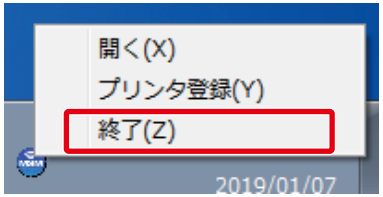
リモートパネルの表示方法

リモートパネルは、本製品の状態を見たり、操作したりするときに使用します。



1. リモートパネルをクリックします。
   - リモートパネルが開きます。

MSM の終了方法



Windows 11 / Windows 10

1. タスクトレイの MSM アイコンを右クリックし、［終了］をクリックします。

Note

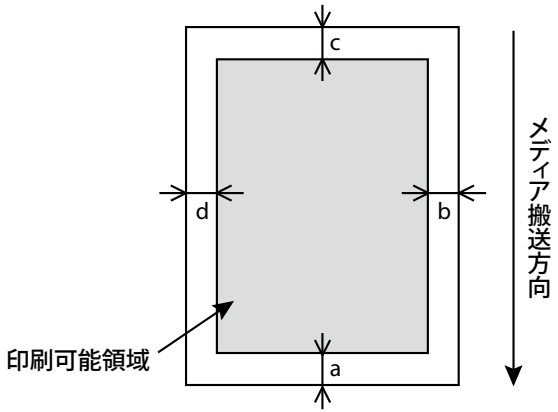
通常のご使用時は MSM を終了させないでください。MSM の画面を閉じるときは、メニューバーの［設定］-［閉じる］の順にクリックします。

VerteLith のインストール

ライセンスをご購入後、同梱の「インストールガイド」を見ながら、ユーザー登録とインストールを実施します。
インストール後は、VerteLith のユーザーマニュアルに従って、初期設定とプリンター登録をしてください。

本製品の印刷エリア

印刷は常に原点位置（印刷開始点）から開始します。下図は印刷結果の例です。



a=5 mm *1
b=5 mm~80 mm *2
c=5 mm
d=5 mm~80 mm *2

*1 ただし下記の場合は15 mmとなります。
・メディアイニシャル直後
・バックフィードを ^ キーで行ったとき

また、下記の場合は40 mmとなります。
・メディア検出「Top&Width」設定時
・カット動作後

*2 サイドマージン設定により変更できます。

使用できるメディアの条件

本製品は、以下のメディアを使用できます。

メディアサイズ

ロール紙外径	200mm 以下
紙管径	2 インチ：50mm ～ 52mm
	3 インチ：75.5mm ～ 79mm
重量	30 kg 以下
幅	500mm ～ 1,625mm
推奨メディア厚さ	1.0mm 以下

Important !!

出荷時のヘッド高さは「Low」に設定されています。
ヘッド高さ「Low」設定時、使用可能なメディアの最大厚さは 0.3 mm です。

Note

推奨メディアにつきましては、お買い求めの MUTOH 製品取扱店へご確認ください。

メディアの取扱上の注意

メディアを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。

- メディアは、適切な環境下でご使用ください。印刷に適した温度・湿度は次のとおりです。

本体精度保証環境	温度：22℃～ 30℃ 湿度：40% ～ 60%、結露なきこと
変化率	温度：1 時間あたり 2℃以内 湿度：1 時間あたり 5% 以内

- 折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用しないでください。
- メディアは、印刷環境の湿度変化により、一定の割合で寸法が変化することがあります。
  メディアの使用前には、印刷環境に約 1 時間放置して、印刷環境に慣らしてください。
  印刷環境に慣らさないうちに印刷を行うと、印刷メディアのズレ、シワなどにより紙ジャムが発生する恐れがあります。
  また、印刷品質にも悪影響があります。
- 低湿時の環境で使用する場合は、メディアの貼付きによってカットしたメディアが落ちない場合があります。
  その場合、メディア先端カット後、フロントカバーを開けてメディアを取り除いてください。
- 熱に弱いメディアは使用しないでください。UV 光の発する熱でメディアが変形します。
- メディアの印刷面には手を触れないでください。手についた水分・油脂が、印刷品質に影響します。
- メディアをセットした状態で、長時間放置しないでください。
  メディアによっては癖がつき、紙浮き、紙ジャム、印刷品質低下の原因となります。特に冬季・乾燥期には、こうしたメディアの使用は避けてください。
- UV-LED の光を反射しやすいメディアは、プリントヘッド表面のインクを硬化させるため、製品の動作不良や故障の原因となります。
- メディアの個装箱・個装袋は、メディアの保管時に使用するため、紛失しないでください。

メディアの使用後の注意

メディアの使用後は、シワなどによる品質低下を防ぐために、以下の点に注意して保管してください。

- 使用後のロール紙は、フランジを取り外し、きちんと巻きなおしてから、梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。
- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- メディアを濡らさないでください。

ご使用上のお願い

電源をオフにしないでください

本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにしたり電源コードを抜いたりせず、必ずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈降し、画質不良や故障の原因となります。

定期的に使用してください

本製品は 1 週間に 1 度は使用することをおすすめいたします。
長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。

定期的にメンテナンスしてください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

- 印刷前に、ノズルチェックを行ってください。ノズルの目詰まりがあった場合はヘッドクリーニングを行ってください。
- 1 日の作業終了後に、必ずデイリーメンテナンスを行ってください。デイリーメンテナンスを行わない場合、画質不良や故障の原因となります。
  ☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.171
- 長期間使用しない場合 * は、スリープモードにして以下を行ってください。
  *「長期間使用しない場合」とは、1 週間から 1 か月間放置する場合を指します。
- インクの残量を確認し、[インクスクナイ] が表示されていたらインクを交換してください。上記ができない場合は、「長期間使用しない場合 (長期保存)」P.216 を参照して電源をオフにしてください。
- 廃液タンクの廃液を定期的に排出してください。
- 1 か月に 1 度は内部の清掃を行ってください。

定期的に交換が必要な部品があります

本製品には、長期間のご使用により交換が必要になる部品があります。

- ユーザーによる交換が必要な部品：
  フラッシングボックス用吸収材、カッター、クリーニングワイパー、UV-LED ランプフィルター、UV-LED ランプガラス、排気ファンフィルター
- サービスマンによる交換が必要な部品：
  各種モーター、各種ポンプ、プリントヘッド

本製品の「環境条件」に適合する場所でご使用ください

- インクの変質や硬化不良などに伴う、印刷品質の低下が生じるおそれがあります。
  ☞「本製品の仕様」P.253

基本的な使い方

作業の流れ 45
電源のオンオフ 46
メディアのセット方法 49
ノズルチェックとクリーニング 61
印刷精度の調整 67
印刷を開始する 84
くわしい使い方 90
プリンターコントロールパネルからの各種操作 97
スリープモード 103

作業の流れ

印刷をするときの基本的な作業の流れは次のとおりです。

1. 電源を入れます。

☞「電源をオンにする」P.46

2. メディアをセットします。

☞「メディアのセット方法」P.49

3. ノズルチェックをします。（ノズルチェック後、必要に応じてクリーニングする）

☞「ノズルチェックとクリーニング」P.61

4. 印刷精度の調整をします。（必要なとき）

☞「印刷精度の調整」P.67

5. データを印刷します。

当社の純正 RIP ソフトウェアー「VerteLith」を使った印刷方法を説明します。

☞「印刷を開始する」P.84

6. 作業を終了します。

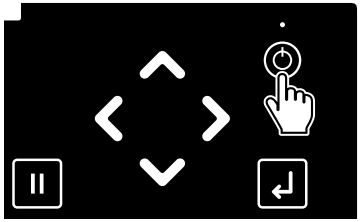
☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.171

電源のオンオフ

電源をオンにする

1 フロントカバーを閉じます。

2 **本製品の電源ボタンを 2 秒以上押します。**
- 各キーが点灯します。
- 本製品が初期動作を開始します。
- [welcome] と表示されたら、電源ボタンを離します。



電源をオフにする

Important !!

- 本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。
  ☞「スリープモード」P.103
- 長期間（最長 1 か月）使用しない場合は、「長期間使用しない場合（長期保存）」の手順に従って、電源をオフにしてください。
  ☞「長期間使用しない場合 (長期保存)」P.216

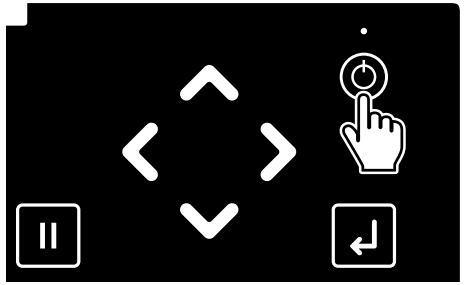
1 印刷が終了して、メディアが取り外されていることを確認します。

2 デイリーメンテナンスの準備をします。
☞「Step1. デイリーメンテナンスの準備」P.172

3 コントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押します。
- [デイリーメンテナンス　カイシ　　->　Enter] が表示されます。

Note

- [Cancel] キーをタップすると、デイリーメンテナンスを行わずに電源をオフします。
- デイリーメンテナンスを行わずに電源をオフすると、プリントヘッド周辺のインクが固着し故障の原因となります。必ずデイリーメンテナンスを行ってください。



4 [Enter] キーをタップします。

[シバラクオマチクダサイ] が表示されます。
- キャリッジがメンテナンス位置（製品の左側）に移動します。

5 [デイリーメンテナンス　ツギヘ　->　Enter] が表示されたら、デイリーメンテナンスをはじめます。

Important !!

手順の詳細は、以下を参照してください。

☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.171

6 デイリーメンテナンスを終了します。

- [UV ランプ　R　カクニン　シュウリョウ　->　Enter] が表示されていることを確認します。
- すべてのメンテナンスが終わったら、[Enter] キーをタップします。

7 [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。

- [クリーニングチュウ ＊＊%] が表示されます。
- 自動で微量クリーニングを実行します。

8 微量クリーニング終了後、[デンゲンシャダンチュウ] が表示され、本製品が電源オフ動作を開始します。

メディアのセット方法

Important !!

セットするメディアに合わせて、2 人以上で作業することをおすすめします。

プリンターにメディアをセットする

以下の手順に従って、プリンターにメディアをセットします。

1. メディアにフランジを取り付ける

必要なもの：

- メディア：1 本
- フランジ：2 個

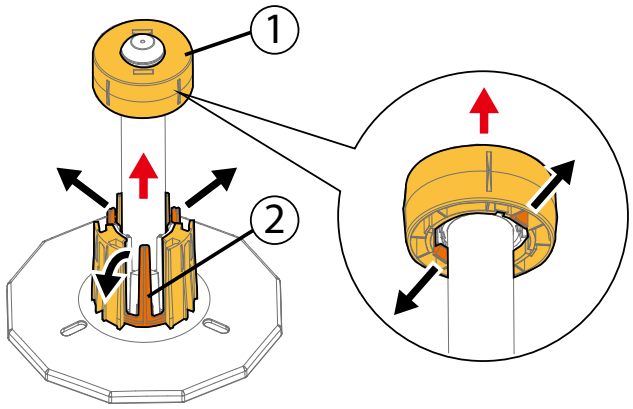
1 用途に応じて、フランジのアダプターを変更します。

■内径が 2 インチのメディアを使用する場合
フランジから 3 インチアダプターを取り外します。

- ①：アダプターのツメ（2 箇所）を開きながら、アダプターを引き抜きます。
- ②：アダプターのツメ（3 箇所）を開きながら、アダプターを引き抜きます。

Note

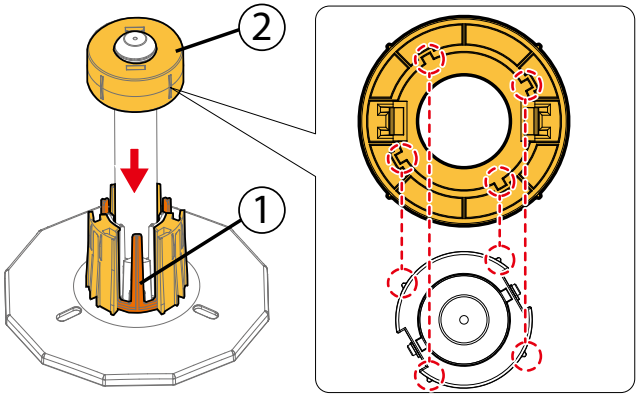
- ②のアダプターが外れない場合は、手順 2 を参照してフランジのハンドルを反時計回りに回転させて、ゆるめてから再度行ってください。
- 内径が 3 インチのメディアを使用する場合は、この手順は実行しないでください。



■内径が 2 インチのメディアから 3 インチのメディアに変更して使用する場合

フランジに 3 インチアダプターを取り付けます。

- ①：アダプターのツメ（3 箇所）とフランジの根本にある凹部を合わせてアダプターを取り付けます。
- ②：アダプターの内側にある切り欠き（4 箇所）と、フランジの先端にある突起（4 箇所）の位置を右図のように合わせてアダプターを取り付けます。

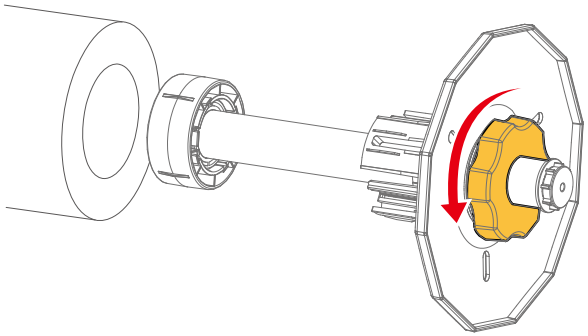


Note

②のアダプターの位置を合わせずに取り付けた場合、アダプターが固定されません。

2 **メディア両端にフランジ（2 個）を取り付けます。**

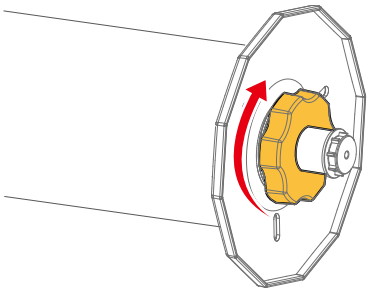
- フランジのハンドルを反時計回りに回転させて、メディアに取り付けられる状態にします。



3 **フランジのハンドルを時計回りに回転させて、フランジを固定します。**

Important !

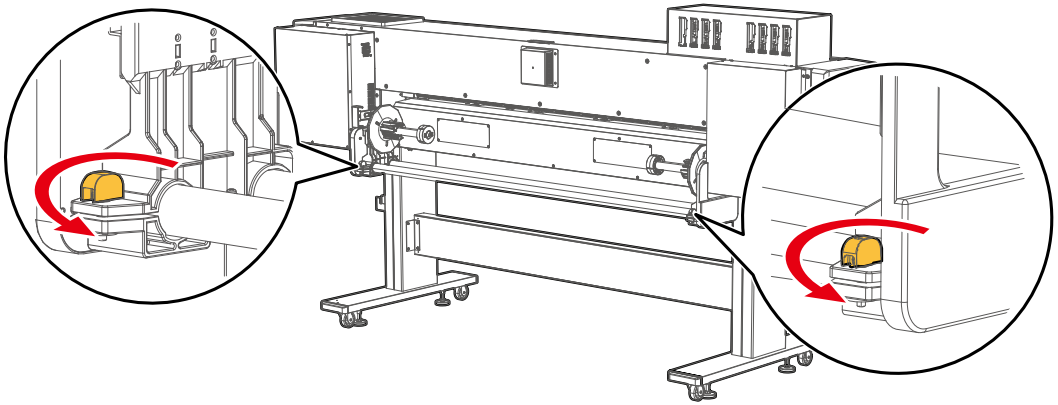
メディアがしっかりと固定されていることを確認してください。固定が甘い場合、印刷中にメディアがフランジから外れ、印刷品質に影響を与える恐れがあります。



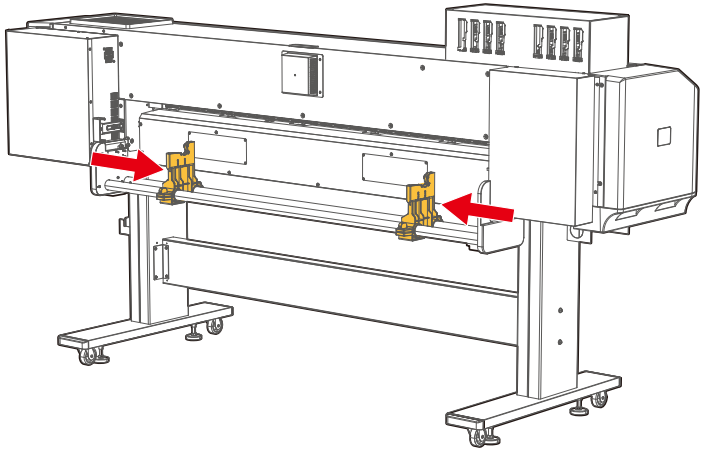
2. ロール紙受けのトルクを設定する

ロール紙受けにトルクを設定するには、以下の手順で実施します。

1 左右のロール紙受けのノブボルトを反時計回りに回転させて、緩めます。

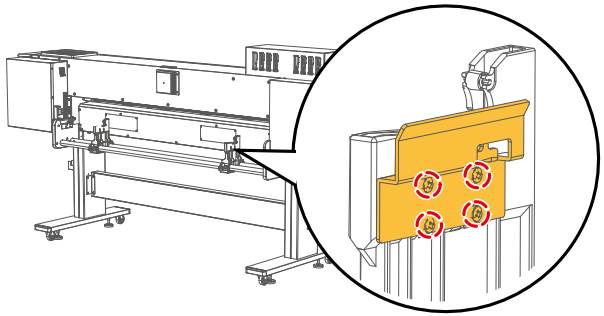


2 作業をしやすくするため、左右のロール紙受けをプリンターの中央に向かって 30cm ほど動かします。

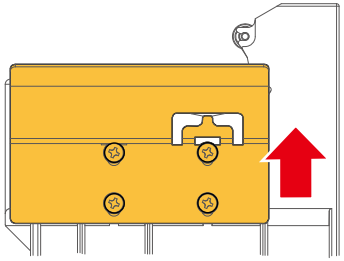


3 左右のロール紙受けのノブボルトを締めます。

4 背面から向かって右側のロール紙受けにあるロール軸ガイドのネジをドライバーで緩めます。

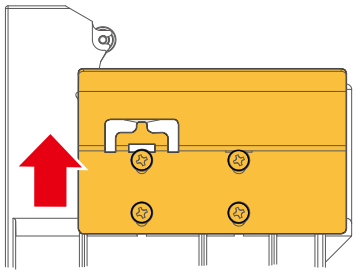


5 ロール軸ガイドを上にずらして、突き当たったところでネジを締めます。



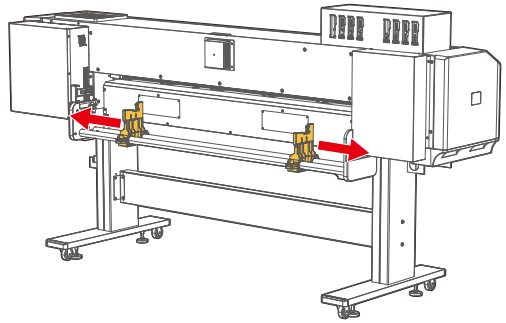
ロール軸ガイド（右）

6 左側のロール紙受けにあるロール軸ガイドも、同様にずらしてからネジを締めます。

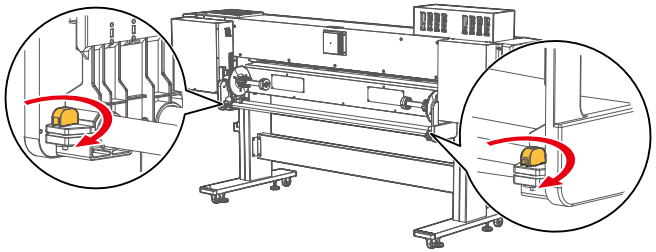


ロール軸ガイド（左）

7 左右のロール紙受けのノブボルトを緩め、左右のロール紙受けの位置を元に戻します。

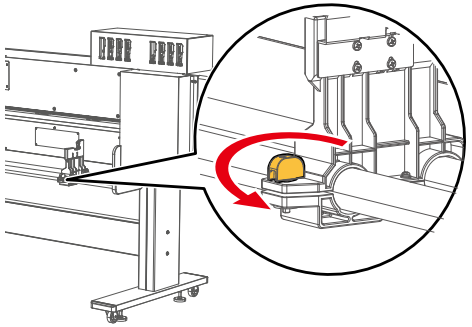


8 左右のロール紙受けのノブボルトを締めます。



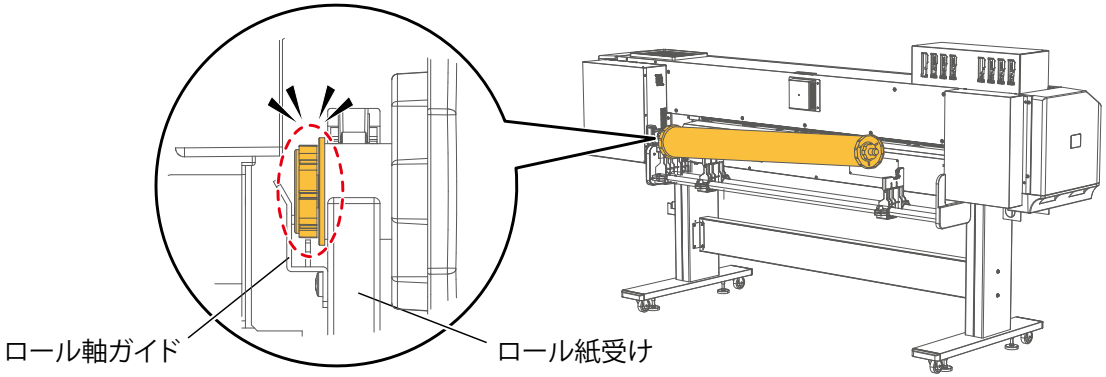
3. ロール紙受けにメディアを取り付ける

1 右側のロール紙受けのノブボルトを緩めます。



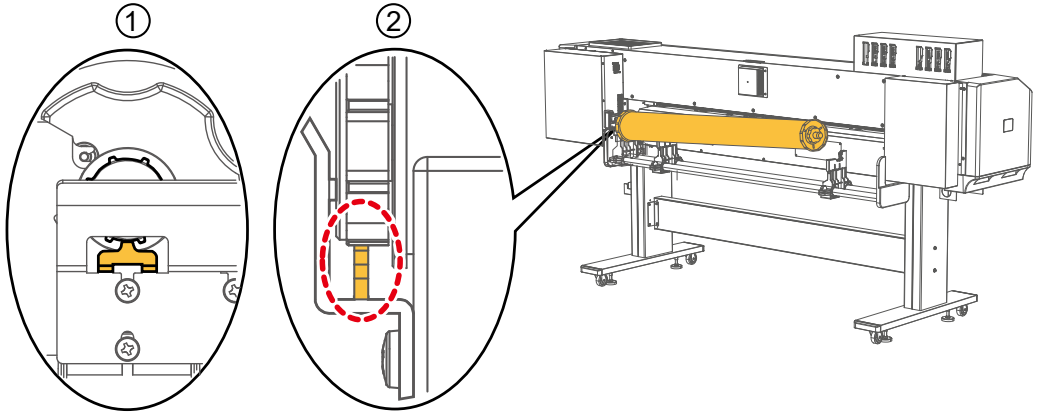
2 **メディアを左側のロール紙受けに取り付けます。取り付けはゆっくりと丁寧に行ってください。**

- フランジ先を、下図のようにロール軸ガイドとロール紙受けの間にセットします。



トルクを設定した場合は、続けて下記を確認します。

- ①：真横から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先の突起と突起の間にはまっていることを確認します。
- ②：背面から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先にセットされていることを確認します。

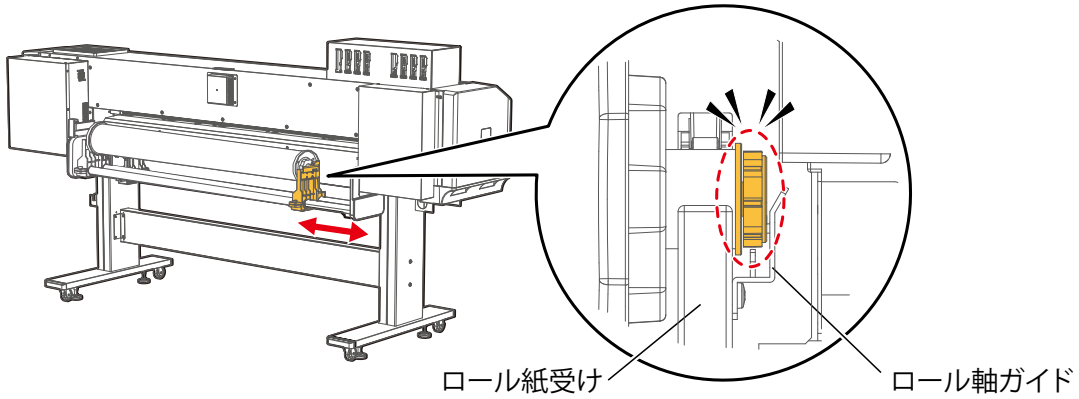


Important!

- **メディアの取り付け時につよい衝撃を与えると、部品が破損する恐れがあります。**
- **ロール紙受け(左)を動かす場合は、左端から 450mm 以上右に動かさないでください。メディアの検出ができなくなります。**

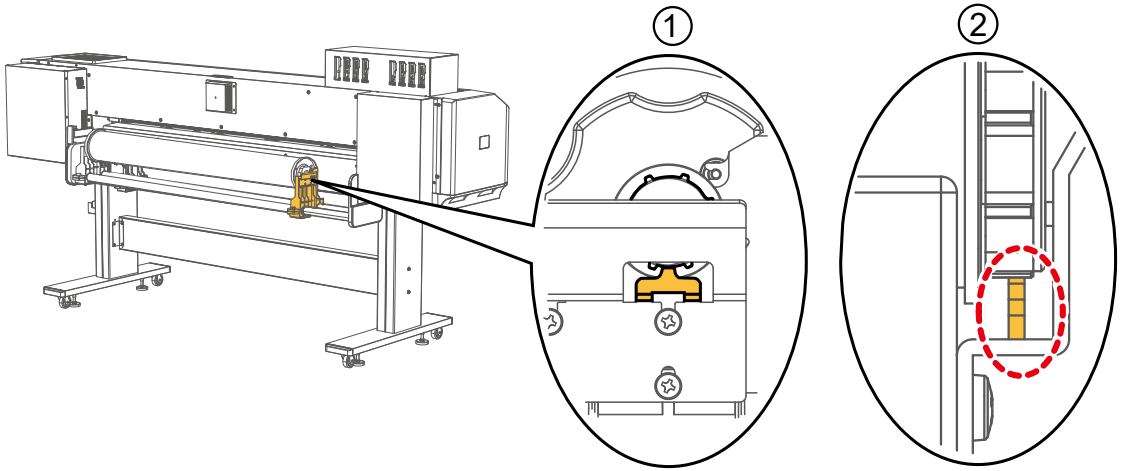
3 **メディアを右側のロール紙受けに取り付けます。取り付けはゆっくりと丁寧に行ってください。**

- 右側のロール紙受けを、メディアに合わせて移動させます。
- フランジ先を、下図のようにロール軸ガイドとロール紙受けの間にセットします。

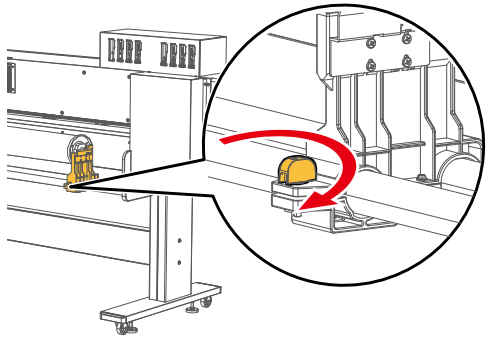


トルクを設定した場合は、続けて下記を確認します。

- ①：真横から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先の突起と突起の間にはまっていることを確認します。
- ②：背面から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先にセットされていることを確認します。



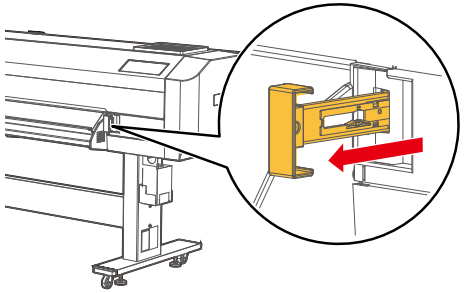
4 ロール紙受け（右）のノブボルトを時計回りに回転させて、締めます。



4. プリンターにメディアをセットする

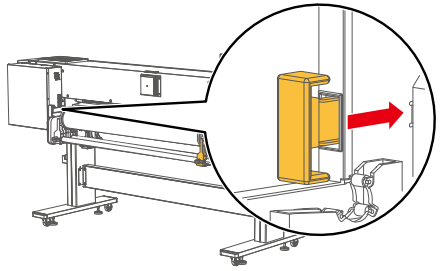
1 プリンターの電源がオンになっていることを確認します。

2 メディアセットレバーを一番手前まで引いて、加圧アームを上げます。

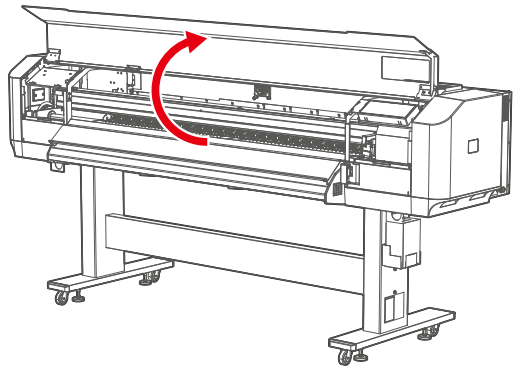


メディアセットレバーは、プリンター背面からも操作可能です。

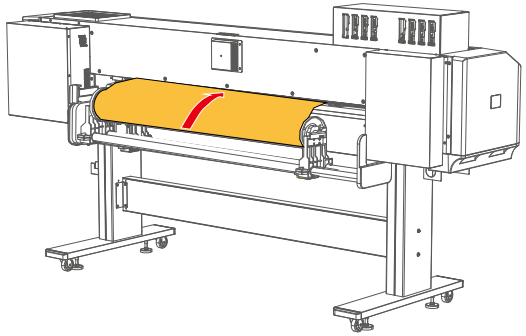
- 奥に押し込むと、加圧アームが上がります。



3 フロントカバーを開きます。

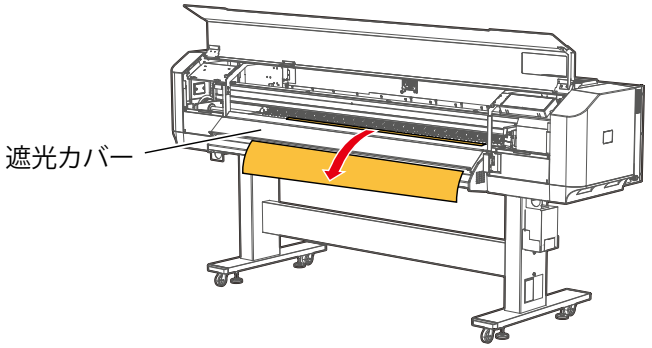


4 メディアを給紙スロットに差し込みます。

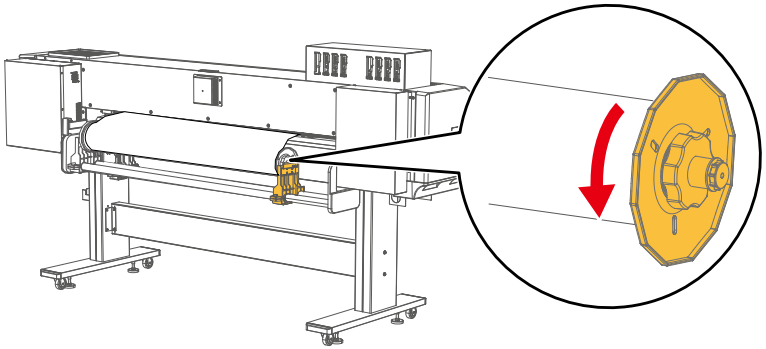


5 正面側の給紙スロットから、メディアを約 1m 引き出します。

- 遮光カバーとメディアガイドの間にメディアを通して、引き出します。



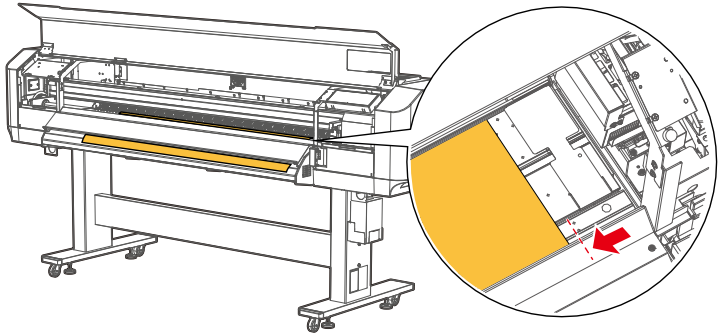
6 メディア先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してメディアを少し巻き戻し、メディアのたわみおよび斜行を取り除きます。



Note

メディアを巻き戻している途中で手を放すと、メディアが給紙スロットから抜けて製品背面側に落ちることがあります。

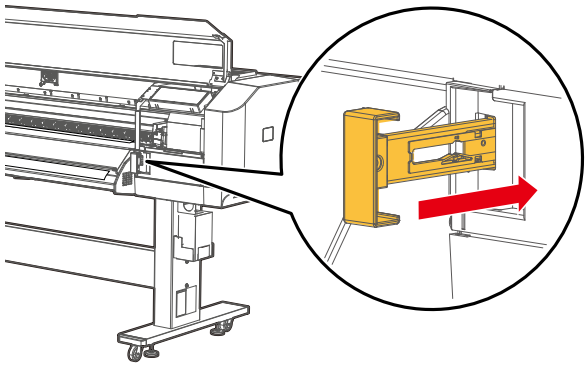
7 メディアの右端がメディアセット目安よりも右側に入っていないことを確認します。
メディアセット目安よりも右側にメディアがある場合、印刷品質に影響する恐れがあります。



8 必要に応じて、加圧アームの加圧力を個別に変更します。
☞「加圧アームの加圧力を個別に弱める / キャンセルする」P.94

5. メディアセット後の手順

1 メディアセットレバーを奥に押し込んで、加圧アームを下げます。



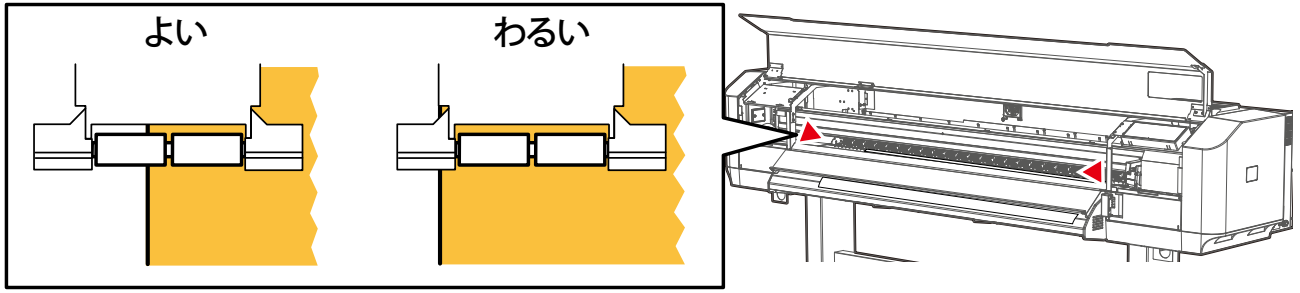
Note

メディアセットレバーは、「通常」と「強」の 2 段階に加圧力を変更できます。通常のご使用では、手前側のカチッと手ごたえがするところで止め、「通常」の加圧力にします。

☞「メディア搬送時のメディア全体にかかる加圧力を変更する」P.93

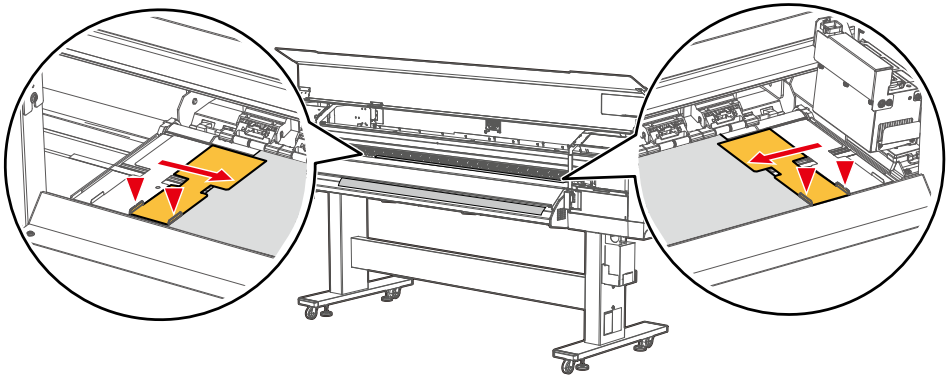
2 メディアの両端が加圧アームのローラーに押さえられていることを確認します。

- 下図の「わるい」に当てはまる場合は、メディアセットレバーを一番手前まで引いてから「3. ロール紙受けにメディアを取り付ける」P.53 を参照して、左右のロール紙受けの位置を変更してください。（メディア両端で確認すること）

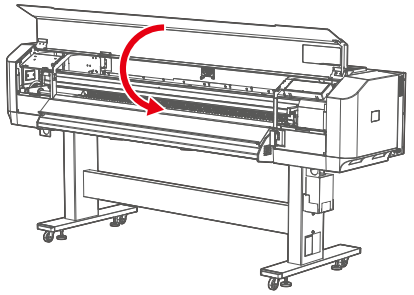


3 メディアの両端にエッジホルダーをセットします。

- エッジホルダーの手前にあるつまみを持ちあげると、エッジホルダーの中央が浮きます。エッジホルダーの中央を浮かせながら、エッジホルダーをメディアの端に被せるように動かしてください。



4 フロントカバーを閉じます。



5 （[Home] キー）をタップします。

6 [ユーザ：　Type **　OK?] と表示されます。

- 使用するユーザー定義を、▲ / ▼ キーで選択します。
- [Enter] キーをタップして、メディアイニシャルを実行します。
- メディアセットを終了します。

ノズルチェックとクリーニング

毎日の作業前にノズルチェックをしてください。ノズルの目詰まりがあったときは、ヘッドクリーニングをしてください。

ノズルチェックをする

ノズルの状態を印刷して、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。

ノズルチェックには下記の種類があります。

ノズルチェック	「詳細設定：ヘッド選択」、および「詳細設定：ノズル選択」の設定を反映したノズルチェックパターンを印刷します。 ☞「ノズルチェックの手順」P.62
ノズルチェック F	すべてのノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。 ☞「ノズルチェック F の手順」P.63
ノズルチェック B ※6色設定時にのみ表示	一部のノズルチェックパターンの背景に色をつけて印刷します。 ☞「ノズルチェック B の手順」P.64

Important!

初期充てん終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

- 印刷した線がかすれる
- 部分的に印刷されない

このような場合には、取扱説明書「メニュー 3:クリーニング」に従って、微量充てんを行ってから、印刷結果を確認してください。微量充てんを行っても印刷結果に変化がない場合は、製品を 1 時間以上放置して、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。それでも印刷結果に変化がない場合は、「お問い合わせ先」P.260 までご連絡ください。

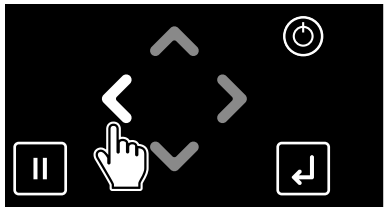
ノズルチェックの手順

1 メディアをセットします。

☞「メディアのセット方法」P.49

2 キーをタップします。

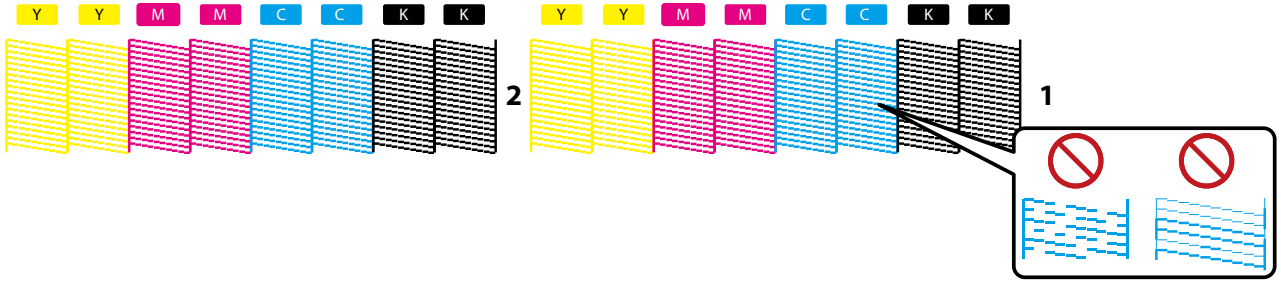
☞「ダイレクトキーの説明」P.29



- [インサツヲカイシシマスカ？　ノズルチェック F] が表示されたら、 / キーで [ノズルチェック] を選択します。
- [Enter] キーをタップするとノズルチェックパターンの印刷を開始します。

3 パターンを確認します。

- ノズルの目詰まりがある場合は、「ヘッドクリーニングの手順」P.66 に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



Note

- 上記は、4 色設定、ヘッド選択がオフ、ノズルエリア設定がノズルオールの場合のパターンです。
- 「ヘッド選択」については「ヘッドセンタク」P.116、「ノズルエリア設定」については「ノズルセンタク」P.116 を参照してください。
- プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン、ヘッド選択設定、ノズルエリア設定）が印刷されます。

ノズルチェックＦの手順

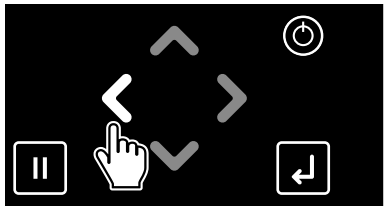
1 メディアをセットします。

☞「メディアのセット方法」P.49

2 キーをタップします。

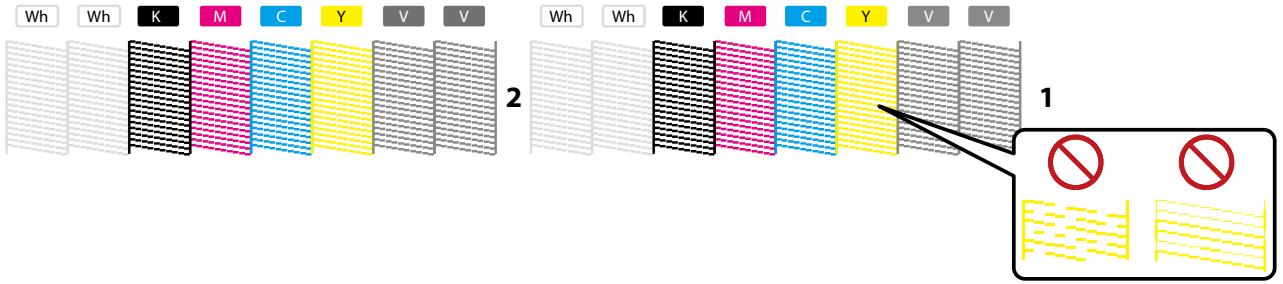
☞「ダイレクトキーの説明」P.29

- [インサツヲカイシシマスカ？　ノズルチェックＦ] が表示されます。
- [Enter] キーをタップするとノズルチェックＦパターンの印刷を開始します。



3 パターンを確認します。

- ノズルの目詰まり（線が抜けている）があったり、線がかすれている場合「ヘッドクリーニングの手順」P.66に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



Note

- 上記は、６色設定のパターンです。
- プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

ノズルチェック B の手順

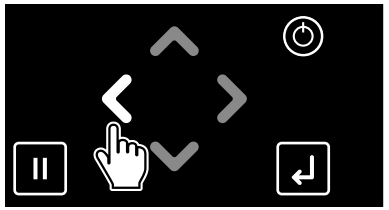
1 メディアをセットします。

☞「メディアのセット方法」P.49

2 キーをタップします。

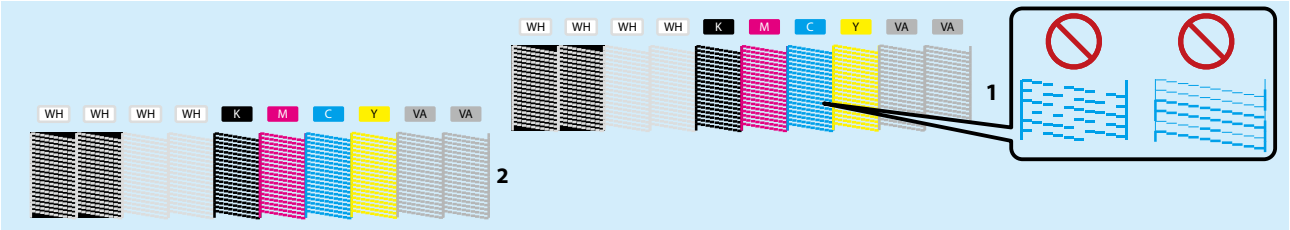
☞「ダイレクトキーの説明」P.29

- [インサツヲカイシシマスカ？　ノズルチェック F] が表示されたら、 / キーで [ノズルチェック B] を選択します。
- [Enter] キーをタップするとノズルチェック B パターンの印刷を開始します。



3 パターンを確認します。

- ノズルの目詰まり（線が抜けている）があったり、線がかすれている場合、「ヘッドクリーニングの手順」P.66 に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



Note

- 上記は、 6色設定のパターンです。背景に色がつかない部分を水色にしています。
- パターンの横に、プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン、ヘッド選択設定、ノズルエリア選択）が印刷されます。

ヘッドクリーニングをする

ノズルの目詰まりがあったときは、ヘッドクリーニングを実施してください。

ヘッドクリーニングには下記のモードがあります。ノズルチェックの印刷結果によって使い分けてください。

微量クリーニング	「通常クリーニング」より少量のインクを消費します。
通常クリーニング	ノズルチェックを行ったときに、数箇所にノズルの目詰まりがある場合に使用します。
強力クリーニング	「通常クリーニング」より多くのインクを消費します。通常クリーニングでノズルの目詰まりが解消しない場合は強力クリーニングを使用します。
微量充てん	クリーニング効果は高いですが、多くのインクを消費します。 （「微量充てん」は、メンテナンスメニューの「クリーニング」P.126 から選択します。）
初期充てん	微量充てんよりクリーニング効果は高いですが、かなり多くのインクを消費します。 （「初期充てん」は、メンテナンスメニューの「クリーニング」P.126 から選択します。）

Important !!

微量充てん、初期充てんを行うときは、以下を遵守してください。再度インク充てんをするため、多量のインクが消費されます。

- フロントカバー、メンテナンスカバーを開けないこと。
- 加圧アームを上げないこと。
- インクカートリッジ（インクパック）を抜かないこと。
- 新しいインクカートリッジ（インクパック）を使用すること。

ヘッドクリーニングの手順

1 キーをタップします。

☞「ダイレクトキーの説明」P.29

2 / キーをタップして、クリーニングモードを選択します。

Note

ダイレクトキーから選択できるクリーニングモードは、「微量」「通常」「強力」の3種類です。☞「ヘッドクリーニングをする」P.65

3 Enter] キーをタップします。

- クリーニングを開始します。

4 ノズルチェックを印刷して、ノズルの目詰まりがないかどうかを確認します。

☞「ノズルチェックをする」P.61

- ノズルの目詰まりが解消されない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。

Note

通常クリーニングを数回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されない場合は、以下の対処方法を参考にしてください。

1. 強力クリーニングを行ってください。（解消されない場合は、次に進んでください。）
2. 以下を清掃してください。（解消されない場合は、次に進んでください。）
   ☞「各部の清掃の流れ」P.189
3. メンテナンスメニューのクリーニングから「微量充てん」を行ってください。（解消されない場合は、次に進んでください。）
   ☞「クリーニング」P.126
4. 「漬け置きクリーニング」を実施してください。
   ☞「漬け置きクリーニング」P.186
5. 「漬け置きクリーニング」でも解消しない場合は、ノズルの目詰まりのないノズルを選択することができます。
   ☞「ノズル選択」P.119

印刷精度の調整

はじめて印刷をする前に、次の項目を調整してください。

- 「ヘッド調整」P.68

  本製品はプリントヘッドを 2 つ搭載しています。プリントヘッド間のドット着弾位置を調整します。
  ヘッド調整をしたあとは、必ず画質調整（調整印刷）をしてください。

- 「画質調整（調整印刷）」P.72

  双方向印刷のドット着弾位置を調整します。調整する前にメディアの厚さを入力します。

- 「メディア送り補正」P.78

  メディアの送り量を補正します。

ヘッド調整

本製品には、プリントヘッドが 2 つ搭載されています。プリントヘッド間のズレを本メニューの調整パターンの印刷結果で確認し、調整することができます。

ヘッド調整には以下の調整方式があります。

オート	カラーセンサーが調整パターンを検出して、自動でヘッド調整を実行します。
スタンダード	調整パターンを印刷して、ズレの少ない調整値を入力します。 ユーザー定義で設定した作画モードのみを調整します。RIP 側とユーザー定義の作画モードは同じにしてください。
カスタム	調整パターンを印刷して、ズレの少ない調整値を入力します。 すべての作画モードを調整します。RIP 側とユーザー定義の作画モードが異なっても、最適な画質で印刷されます。

Note

- **以下の場合にはヘッド調整を行うと、画質を改善できる可能性があります。**
  - 印刷方向が双方向の作画モードを使用していて画質が気になるとき
  - 調整印刷をしても画質が向上しないとき
- **ヘッド調整を行った後は、かならず画質調整（調整印刷）を実施してください。**
  ヘッド調整の影響で、ズレが生じる可能性があります。
  ☞「画質調整（調整印刷）」P.72
- **「スタンダード」を選択してヘッド調整を行った後に、作画モードを変更するときは、かならずヘッド調整も合わせて行ってください。**
- **「カスタム」を選択して、調整パターン「調整オール」を選びヘッド調整を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更してもヘッド調整は不要です。**
- **RIP ソフトなどで、ユーザー定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、カスタムヘッド調整であらかじめすべてのパターン（A、B、D、E）を確認し、ズレがあるパターンは調整を実施しておいてください。**
- **オート調整を実施しても画質が向上しないとき（バンディングや粒状感が見られるとき）は、オート調整をやり直すか、スタンダードかカスタムで調整してください。**
- **メディアが浮き上がる場合は、メディアをセットし直してください。**

ヘッド調整の手順

1 メディアをセットして、メディア幅を検出します。

☞「メディアのセット方法」P.49

- メディアが浮き上がらないようにセットしてください。

2 「ヘッド調整」メニューにアクセスします。

- [Home] キーをタップします。[メニュー１　セッテイ] が表示されます。
- キーをタップして、[メニュー２：テストインサツ] を選択します。
- キーをタップすると、[テストインサツ１　ノズルチェック] が表示されます。
- / キーで メニューをスクロールし、[テストインサツ７　ヘッドチョウセイ] を選択します。
- キーをタップすると、[ヘッドチョウセイ１　オート] が表示されます。

3 / キーで「オート」、「スタンダード」、「カスタム」から調整方式を選択します。

4 以下の手順に従って、調整します。

☞「ヘッド調整：オートを選択した場合」P.70
☞「ヘッド調整：スタンダード、カスタムを選択した場合の手順」P.71

ヘッド調整：オートを選択した場合

- 調整パターンの詳細については、各種設定のメニュー表を参照してください。☞「ヘッドチョウセイ」P.125

1 調整パターンを選択します。

- キーをタップすると、[オール] が表示されます。
- / キーをタップして、調整パターンを選択します。
- [Enter] キーをタップすると印刷を開始します。

Note

調整パターンの印刷中に [Cancel] キーをタップすると印刷をキャンセルします。

2 カラーセンサーが印刷結果を読み取り、自動調整を実施します。

3 調整が終了すると、[セイジョウニシュウリョウシマシタ　カクニン　->　Enter] と表示されます。

- 調整が失敗した場合、[チョウセイニシッパイシマシタ　シュウリョウ　->　Enter] と表示されます。[Enter] キーをタップして、調整を終了します。
- オート調整をやり直すか、カスタムで調整を行ってください。

4 [Enter] キーをタップして、調整を終了します。

Note

- 途中で調整に失敗した場合は、失敗したパターンとそれ以降のパターンの調整値は反映されません（失敗したパターンの直前のパターンの調整値は有効です）。
- オート調整を行っても画質が向上しないとき（バンディングや粒状感が見られる時）は、オート調整をやり直すか、カスタムで調整を行ってください。
- メディアが浮き上がる場合は、メディアをセットし直してください。

ヘッド調整：スタンダード、カスタムを選択した場合の手順

- スタンダード：RIP 側の作画モードの解像度、パス数、印刷方向がユーザー定義の作画モードと異なっている場合は、RIP 側に合わせた調整パターンを選択してください。☞「作画モードに対応する調整パターン」P.77
- 調整パターンの詳細については、各種設定のメニュー表を参照してください。☞「ヘッドチョウセイ」P.125

1 調整パターンを印刷します。

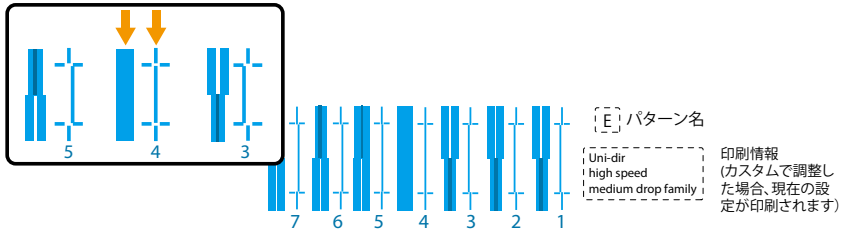
● スタンダードを選択した場合

- [Enter] キーをタップすると、調整パターンが印刷されます。

● カスタムを選択した場合

- キーをタップ すると、[カスタム 1　チョウセイオール] が表示されます。
- / キーをタップし、調整パターンを選択します。
- [Enter] キーをタップすると印刷されます。

- 印刷結果を確認して、もっともズレのないパターンを探します。



Note

調整パターンの印刷中に [Cancel] キーをタップすると印刷をキャンセルします。

2 ズレのないパターンの番号を入力します。

- 上図の場合、[パターン E：4 」と入力します。
- / キー：番号を変更します。
- [Enter] キー：確定します。
- [ヘッドチョウセイ 2：　カスタム] を選択し、かつ [チョウセイオール] を選択した場合は、パターン A、B、D、E の調整値を入力します。

画質調整（調整印刷）

双方向印刷のドット着弾位置を調整します。調整する前にメディアの厚さを入力します。

次の場合は、必ず調整してください。

- 本製品をはじめて使うとき
- メディアの種類を変更したとき

次の症状がみられる場合は、調整してください。

- 双方向印刷をして、粒状感があったり、線がぼやけていたりするとき

調整印刷には、下記の種類があります。

オート	カラーセンサーが調整パターンを検出して、自動でヘッド調整を実行します。
スタンダード	調整パターンを印刷して、ズレの少ない調整値を入力します。 ユーザー定義で設定した作画モードのみを調整します。RIP 側とユーザー定義の作画モードは同じにしてください。
カスタム	調整パターンを印刷して、ズレの少ない調整値を入力します。 すべての作画モードを調整します。RIP 側とユーザー定義の作画モードが異なっても、最適な画質で印刷されます。

Note

- 調整パターンを印刷します。印刷可能領域の幅が 550mm 以上です。550mm 未満の場合、調整できません。
- 印刷可能領域の幅はセットしているメディアの幅を基準に、原点設定の CR 方向の変更量と、サイドマージンの変更量（左右合計）によって増減します。

☞「メディアハバ」P.111 、「ゲンテンセッテイ」P.112 、「サイドマージン」P.111

- スタンダード調整を行った後に、作画モードを変更する場合は、かならず画質調整（調整印刷）も合わせて行ってください。
- カスタム調整を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更しても調整印刷は不要です。
- RIP ソフトなどで、ユーザー定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、カスタム調整であらかじめすべてのパターン（A,B,D,E）に対して調整を行っておいてください。

画質調整（調整印刷）の手順

1 メディアをセットします。

☞「メディアのセット方法」P.49

2 「調整印刷」メニューにアクセスします。

- [Home] キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- ＞ キーを 2 回タップ すると、[ユーザーテイギ　Type 1] が表示されます。
- ∧ / ∨ キーをタップして任意のユーザー定義を選択し、[Enter] キーをタップ します。
- [Type**：1 サクガモード] が表示されます。
- ∧ / ∨ キーをタップして、[Type**：2　チョウセイインサツ] を選択します。

3 ＞ キーをタップすると、[メディアアツサ：] が表示されます。

- メディア厚さを設定します。
- ∧ / ∨ キー：値を入力
- [Enter] キー：確定

4 [チョウセイインサツ 1　オート] が表示されます。
∧ / ∨ キーをタップして、調整方法を選択します。

☞「画質調整（調整印刷）」P.72

5 ＞ キーをタップします。

6 以下の手順に従って、調整します。

☞「調整印刷：オートを選択した場合の手順」P.74
☞「調整印刷：スタンダード、カスタムを選択した場合の手順」P.75

調整印刷：オートを選択した場合の手順

調整パターンの詳細については、各種設定のメニュー表を参照してください。☞「チョウセイインサツ」P.109

1 調整パターンを選択します。

- ▲ / ▼ キーをタップして調整パターンを選択します。
- [Enter] キーをタップすると、調整パターンが印刷されます。
- カラーセンサーが印刷結果を読み取り、自動で調整します。

Note

パターンの印刷中に [Cancel] キーをタップすると印刷をキャンセルします。

2 調整が終了すると、[セイジョウニシュウリョウシマシタ　カクニン　->　Enter] と表示されます。

- 調整が失敗した場合、[チョウセイニシッパイシマシタ　カクニン　->　Enter] と表示されます。[Enter] キーをタップして、調整を終了します。
- オート調整をやり直すか、スタンダードかカスタムで調整を行ってください。

3 [Enter] キーをタップして調整を終了します。

Note

- 途中で調整に失敗した場合は、失敗したパターンとそれ以降のパターンの調整値は反映されません（失敗したパターンの直前のパターンの調整値は有効です）。
- オート調整を行っても画質が向上しないとき（バンディングや粒状感が見られる時）は、オート調整をやり直すか、カスタムで調整を行ってください。

調整印刷：スタンダード、カスタムを選択した場合の手順

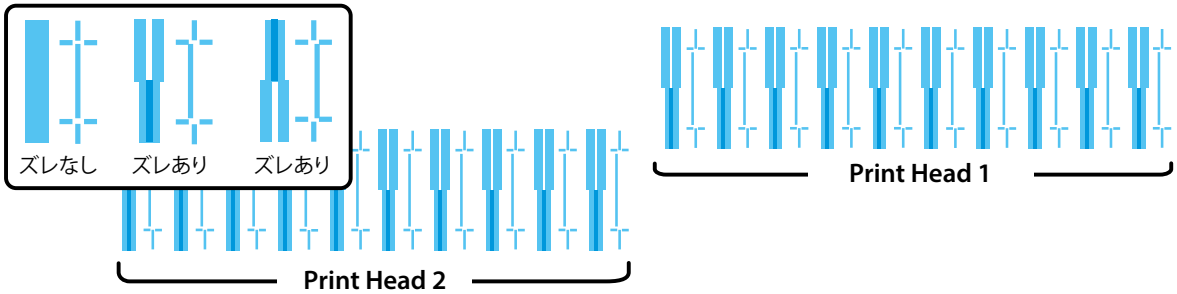
- スタンダード：RIP 側の作画モードの解像度、パス数、印刷方向がユーザー定義の作画モードと異なっている場合は、RIP 側に合わせた調整パターンを選択してください。
☞「作画モードに対応する調整パターン」P.77
- 調整方法の詳細については、各種設定のメニュー表を参照してください。☞「チョウセイインサツ」P.109

1 「確認パターン」を印刷します。

- [Enter] キーをタップすると、印刷されます。

> **Note**
> 確認パターンの印刷中に [Cancel] キーをタップすると印刷をキャンセルします。

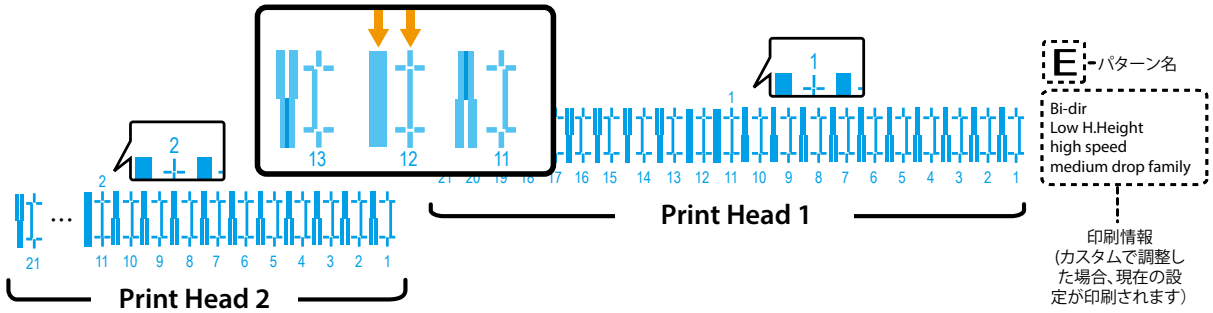
2 印刷結果を見て、ズレがないかどうか確認します。
ズレがない場合は、[Enter] キーをタップして調整を終了します。



- ズレ量が大きいと思われる場合は、手順 3 に進みます。
- ズレ量が小さいと思われる場合は、手順 6 に進みます。

3 「粗調整パターン」を印刷します。

- [カスタム] の場合：▲ / ▼ キーをタップして、[ソチョウセイオール] または [ソチョウセイパターン] の A、B、D、E から粗調整パターンを選択します。
- [Enter] キーをタップすると、パターンが印刷されます。
- プリントヘッド 1 の印刷結果を確認して、もっともズレのないパターンを探します。



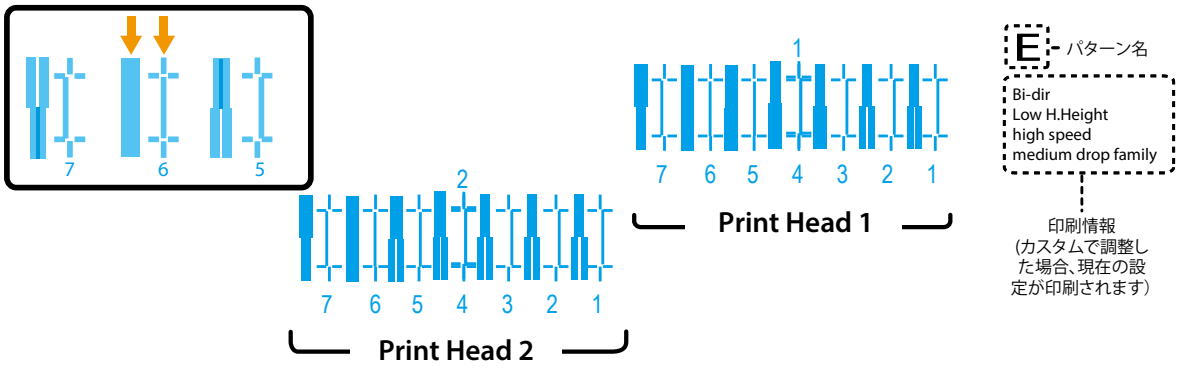
4 ズレのないパターンの番号を入力します。

- 手順 3 のイラストの場合、[パターン E1： 12] と入力します。
- ▲ / ▼ キー：番号を変更します。
- [Enter] キー：確定します。
- [カスタム] で [ソチョウセイオール] を選択した場合は、パターン A、B、D、E すべてに入力します。

5 同様に、プリントヘッド 2 の調整を行います。

6 「微調整パターン」を印刷します。

- [カスタム] の場合：[ビチョウセイオール] または [ビチョウセイパターン] の A、B、D、E からパターンを選択します。
- [Enter] キーをタップして、調整パターンを印刷します。
- プリントヘッド 1 について、メディア両端と中央の印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。



7 ズレのない番号を入力します。

- 手順 6 のイラストの場合、[パターン E1：6] と入力します。
- / キー：番号を変更します。
- [Enter] キー：確定します。
- [カスタム] で [ビチョウセイオール] を選択した場合は、パターン A、B、D、E すべてに入力します。

8 同様に、プリントヘッド 2 の調整を行います。

作画モードに対応する調整パターン

作画モード	パターン
High Quality	パターン E
Quality	
Production	パターン D
High Speed	
Draft	

メディア送り補正

メディアの送り量を調整します。

次の場合には、必ず調整してください。

- 本製品を初めて使用するとき
- メディアの種類を変更するとき
- 加圧力を変更したとき

印刷結果に以下の症状がみられる場合は、調整してください。

- 画像が重なっている。
- 画像に白いスジが入っている。

それ以外の場合は、「ノズルチェックとクリーニング」P.61 に進んでください。

送り補正の手順

Note

- 調整パターンを印刷します。印刷可能領域の幅が 400mm 以上必要です。400mm 未満の場合、調整できません。
- 印刷可能領域の幅はセットしているメディアのメディア幅を基準に、原点設定の CR 方向の変更量と、サイドマージンの変更量（左右合計）によって増減します。

☞「メディアハバ」P.111 、「ゲンテンセッテイ」P.112 、「サイドマージン」P.111

1 メディアをセットします。

☞「メディアのセット方法」P.49

- メディアが浮き上がらないようにセットしてください。

2 ユーザー定義メニューの「送り補正」にアクセスします。

- [Home] キーをタップ します。[セッテイ] が表示されます。
- キーを 2 回タップ して、[ユーザーテイギ　Type 1] を表示します。
- / キーをタップして任意のタイプを選択します。
- [Enter] キーをタップ します。
- キーをタップし、[オクリホセイ] を表示します。

3 ▶ キーをタップすると、[オクリホセイ　オート] が表示されます。

・▲ / ▼ キーで実行するメニューを選択します。

サブメニュー	説明	
オート	カラーセンサーが調整パターンを検出して、自動でメディア送り補正を実行します。 ☞「自動でメディア送り補正を実行する」P.80	
ショキチョウセインサツ	フィード長さを設定し、初期調整印刷を行います。	☞「印刷結果を確認しながら、手動でメディア送り補正を実行する」P.81
ショキチョウセイチ	印刷された調整パターンを実測して値を入力します。	
カクニンチョウセインサツ	補正された確認用の調整パターンを印刷します。	
ビチョウセイインサツ	微調整用の調整パターンを印刷します。	
ビチョウセイチ	微調整用の調整パターンを確認して、最適な微調整パターンの値を入力します。	

4 以下の手順に従って調整します。

☞「自動でメディア送り補正を実行する」P.80

自動でメディア送り補正を実行する

1 **[オート] を選択します。**

- [Enter] キーをタップすると、自動でメディア送り補正が実行されます。

2 **調整が終了すると、[セイジョウニ シュウリョウ シマシタ　カクニン　->　Enter] が表示されます。**

- 調整が失敗した場合、[チョウセイニシッパイシマシタ　シュウリョウ　->　Enter] と表示されます。
- [Enter] キーをタップして、終了します。
- 自動でメディア送り補正を行っても、印刷結果の不具合に改善が見られない場合は、印刷結果を確認しながら、手動でメディア送り補正を実行してください。

☞「印刷結果を確認しながら、手動でメディア送り補正を実行する」P.81

Note

自動でメディア送り補正を実行すると、微調整値に自動調整後の値が反映されます。

印刷結果を確認しながら、手動でメディア送り補正を実行する

この調整には定規を使用します。市販の定規をご用意ください。

すでに調整値がわかっている場合は、手順 9 の「微調整値」に入力してください。

1 「初期調整印刷」を実行します。

- [ショキチョウセイインサツ] を表示し、 キーをタップ します。
- [フィードナガサ 250mm] が表示されます。 / キーをタップしてフィードの長さを入力します。
- [Enter] キーをタップして、調整パターンを印刷します。

Note

- 初期調整印刷のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。フィード長さを長くすると、メディア送り補正の精度が若干向上します。

2 メディアをカットします（任意）。

3 定規を使って、印刷された「 」間の長さを測ります。

Note

- 上記は6色設定の場合のパターンです。 4色設定の場合、外側のパターン（ブラック）のみが印刷されます。内側のパターン（ホワイト）は印刷されません。

4 「初期調整値」に実測値を入力します。

- [ショキチョウセイチ] を選択し、 キーをタップ します。
- / キーをタップして手順２で測った実測値を入力し、 [Enter] キーをタップします。

5 「確認調整印刷」を実行します。

- [カクニンチョウセイインサツ] を選択し、 キーをタップします。
- [フィードナガサ 250㎜] が表示されます。 / キーをタップしてフィードの長さを入力します。
- [Enter] キーをタップして、調整パターンを印刷します。

Note

初期調整印刷のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。
フィード長さを長くすると、メディア送り補正の精度が若干向上します。

6 メディアをカットします（任意）。

7 定規等を使用して、印刷された「 」間の長さを測ります。

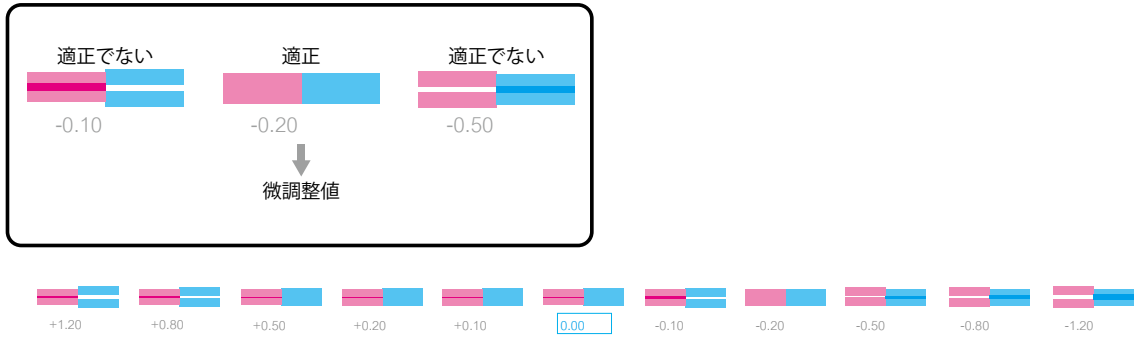
- 表示されている長さと実測値が一致した場合：次の手順に進みます。
- 表示されている長さと実測値が一致していない場合：手順 1 からやり直してください。

Note

上記は6色設定の場合のパターンです。4色設定の場合、外側のパターン(ブラック)のみが印刷されます。内側のパターン(ホワイト)は印刷されません。

8 「微調整印刷」を実行します。

- [ビチョウセイインサツ] を選択します。
- [Enter] キーをタップし、調整パターンを印刷します。
- 印刷結果を確認して、もっとも白スジ、色の濃いスジのないパターンのを探します。選択したパターンの下に書かれた値が微調整値です



9 「微調整値」に、選択した値を入力します。

- [ビチョウセイチ] を選択し、 キーをタップします。
- [ビチョウセイチ　(-5 - 5) 5.00%] が表示されます。
- / キーをタップして微調整値を入力し、 [Enter] キーをタップします。

Note

微調整値を入力すると、その値を基準値として各微調整値が補正されます。
微調整値に「-0.20」を保存した場合、調整パターンの下の値は、左から「+1.00」、「+0.60」、「+0.30」、「0.00」、「-0.10」、「-0.20（基準値）」、「-0.30」、「-0.40」、「-0.70」、「-1.00」、「-1.40」となります。

印刷を開始する

VerteLith を使った基本的な印刷（単層印刷）の手順を説明します。
VerteLith のセットアップおよび詳しい操作方法については、別冊の「VerteLith ユーザーマニュアル」を参照してください。

データを印刷する

1 VerteLith を起動し、使用するプリンターに「XPJ-1682UR」を選択します（①）。

- 「XPJ-1682UR」が表示されます（②）。

Note

プリンターの登録方法は、「VerteLith ユーザーマニュアル」を参照してください。

2 印刷したい画像ファイルを追加します。

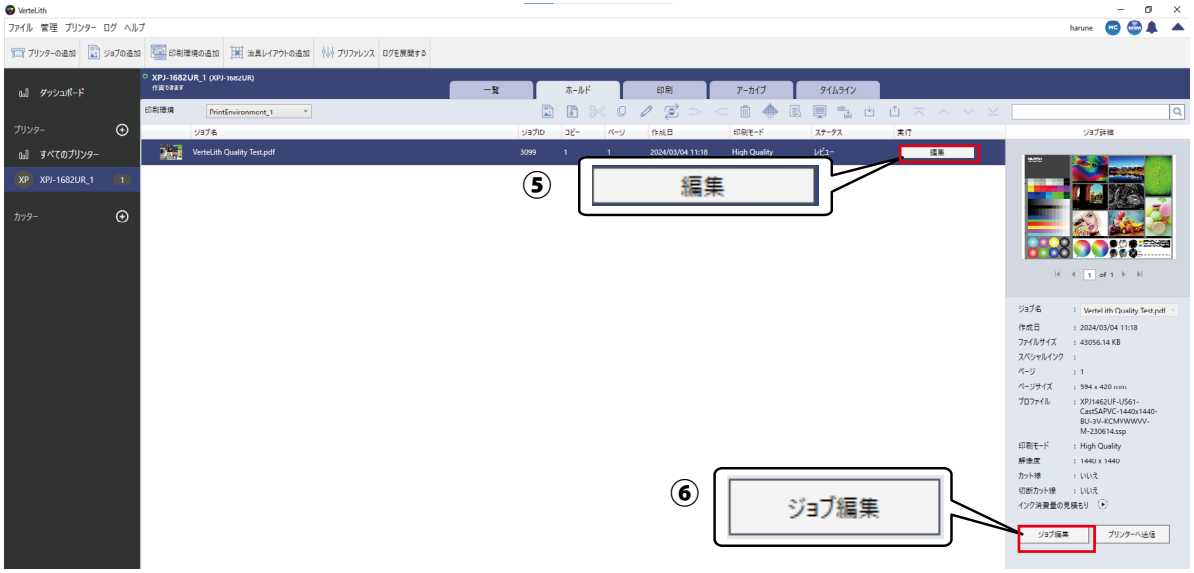
- ホールドタブの [ジョブ追加] アイコン（③）をクリックすると、ファイル選択のダイアログが表示されます。

- ダイアログから追加したい画像ファイルを選択して [OK] をクリックすると、ホールドタブ内にジョブが追加されます（④）。複数のファイルも追加できます。

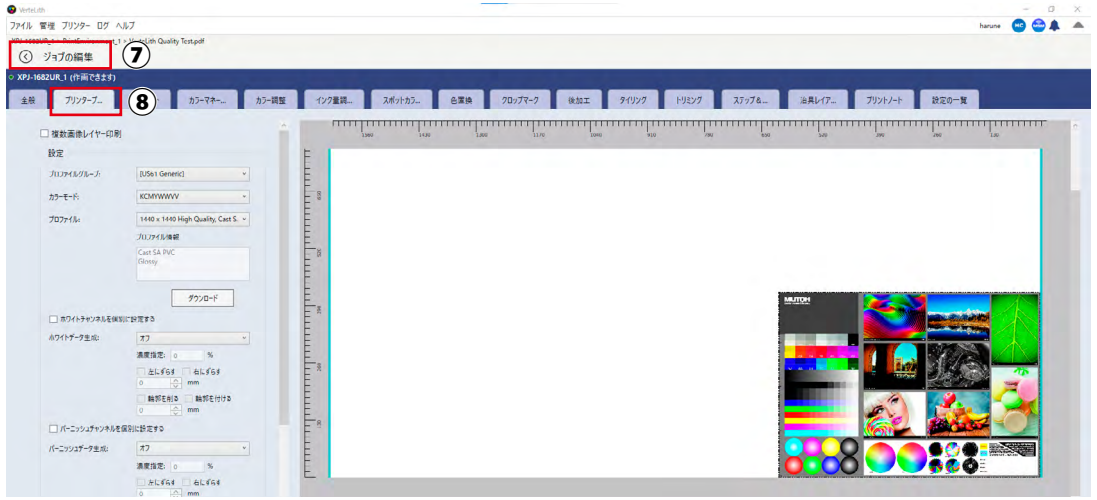
Note

ホールドタブにファイルをドラッグでも追加できます。

3 ジョブを選択して、[編集]（⑤）か [ジョブ編集]（⑥）をクリックします。



4 [ジョブの編集]（⑦）が表示されたら、プリンタープロファイルタブ（⑧）をクリックします。

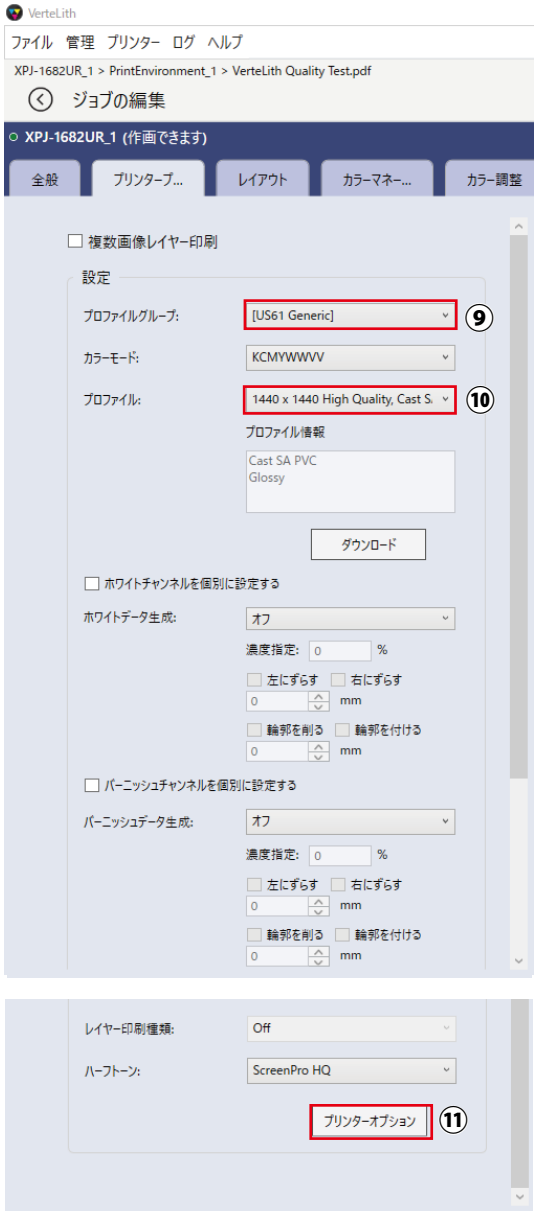


5 基本の印刷設定を実施します。

プロファイルグループを選択 (⑨)
- 使用しているインクに合わせて選択します。

プロファイルを選択 (⑩)
- 印刷に使用するメディア種類、印刷スピードに合わせて選択します。

プリンターオプション (⑪)
- 詳細な印刷設定ができます（デフォルトでも印刷できます）。



6 設定後、[プリンターへ送信] (⑫) をクリックすると印刷タブが表示され、RIP 処理につづいて印刷を開始します。

- 送信中は、ジョブのステータス（送信中、RIP 処理待ち、RIP 処理中、印刷待ち）が表示されます（⑬）。

- 印刷終了後、ホールドタブに再びジョブが表示されます（⑭）。

ジョブの停止 / 再開 / キャンセル

1 キュー停止アイコン（①）をクリックすると、RIP 処理後のジョブを「印刷待ち」状態にします（送信中のジョブの一時停止はできません）。

2 キュー再開アイコン（②）をクリックすると、「印刷待ち」のジョブの印刷を再開します。

3 キャンセルアイコン（③）をクリックすると、ジョブの印刷をキャンセルします。

くわしい使い方

使用するメディアや使い方によって、本体の設定を変更してください。

- メディアがプリントヘッドと擦れて汚れるとき
  ☞「ヘッド高さについて」P.91
- 薄いメディアやコシのないメディアに印刷するとき
  ☞「メディア搬送時のメディア全体にかかる加圧力を変更する」P.93
  ☞「加圧アームの加圧力を個別に弱める / キャンセルする」P.94

Note

薄いメディアやコシのないメディアに印刷するときは、「吸着ファン」を弱めることも、シワの防止に効果があります。
☞「キュウチャクファン」P.110

ヘッド高さについて

通常はメディアの厚さに応じて、Low、または Middle のヘッド高さで使用してください。

メディアとプリントヘッドの距離が近いほど画質が安定します。

Important !!

メディアの状態や印刷条件によるシワの発生によっては、メディアがプリントヘッドと擦れて汚れることがあります。そのようなときは以下をお試しください。

- シワが発生した部分に対して、加圧アームの加圧力を個別に弱める / キャンセルする

☞「加圧アームの加圧力を個別に弱める / キャンセルする」P.94

- プリントヘッドの高さを変えたときは、かならず画質調整を行ってください。
- 印刷中にフロントカバーを開けて、ヘッド高さを切り替えないでください。ヘッド高さを切り替えると、画質調整が変わってしまい、印刷品質が保証できません。

ヘッド高さと推奨メディア厚さの関係は次の表を参照してください。

むやみにプリントヘッドを高くすると、メディアとプリントヘッドの距離が広がることで、ミスト化したインクがノズルやメディア、機体内部に付着し、印刷品質の低下や部品の破損を引き起こすことがあります。

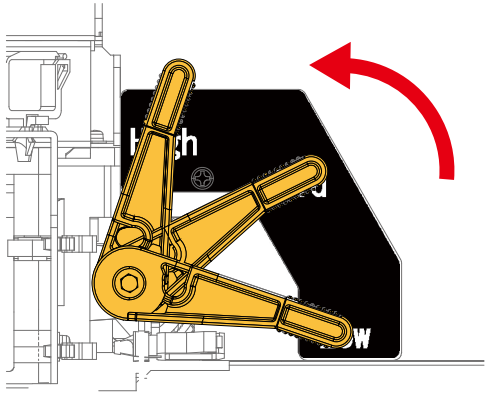
ヘッド高さ	推奨メディア厚さ (1.0 mm 以下)	通紙可能な最大メディア厚さ	説明
Low	～ 0.3 mm	0.3 mm	通常はこの高さで使用してください。
Middle	0.3 mm ～ 0.8 mm	0.8 mm	メディア厚さが 0.3 mm ～ 0.8 mm の場合、または Low でヘッド擦れが発生する場合に使用してください。
High	0.8mm ～ 1.3mm	1.3 mm	Middle でヘッド擦れが発生する場合以外は、使用しないでください。 メディアとプリントヘッドとの距離が遠いため、印刷中に発生するミスト化したインクにより、下記の現象が発生します。 • ノズルの目詰まり • ミスト付着によるメディアのインク汚れ • ミスト付着による機体内部のインク汚れ

ヘッド高さを変更する

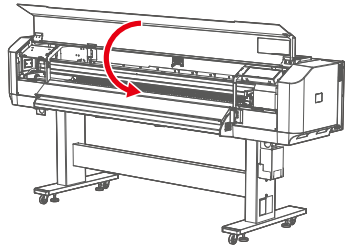
1 フロントカバーを開きます。

2 レバーを動かして、ヘッド高さを切り替えます。

ヘッド高さ	説明
High	プリントヘッドの高さが最も高くなります。
Middle	メディア厚さが 0.3 mm ～ 0.8 mm の場合、または Low でヘッド擦れが発生する場合に使用してください。
Low	初期状態のプリントヘッド高さです。プリントヘッドの高さが最も低くなります。



3 フロントカバーを閉じます。



4 画質調整を実施します。

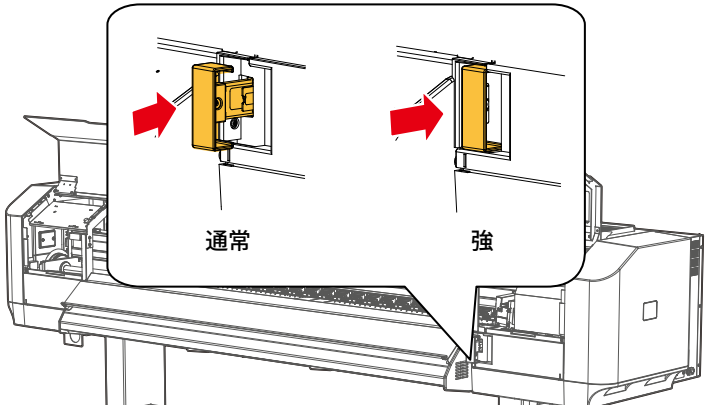
☞「画質調整（調整印刷）」P.72

メディア搬送時のメディア全体にかかる加圧力を変更する

メディア搬送時のメディア全体にかかる加圧力を変更したい場合には、メディアセットレバーで変更します。

メディアセットレバーは、「通常」、「強」の 2 段階で変更できます。

- 「通常」：一般的なメディアで使用する加圧力です。レバーを押し込み、手前側のセット位置で止めます。
- 「強」：重量のあるメディア（ターポリンなど）の印刷時に、加圧力をより強くしたい場合に使用します。レバーを一番奥まで押し込みます。



Important !!

メディアセットレバーの加圧力を変更した場合は、かならずメディア送り補正を行ってください。

☞「メディア送り補正」P.78

加圧アームの加圧力を個別に弱める / キャンセルする

薄いメディアやコシのないメディアに印刷するとき、メディアがプリントヘッドと擦れて汚れることがあります。そのようなときは、メディアを押さえている加圧アームの加圧力を個別に弱めたりキャンセルしたりすると改善する場合があります。

それぞれの加圧アームのスライドロックレバーで、加圧力を「通常」、「弱」、「キャンセル」の 3 段階に変更できます。

- 「通常」：一般的なメディアで使用する加圧力です。出荷時はこの状態です。
- 「弱」：加圧力が弱くなります。
- 「キャンセル」：加圧アームが下がらなくなり、加圧力がなくなります。

メディアセットレバーを「強」にセットした場合は、加圧アームのスライドロックレバーで変更できる加圧力は「通常」か「キャンセル」のみです。(「弱」にセットしても、加圧力が弱くなりません)。

スライドロックレバーを「キャンセル」にする場合は、メディアセットレバーを一番手前まで引いて、加圧アームを上げた状態で行ってください。

メディアセットレバー	スライドロックレバー
通常	通常 / 弱 / キャンセル
強	通常 / キャンセル

Important !!

加圧アームのスライドロックレバーで加圧力を個別に変更した場合は、かならずメディア送り補正を行ってください。

☞「メディア送り補正」P.78

Note

薄いメディアやコシのないメディアは、印刷時にシワになりやすい傾向があります。シワがプリントヘッドの下面に接触して、メディアが汚れます。メディア両端の加圧アームを解除するとシワの防止に効果があります。

手順

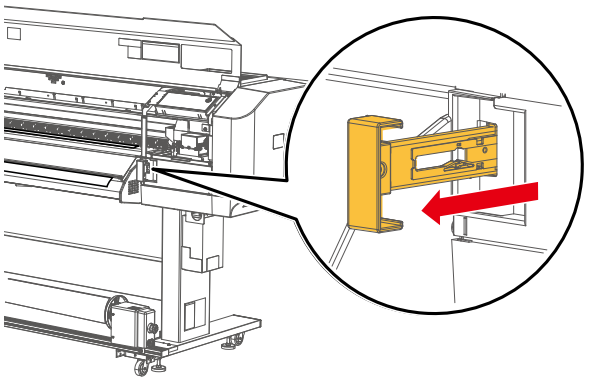
1 フロントカバーを開きます。

2 用途に応じて、メディアセットレバーの位置を変更します。

■スライドロックレバーをキャンセルにする場合
- メディアセットレバーを一番手前まで引いて、加圧アームを上げます。

■スライドロックレバーを弱にする場合
- メディアセットレバーを「通常」のセット位置にします。

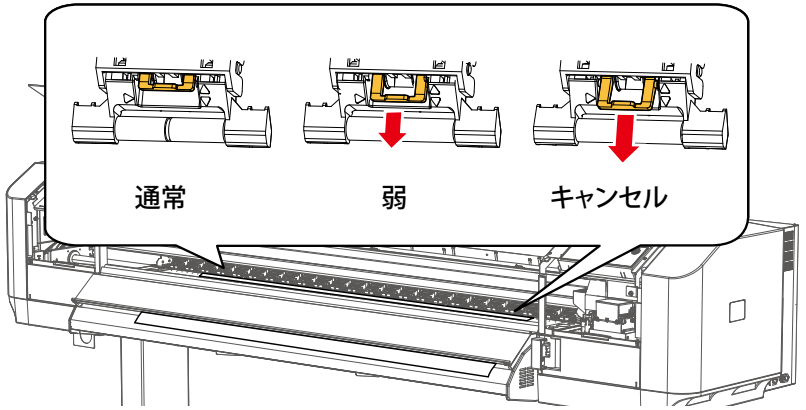
☞「メディア搬送時のメディア全体にかかる加圧力を変更する」P.93



Note

メディアセットレバーを一番手前まで引いていないと、スライドロックレバーを「キャンセル」にはできません。

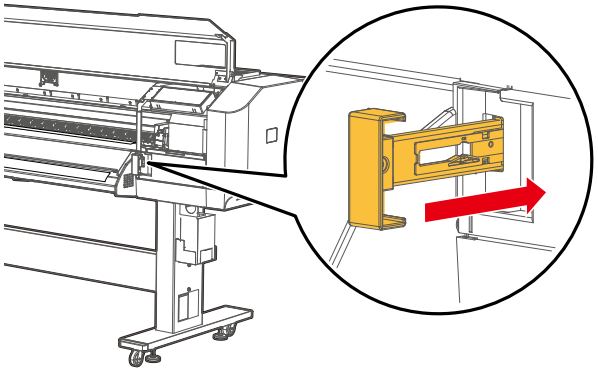
3 加圧アームのスライドロックレバーを押し下げながら、手前に引き出します。
- 加圧力を「弱」にする場合は、カチッとするところまで手前に引き出します。
- 加圧力を「キャンセル」する場合は、もう一段手前のカチッとするところまで引き出します。



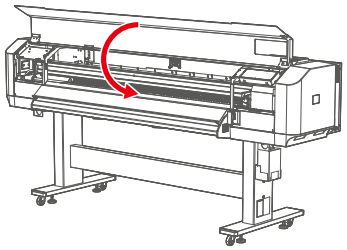
Note

まずメディア両端を押さえている加圧アームで試してみて、改善しない場合は、「弱」や「キャンセル」にする加圧アームの数を増やしてください。

4 スライドロックレバーをキャンセルにする場合は、メディアセットレバーを元の状態に戻して、加圧アームを下げます。



5 フロントカバーを閉じます。



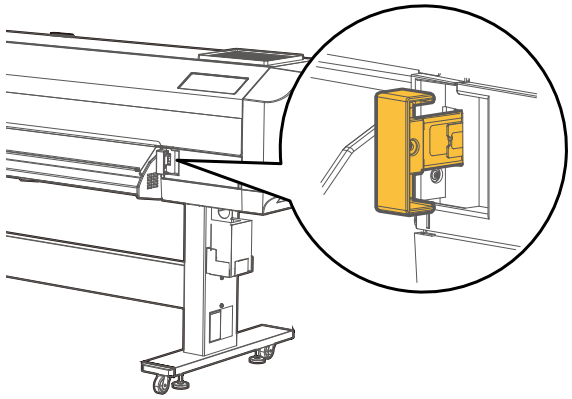
6 メディア送り補正を実施します。

☞「メディア送り補正」P.78

プリンターコントロールパネルからの各種操作

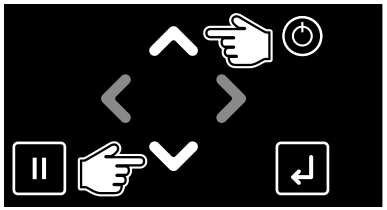
メディア送り

1 加圧アームが下がっていることを確認します。



2 ▲または▼キーをタップします。
- ▲キー：メディアをバックフィードします。
- ▼キー：メディアをフロントフィードします。

Note
キーをロングタッチすると、高速フィードします。

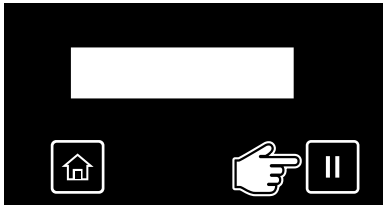


3 メディアを任意の位置まで送ったら、▲または▼キーを離します。

印刷の一時停止／再開

1 印刷中に、[Cancel] キーをタップします。

- 印刷が一時停止します。

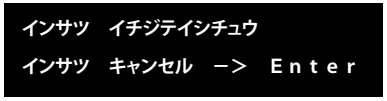


Note

- 本操作では本製品に送信された印刷データは削除されません。
- 印刷を中止しデータを削除する場合は、以下をご覧ください。

☞「印刷のキャンセル」P.99

2 再度 [Cancel] キーをタップすると、印刷が再開します。



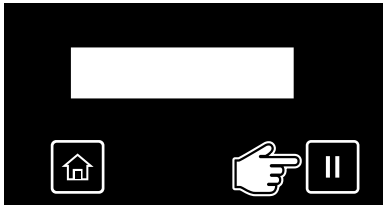
Important!

印刷を一時停止させた場合、印刷品質は保証できません。

印刷のキャンセル

1 印刷中に、[Cancel] キーをタップします。

- 印刷が一時停止します。

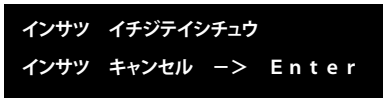


Note

再度 [Cancel] キーをタップすると、印刷を再開します。

2 [Enter] キーをタップすると、印刷がキャンセルされます（再開はできません）。

- 本製品に送信された印刷データが削除されます。



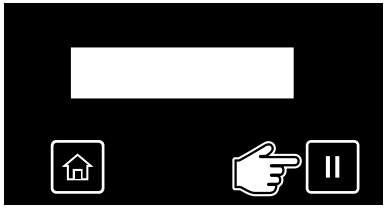
Note

MSM のリモートパネルでも、印刷をキャンセルできます。

メディアのカット

1 印刷が終了していることを確認します。

- [Cancel] キーをタップします。



2 [Enter] キーをタップします。

- 余白分のメディアを送り出し、メディアをカットをします。

Note

- 新しいメディアをセットした場合に、メディアの先端がまっすぐになっていないときは、先端をカットしてください。
- 「メディア検出」が「Off」に設定されている場合は、自動でカットすることができません。

☞「メディアケンシュツ」P.111

- 「排紙モードメニュー」で「オートカット」に設定している場合は、印刷が終了すると、製品は自動的にメディアをカットします。

☞「ハイシモード」P.111

- カッターは消耗品です。定期的に交換してください。

☞「カッターの交換」P.204

次回、かくはんが必要となるまでの時間を表示

1 パネルに「インサツデキマス」または「メディアナシ」が表示されているときに [Enter] キーをタップします。

2 次回、かくはんが必要となるまでの時間が表示されます。
詳細は「ダイレクトキーからかくはんを行う場合」P.150 を参照してください

印刷中にプリンターコントロールパネルでできること

1. 左のイラストのいずれかが表示されているときに [Home] キーをタップします。
2. ▲/▼ キーをタップして、メニューを選択します。

メニュー	内容
オクリビチョウセイ	メディアの送り量を補正します。 ▲/▼ キーで設定値を変更します。[Enter] キーをタップして確定します。 **Note** • 変更した補正値は、印刷完了後、無効になります。 • 変更した設定を、現在選択中のユーザー定義に反映できます。☞ " ホゾン " P.102
ホゾン	「送り微調整」を選択中のユーザー定義に保存します。 ▲/▼ キーで [ハイ] を選択します。[Enter] キーをタップして確定します。
ジョブステータス	印刷中のデータの情報を表示します。 ▲/▼ キーで表示する項目を選択します。 • データナガサ　：印刷中のデータの全長（メディア送り方向）を表示します。 • インサツズミ　：印刷中のデータについて、印刷済み部分の長さを表示します。 • インサツノコリ：印刷中のデータについて、まだ印刷されていないデータの長さを表示します。 • ノコリジカン　：印刷にかかる残り時間を表示します。 **Note** • 表示される値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。 • 印刷データに長さ情報が含まれていない場合は、すべての項目で「0」が表示されます。
MPS	MPS 機能の状態（オンまたはオフ）を表示します。 MPS 機能の設定は、MSM から変更できます

スリープモード

本製品を使わないときは、電源をオフにせず、必ずスリープモードにしてください。
スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

スリープモードの解除時に経過時間により自動メンテナンス動作を行います。

スリープモードにするときの流れ

スリープモードにするときは、コントロールパネルの指示に従って、必ずデイリーメンテナンスを行ってください。
詳しい手順については、以下を参照してください。

☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.171

長期間スリープモードに入る場合

長期間スリープモードに入る場合は、事前に下記を実施してください。

- インクカートリッジ（インクパック）の残量が十分あることを確認してください。
  ☞「インク残量を確認する」P.158
- 廃液タンクの廃液を捨ててください。
  ☞「廃液タンクを空にする」P.167

Important!

スリープモード中はインクの残量を確認し、「インクスクナイ」が表示されていたらインクを交換してください。
☞「インクの確認と交換」P.158

スリープモードを解除する

1 スリープモードを解除するときは、[Enter] キーをタップします。

Note

本製品は、スリープモードからの復帰時に、自動でヘッドクリーニングや充てんを行うことがあります。動作は経過時間により異なります。

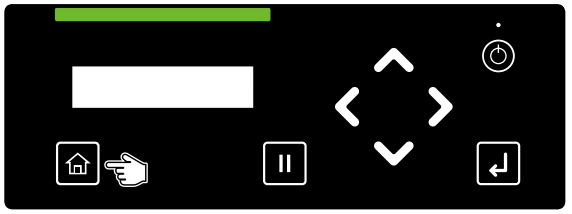
各種設定

キー操作 106
印刷設定メニュー 108
テスト印刷メニュー 123
メンテナンスメニュー 126
プリンターステータスメニュー 128
システム情報メニュー 130
ロール紙残量管理メニュー 131
メディア調整メニュー 135
インクかくはんメニュー 137
スリープモードメニュー 141

キー操作

本製品の各種設定は、パネル設定メニューで行います。

1 パネル設定メニューに入るには、[Home] キー）をタップします。

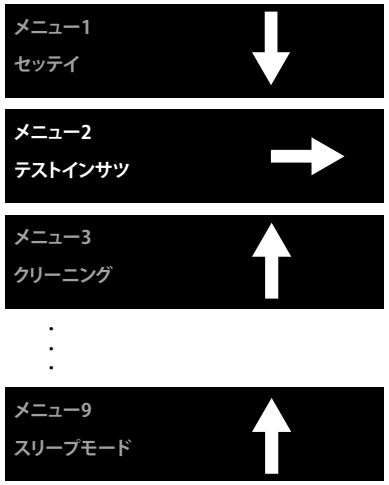


Note

印刷中や、データ受信中（電源ボタン点滅中）は、パネル設定メニューに入れません。

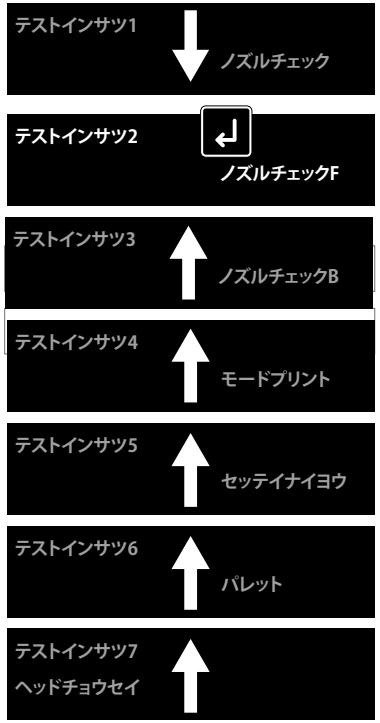
2 / キーで上下に移動します。

- キーでメニューに入ります。



3 サブメニューから選択したり、数値を入力したりするときは、▲/▼キーをタップします。

- ↵ Enter キーで確定 / 実行します。
- ◀ キーで 1 つ前の階層のメニューに戻ります。
（右図の場合、「メニュー 2:テストインサツ」に戻ります。）



印刷設定メニュー

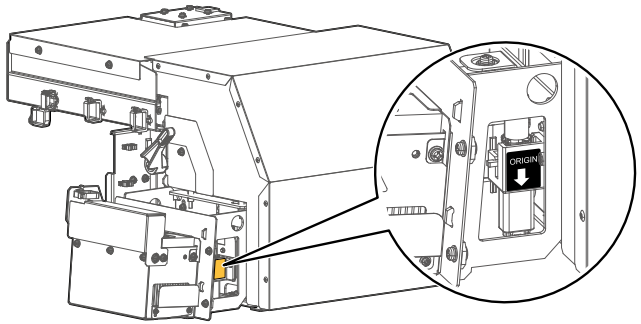
※設定範囲の下線は初期値です。

設定項目	設定範囲	内容
ユーザテイギ	Type1 ～ Type15	メディアの種類ごとにメディア情報や印刷条件を設定します。最大 15 個のユーザー定義を設定できます。 **Important !!** **別のユーザー定義に変更すると、ユーザー定義で変更できる設定がすべて切り替わります。ユーザー定義で変更できる設定は、以下になります。** **•「作画モード」、「エフェクト」、「調整印刷」「送り補正」の調整値** **•「吸着ファン」、「メディア厚さ」の設定値** **初めて使うときやメディアを切り替えた時は、ユーザー定義の各項目を設定してください。**
サクガモード	High Quality, Quality, Production, High Speed, Draft	作画モードを選択します。 • High Quality：より高品質な印刷を行いたいときに設定します。 • Quality：高品質な印刷を行いたいときに設定します。 • Production：標準の品質、速度の印刷を行いたいときに設定します。 • High Speed：高速印刷を行いたいときに設定します。 • Draft：より高速に印刷を行いたいときに設定します。
エフェクト	None, i-Weave UVEx	選択されている作画モードに合ったエフェクトパターンが自動で選択されます。

設定項目	設定範囲	内容
チョウセイインサツ ☞「画質調整（調整印刷）」P.72		双方向印刷のドット着弾位置を調整します。調整する前にメディアの厚さを入力します。
オート	チョウセイオール，スタンダード，チョウセイパターン A, B, D, E,	カラーセンサーが調整パターンを検出して、自動で画質調整（調整印刷）を実行します。 • 調整オール：すべての調整パターンの調整を自動で行います。 • スタンダード：「スタンダード」と同じ調整を自動で行います。 • 調整パターン A,B,D,E：A,B,D,E から選択した調整パターンの調整を自動で行います。
スタンダード	カクニンパターン，ソチョウセイパターン，ビチョウセイパターン	現在のユーザー定義で使用している印刷モードのみ、調整を行います。 • 確認パターン：画質微調整のためのテストパターンを印刷します。 • 粗調整パターン：ズレ量が大きい場合に実行します。調整パターンを印刷し、調整値を入力します。 • 微調整パターン：ズレ量が小さい場合に実行します。調整パターンを印刷し、調整値を入力します。
カスタム	カクニンパターン，ソチョウセイオール，ソチョウセイパターン A,B, D, E, ビチョウセイオール，ビチョウセイパターン A, B, D, E,	すべての作画モードを調整します。RIP 側とユーザー定義の作画モードが異なっても、最適な画質で印刷されます。 • 確認パターン：画質微調整のためのテストパターンを印刷します。 • 粗調整オール：すべての粗調整パターンを印刷し、調整値を入力します。 • 粗調整パターン A,B,D,E：A,B,D,E から選択した粗調整パターンを印刷し、調整値を入力します。 • 微調整オール：すべての微調整パターンを印刷し、調整値を入力します。 • 微調整パターン A,B,D,E：A,B,D,E から選択された微調整パターンを印刷し、調整値を入力します。

設定項目	設定範囲	内容
オクリホセイ ☞「メディア送り補正」P.78		メディアの送り量を補正します。
オート		カラーセンサーが調整パターンを検出して、自動でメディア送り補正を実行します。
ショキチョウセイインサツ	100㎜～250㎜～500㎜	指定した長さの調整パターンを印刷します。
ショキチョウセイチ	初期調整印刷時の設定± 50.0㎜	印刷された調整パターンを実測して値を入力します。
カクニンチョウセイインサツ	100㎜～250㎜～500㎜	補正された確認用の調整パターンを印刷します。
ビチョウセイインサツ	0%、± 0.1%、± 0.2%、± 0.5%、± 0.8%、± 1.2% の 11 パターン印刷	微調整用の調整パターンを印刷します。
ビチョウセイチ	- 5.00% ～ 0.00% ～ 5.00%	微調整用の調整パターンを確認して、最適な微調整パターンの値を入力します。
キュウチャクファン	オフ、Low、Medium、High、Ex High	吸着ファンの動作を設定します。
メディアアツサ	40um ～ 170um ～ 1300um	使用するメディアの厚さを設定します。
ユーザコピー	Type 1 ～ Type 15, オール	選択したユーザー定義の設定（作画モード、エフェクト、調整印刷の調整値、メディア送り補正、吸着ファン、メディア厚さ） を別のユーザー定義にコピーします。オールを選択すると、すべてのユーザー定義にコピーされます。
ショキカ		選択しているユーザー定義の設定値を初期化します。

設定項目	設定範囲	内容
ショウサイセッテイ		
サイドマージン	5㎜～ 80㎜	印刷時の左右のマージン（サイドマージン）を設定します。 **Important !!** **初期設定では、メディアの端から 5 mm の位置から印刷を行います。メディアの斜行等によりエッジホルダーとメディアの重なり部分がインクで汚れる恐れあります。その場合はサイドマージンを 10mm 以上の設定を推奨します。**
メディアケンシュツ	Off, Top&Width, Width	メディア幅の検出動作を設定します。 • Off：メディア検出を行いません。 • Top & Width：自動でメディア幅、およびメディア先端を検出します。 • Width：自動でメディア幅を検出します。 **Note** **「メディア検出メニュー」を [Off] に設定した場合は、「メディア幅メニュー」でセットしたメディアの幅を設定してください。**
メディアハバ	210㎜～ 1000㎜～ 1625㎜	使用するメディア幅を入力します。自動でメディア検出をしている場合は、検出されたメディア幅を表示します。
ハイシモード	オフ、マキトリ、オートカット	印刷終了後のメディアの動作を設定します。 • オフ：巻き取りユニットを使用しません。 • 巻き取り：巻き取りユニットを使用する場合に設定します。 • オートカット：印刷後に自動でメディアをカットします。 ☞「カットホウホウ」P.114

設定項目	設定範囲	内容
ゲンテンセッテイ	PF,CR	印刷データの印刷開始位置（原点）を設定します。 • ▲ / ▼ キー：PF（メディア送り）方向の印刷開始位置（原点）を変更します。 • ◀ / ▶ キー：CR（プリントヘッド移動）方向の印刷開始位置（原点）を変更します。  Origin ラベルの矢印は、現在の CR 方向の印刷開始位置を示しています。 **Note** CR（プリントヘッド移動量）の最大設定値は、メディア幅によって異なります。設定可能最大値は下記の合計値になります。 メディア幅ーサイドマージン（両端）ー最低確保印刷領域（210㎜） ☞「サイドマージン」P.111 「排紙モード」の設定が [マキトリ] の場合、PF 方向の設定範囲は0㎜～15000㎜になります。
スタートフィード	-10 ㎜ ～ 0 ㎜～ 500.0㎜	印刷データ間の余白を設定します。 • 値が 0 より大きい：「0」設定時よりも余白が増えます。 • 値が 0：印刷間の余白を変更しません。 • 値が 0 より小さい：「0」設定時よりも余白が減ります。 **Note** •「排紙モード」メニューを [オフ] に設定している場合は、設定した長さ +10mm が印刷データ間の余白になります。

設定項目	設定範囲	内容
センタンショリ	オート、オフ	印刷の先頭部分の画質を向上するために、用紙送り量を微調整します。 通常は [オート] のままで使用してください。ただし、下記の場合は、[オフ] にすると画質が向上することがあります。 • 印刷の先頭部分にノズルの目詰まりによる画質低下が見られるとき。 • [オート] で印刷した場合に、印刷の先頭部分とそれ以外で画質の差があるとき。
カサネガキカイスウ	1 回～ 9 回	指定した回数分、同じ行を重ね印刷します。透明なメディアなどに高濃度で印刷したいときに回数を増やしてください。 ※6色設定、かつ「重ね描き回数」の設定が「1回」の時のみ、「レイヤー重ね描き回数」の設定が可能。
レイヤーカサネガキカイスウ（カラーレイヤー）	1 回～ 9 回	カラーレイヤー（CMYK）を重ね描き印刷する場合は設定します。
レイヤーカサネガキカイスウ（ホワイトレイヤー）	1 回～ 9 回	ホワイトレイヤーを重ね描き印刷する場合は設定します。
レイヤーカサネガキカイスウ（バーニッシュレイヤー）	1 回～ 9 回	バーニッシュレイヤーを重ね描き印刷する場合は設定します。
パスカンウェイト	0.0 秒～ 5.0 秒	1 パス毎の待機時間を設定します。設定された待機時間を待って次のパスを印刷します。
CR インサツイドウハバ	データハバ、キカイハバ、メディアハバ	印刷中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。 • データハバ：印刷データ幅の範囲を移動します。 • キカイハバ：プリンターの最大移動範囲を移動します。 • メディアハバ：メディア幅の範囲を移動します。

設定項目	設定範囲	内容
カットホウホウ	1 ドギリ – 2 ダンカイ 1 ドギリ – 3 ダンカイ 2 ドギリ – 2 ダンカイ 2 ドギリ – 3 ダンカイ	印刷終了後のメディアカット動作を設定します。 • 1 度切り - 2 段階:「1 度切り - 3 段階」よりも少ない工程でカットします。幅が狭めのメディアに適しています。 • 1 度切り - 3 段階 : 通常のカット方法です。 • 2 度切り - 2 段階 :「1 度切り - 2 段階」ではカットできない場合に設定します。 • 2 度切り - 3 段階 :「1 度切り - 3 段階」ではカットできない場合に設定します。 **Note** •「メディア検出メニュー」を [Off] に設定している場合は、メディアカットは実行されません。 ☞「メディアケンシュツ」P.111 • メディアの種類によってカットできない場合は、「排紙モード」を [オフ] に設定し、手動でカットしてください。 ☞「ハイシモード」P.111
カットアツ	ヨワイ、ツヨイ	メディアをカットする圧力を設定します。 • 弱い : 通常よりも弱い力でカットします。「強い」では力が強すぎる場合や、薄いメディアを使用するときなどに使用します。 • 強い : 通常のカット圧です。
シャコウチェック	オフ, オン	[オン] にすると、メディア搬送中の斜行チェックを行います。

設定項目	設定範囲	内容
フラッシング	オフ, オン	フラッシングを設定します。 • オン：フラッシングボックスでフラッシングします。リターン回数を増やすと、印刷品質を保証することができません。通常は [1] でご使用ください。 • オフ：フラッシングしません。ノズル詰まりが発生しやすくなります。通常は [オフ] にしないでください。 **Note** **フラッシングは、プリントヘッドのノズル詰まりを防ぐためのメンテナンス動作です。インクを消費します。**
リターンカイスウ	1 回 ～ 999 回	フラッシングボックスでフラッシングする間隔を設定します。フラッシングを [オフ] に設定している場合は表示されません。 **Note** **フラッシングの動作例** **リターン回数** / **動作** **1回** / キャリッジが往復するごとに、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。 **5回** / キャリッジが 5 往復に 1 回、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。
オートクリーニング		オートクリーニングの設定をします。 **Note** **インクをかくはんするメッセージが表示されている状態で印刷を行った場合は、「インサツマエ」および「ルイセキインサツ」のクリーニングが実行されません。** **これは、インクパック内で沈降したインクを使用することによる、印刷品質の低下を防止するための措置です。**
インサツマエ		
クリーニングシュルイ	オフ, ビリョウ, ツウジョウ, キョウリョク	印刷前に行うオートクリーニングの種類を設定します。
ルイセキインサツ	オフ, 1 時間 , 2 時間 , 3 時間 , 4 時間	設定した累積印刷時間ごとにオートクリーニングを行います。クリーニング種類は [強力] クリーニングです（変更不可）。

設定項目	設定範囲	内容
ホワイトメンテナンス ※6色設定のみ表示。	ビリョウ, ツウジョウ	ホワイトインクのメンテナンス動作を設定します。 • 普段の印刷にホワイトインクをほとんど使わない場合は、「微量」に設定しておくと、待機中のホワイトインクの消費を抑えることができます。 **Note** **ホワイトインクはプリントヘッドやインクチューブ内で沈殿・凝固しやすい性質があるため、本製品は待機中であっても定期的に少量のホワイトインクを排出します。**
カラーメンテナンス	オフ, ビリョウ, ツウジョウ	プリンターを一定時間使用しなかった場合に、プリンターの性能維持のために一定量のインクを排出します。 • オフ：カラーメンテナンスを行いません。 • 微量：普段の印刷でホワイトインクをほとんど使用しない場合は、この設定にしておくと、待機中のホワイトインクの消費量を抑えることができます。 • 通常：カラーメンテナンスを行います。初期値はこの設定です。
ヘッドセンタク		使用するプリントヘッドを選択します。印刷速度は低下しますが、プリントヘッドに不具合が生じた場合でも、印刷を行うことができます。
シングルヘッド	オフ, ヘッド1, ヘッド2	使用するプリントヘッドを選択します。 **Note** **「シングルヘッド」を変更すると、ノズル選択のノズルエリア設定は「ノズルオール」に変更されます。**
ノズルセンタク ☞ 「ノズル選択」P.119		クリーニングを繰り返してもノズルの目詰まりが改善しない場合、ノズル詰まりのないエリアを使用して印刷することができます。
カクニンパターンインサツ		確認パターンを印刷します。
ノズルエリアセッテイ	ノズルオール、ノズル A ～ F	使用するノズルエリアを設定します。

設定項目	設定範囲	内容
ジドウノズルチェック ☞「自動ノズルチェック（オプション品装着時）」P.121 **Note** 吐出検知ユニット（オプション品）を使用しない場合は表示されません。	オン, オフ	自動ノズルチェックを行うかどうかを設定します。[オン] にすると、以下のタイミングで吐出検知ユニットのセンサーがノズルの状態を確認し、目詰まりがある場合は自動でクリーニングを行います。 • プリンターの電源をオンにしたとき • プリンターがスリープモードから復帰したとき • ジョブ回数設定後の初回印刷前、および設定したジョブ回数ごとの印刷前 3回クリーニングしても目詰まりが解消されない場合は、正常に吐出しているノズルを自動的に選択して印刷します。
ジョブカイスウ	オフ, 1 回～ 30 回	自動ノズルチェックを行う間隔を印刷ジョブの回数で設定できます。設定すると、以下のタイミングで自動ノズルチェックが行われます。 • [ジョブカイスウ] 設定後の初回印刷前 • 設定したジョブ回数ごとの印刷前
ノズルセンタク	オン, オフ	[オン] にすると、自動ノズルチェックの結果、 3回クリーニングをしてもノズルの目詰まりが解消できなかった場合は、正常に吐出しているノズルを自動的に選択して印刷します。
ヘッダーダンプ	オフ, オン, ダンプ, インサツ	印刷データに関するダンプデータ（データヘッダー / データドット数 / 印刷日時 / プリンターシリアル番号 / 受信時間 / 受信サイズ）について印刷するかどうかを設定します。 （受信時間と受信サイズについては、ヘッダーダンプ設定が「ダンプ」設定時のみ印刷） • オフ：ダンプデータを印刷しません。 • オン：印刷データを印刷後、ダンプデータを印刷します。 • ダンプ：ダンプデータのみを印刷します。ただし、「データドット数」は印刷しません。 • 印刷：前回印刷したダンプデータを印刷します。ダンプデータの履歴がない場合は、[データガ　アリマセン] と表示されます。 **Note** • ダンプデータは、テクニカルサポートを受ける場合に参考情報として活用します。 • コンピュータと接続して印刷する場合は、「データヘッダー」に RIP ソフトの印刷設定が印刷されます。

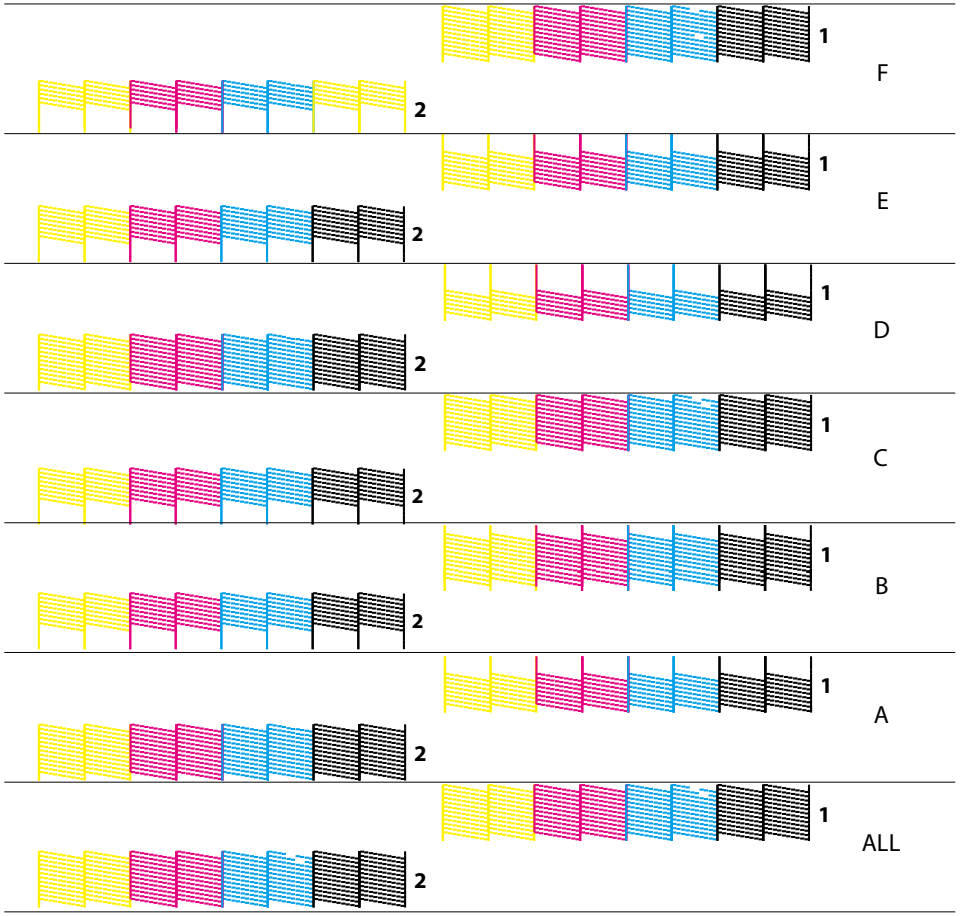
設定項目	設定範囲	内容
ショキセッテイ		プリンターの設定をします。
ゲンゴ	English, Dutch, Spanish, French, Italian, Portugese, German, ニホンゴ	ディスプレイに表示される言語を設定します。
ナガサタンイ	㎜, inch	ディスプレイに表示される長さの単位を設定します。
インクリョウ	オフ, オン	インク残量の表示方法を選択します。 • オフ：インク残量のインジケーターを表示しません。インクなし、インク少ない、インクカートリッジなしなどのエラー（警告）が発生しているスロット番号を表示します。 • オン：インク残量のインジケーターを表示します。 ☞「プリンターコントロールパネルのインジケーター表示」P.31
IP アドレス	0.0.0.0 ～ 192.168.1.253 ～ 255.255.255.255	
サブネットマスク	0.0.0.0 ～ 255.255.255.0 ～ 255.255.255.255	
ゲートウェイ	0.0.0.0 ～ 192.168.1.254 ～ 255.255.255.255	
ケイコクブザー	オフ, オン	エラー発生時の警告ブザーの動作を設定します。 • オフ：ブザーが一定回数鳴ったあとに停止します。夜間など操作する人が不在のときに、警告ブザーが鳴り続けることを防止できます。 • オン：警告ブザーが鳴り続けます。
ショキカ		各設定値を、工場出荷時の初期値に戻します。
ユーザテイギオール		すべてのユーザー定義を初期化します。
ショウサイセッテイ		[ショウサイセッテイ] の全項目の設定を初期化します
ショキセッテイ		[ショキセッテイ] の全項目の設定を初期化します。
オール		すべての設定を初期化します。

ノズル選択

クリーニングを繰り返してもノズル詰まりが改善しない場合、ノズル詰まりのないエリアを使用して印刷することができます。

1 「確認パターン」を印刷し、ノズルの目詰まりがないパターンを確認します。

1. [カクニンパターンインサツ] を選択します。
2. [Enter] キーをタップして、確認パターンを印刷します。
3. 印刷結果を確認し、ノズルの目詰まりがないパターンを探します。
   - 下のイラストの場合、A、B、D、E のパターンはノズルの目詰まりがありません。（イラストは 4 色設定のパターン）



2 ノズル詰まりのないパターンを選択します。

1. [ノズルエリアセッテイ] を選択します。
2. ▶ キーをタップします。
3. ▲ / ▼ キーをタップしてノズルの目詰まりがないパターンを選択します。
4. ↵ [Enter] キーをタップします。

Note

ノズルの目詰まりがないパターンが複数ある場合は、使用するノズルが多いパターンを選択します。
ノズルが多い順番は、ALL > A = B = C > D = E = F になります。例えば A と D が使用可能な場合は、A を選択してください。

自動ノズルチェック（オプション品装着時）

本機能はオプションの「吐出検知ユニット」装着時に使用できます。

吐出検知ユニットの詳細については「吐出検知ユニット　取扱説明書」を参照してください。

Important !!

- 「本製品の仕様」P.253 以外でのご使用や、お使いのインクによっては次の現象が発生する可能性があります。
  - 自動ノズルチェックの動作ごとに、毎回クリーニングが実行される（インク使用量の増加）
  - 自動ノズルチェックの動作時間が長くなる
  - 自動ノズルチェックを使用しても、ノズル抜けしたまま印刷される *
    * ノズル詰まりしたまま印刷が続く場合は、手動でノズルチェックとクリーニングを行ってください。
    ☞「ノズルチェックとクリーニング」P.61
- 本機能は 100% ノズルの目詰まり防止を保証するものではありません。

Note

クリーニングで解消できないノズルの目詰まりがある状態で自動ノズルチェックを [オン] に設定した場合、自動ノズルチェックの動作ごとに毎回クリーニングが実行され、インク使用量が増加します。

上記の状態を避けるために、「ノズル選択」P.119 であらかじめノズル抜けがないノズルパターンを選択してから、自動ノズルチェックを [オン] に設定してください。

自動ノズルチェックの流れ

Note

検出時間は 3~5 分程度を想定していますが、ノズルの目詰まり数に応じてさらに時間がかかる場合があります。

1. 自動ノズルチェックでノズルの目詰まりを検知した場合

- クリーニングが実行されてノズルの目詰まりを解消します。
  - 「ヘッドセンタク」P.116 で設定を変更した場合、設定外のヘッドはクリーニングの対象外となります。
- クリーニングは最大 3 回まで実行されます。

2. クリーニングでノズルの目詰まりを解消できない場合

3回目のクリーニングでノズルの目詰まりを解消できない場合は、ノズル詰まりのない「ヘッド」と「ノズルパターン」の組み合わせが自動的に選択されます。ノズル詰まりを回避し、正常なノズルのみで印刷できます。

- プリンターが待機中、自動的に選択されたヘッド（数字）とノズルパターン（アルファベット）、またはヘッド（数字）とノズルパターン（アルファベット）の組み合わせが、プリンターコントロールパネルに表示されます。
- 「ヘッドセンタク」P.116、「ノズルセンタク」P.116 で設定を変更した場合、メディア幅表示に戻ります。

ヘッド 1、ノズルパターン A 選択時

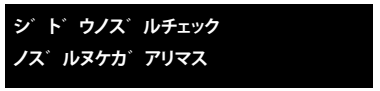
ヘッド 2 選択時

ノズルパターン B 選択時

3. 自動ヘッド選択、または自動ノズル選択でノズルの目詰まりを回避できない場合

クリーニング後に自動ノズル選択でノズル詰まりを回避できない場合、[ジドウノスズルチェック　ノズルヌケガアリマス] と表示されます。
プリンターに送信済みの印刷ジョブがある場合、ノズルの目詰まりを検知した印刷ジョブは削除、それ以降の印刷ジョブは保留となります。

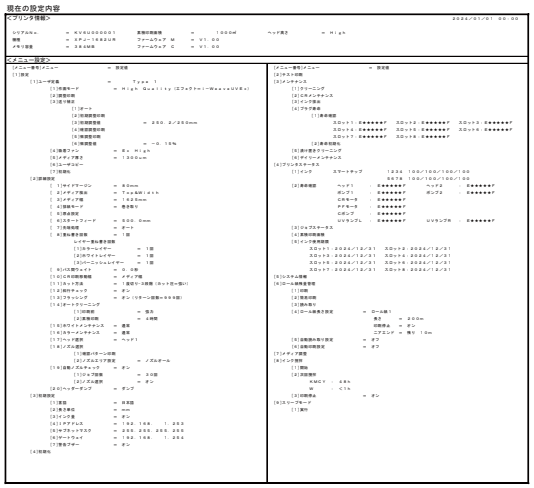
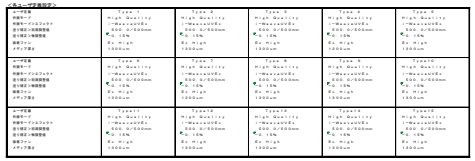
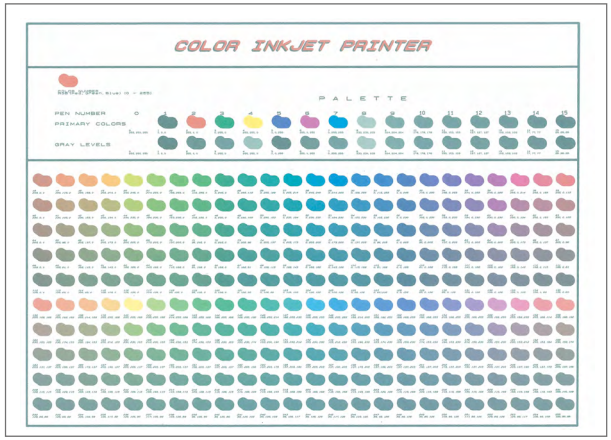
- 印刷ジョブの送信元で、保留された印刷ジョブを削除してから、手動でノズルチェックとクリーニングを行ってください。
  ☞「ノズルチェックをする」P.61、「ヘッドクリーニングをする」P.65
  ノズルの目詰まりが解消してから、印刷を再度やり直すことを推奨します。



Enter] キーをタップすると、メッセージが消え、ノズルが目詰まりしたままの状態で、保留された印刷ジョブの印刷を継続します。

テスト印刷メニュー

設定項目	内容
ノズルチェック	「ヘッド選択」と「ノズル選択」の設定を反映したノズルチェックパターンを印刷します。 ☞「ノズルチェックの手順」P.62
ノズルチェック F	すべてのノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。 ☞「ノズルチェック F の手順」P.63
ノズルチェック B ※ 6 色設定のみ表示	白インクとカラーインクのノズルチェックパターンに背景色をつけて印刷します。白・カラーのノズル状態がより確認しやすくなります。 ☞「ノズルチェック B の手順」P.64
モードプリント	選択中のユーザー定義に設定されている以下の設定を印刷します。 [サクガモード]、[エフェクト]、[オクリホセイの微調整値] 2023/01/01 0:00 Quality - i-Weave UVEx/ 微調整値 :0.00%

設定項目	内容
セッテイナイヨウ	現在のプリンターの設定内容および各ユーザー定義の設定内容を印刷します。  
パレット	プリンターのカラーパレットパターンを印刷します。  **Note** 「パレット」メニューは、以下の条件でのみ表示されます。 • 作画モードが「High Quality」または「Production」に設定されている場合

設定項目		内容
ヘッドチョウセイ ☞「ヘッド調整」P.68		本製品はプリントヘッドを 2 つ搭載しています。プリントヘッド間のインク着弾位置を調整します。
オート	オール , スタンダード , チョウセイパターン A,B,D,E	カラーセンサーが調整パターンを検出して、自動でヘッド調整を実行します。 オートの調整パターンは以下の種類があります。 • オール：すべてのパターンを調整します。 • スタンダード：「ヘッド調整：スタンダード」と同じ調整を実施します。 • 調整パターン A,B,D,E：A,B,D,E からパターンを選択し調整します。
スタンダード		選択されている作画モードで、インク着弾位置を調整します。
カスタム	チョウセイオール , チョウセイパターン A,B,D,E	調整パターンを印刷して、ズレの少ない調整値を入力します。カスタムの調整パターンは以下の種類があります。 • 調整オール：すべてのパターンを印刷しヘッド調整を実施します。 • 調整パターン A,B,D,E：A,B,D,E からパターンを選択しヘッド調整します。

メンテナンスメニュー

設定項目	設定範囲	内容
クリーニング ☞ 「ヘッドクリーニングをする」P.65		プリントヘッドをクリーニングします。クリーニングするヘッドやクリーニングの種類を選択することができます。
ヘッドセンタク	オール , ヘッド 1, ヘッド 2	ノズルの目詰まりが特定のプリントヘッドで発生している場合、対象のプリントヘッドを選択すれば、インクの消費を抑えることができます。
クリーニングシュルイ	ビリョウ , ツウジョウ , キョウリョク , ビリョウジュウテン , ショキジュウテン	クリーニング種類を選択します。 **Note** 「ヘッド 1」または「ヘッド 2」を選択した場合、クリーニング種類の「強力」「微量充てん」「初期充てん」は表示されません。
CR メンテナンス ☞ 「消耗品の交換」P.195		以下の消耗品を交換するときやカラーセンサーの清掃時に使用します。 ☞ 「カラーセンサーの清掃」P.191 ☞ 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.197 ☞ 「クリーニングワイパーの交換」P.201 ☞ 「カッターの交換」P.204 ☞ 「UV-LED ランプのフィルターの交換」P.207 ☞ 「UV-LED ランプのガラスの交換」P.209
インクハイシュツ		プリンターを長期間使用しない場合に、プリンター内のインクを排出します。 ☞ 「長期間使用しない場合 (長期保存)」P.216

設定項目	設定範囲	内容
プラグジュミョウ ☞「大容量パックアダプターのプラグ交換」P.166		大容量パックアダプターのプラグの点検・交換時に使用します。
ジュミョウカクニン		大容量パックアダプターに付いているアダプタープラグの寿命が確認できます。 • 寿命は、＊印の数（最大 5 個：残り 100%）で表示されます。寿命が近づくにつれて、＊印の数が 1 個（20%）ずつ減っていきます。 • ＊印がすべて消えて、[コウカン] と表示された場合は、速やかにアダプタープラグを交換してください。
ジュミョウショキカ		アダプタープラグを交換した後に、アダプタープラグの寿命カウンターを初期化します。対象のインクスロットを選択して初期化してください。
ツケオキクリーニング ☞「漬け置きクリーニング」P.186		メンテナンス液を満たしたキャップにプリントヘッドを浸して、ノズル面に付着した汚れを落とします。ヘッドクリーニングを実施してもノズルの目詰まりが直らないときは、漬け置きクリーニングを実施してください。
デイリーメンテナンス		「デイリーメンテナンス」および「各部の清掃」を実施するときに使用します。 ☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.171 ☞「各部の清掃」P.189

プリンターステータスメニュー

設定項目	設定範囲	内容
インク		各インクスロットのインク残量をパーセントで表示します。 **Note** **インク残量が 10%で点滅表示している場合、対応しているインクに対してスマートチップリカバリーが実行されています。** ☞ 「スマートチップリカバリー」P.237
ジュミョウカクニン	ヘッド 1, ヘッド 2, CR モータ , PF モータ , ポンプ 1, ポンプ 2, C ポンプ, UV ランプ L, UV ランプ R	交換が必要な部品の残り寿命を表示します。 • 寿命は、＊印の数（最大 5 個：残り 100%）で表示します。寿命が近づくにつれて、＊印の数が 1 個（20%）ずつ減っていきます。 • ＊印がすべて消えて、[コウカン] と表示された場合は、速やかに部品交換を依頼してください。 ☞ 「お問い合わせ先」P.260 [コウカン] になると、メニューに入っていないときに [ジュミョウカクニン［ポンプ］] などと表示します。 この表示は [II] [Cancel] キーで削除できます。
ジョブ ステータス ☞ 「ジョブステータス」P.102		
ステータス		印刷が完了した場合は [カンリョウ]、中止した場合は [キャンセル] が表示されます。
データナガサ		印刷データの長さを表示します。
インサツ　ズミ		印刷済み部分の長さを表示します。
インサツ　ノコリ		まだ印刷されていないデータの長さを表示します。

設定項目	設定範囲	内容
ルイセキインサツメンセキ		累積の印刷面積を表示します。
インクシヨウキゲン		インクの使用期限を表示します。 • スマートチップリカバリーが実行されているスロットには、「ーーーー／ーー／ーー」が表示されます。 ☞ 「スマートチップリカバリー」P.237

システム情報メニュー

プリンターの情報を表示します。

設定項目	内容
バージョン	ファームウェア（M：メイン、C: コントローラー）のバージョンを表示します。
モデル	プリンターのモデル名称を表示します。
シリアル No.	プリンターのシリアル番号を表示します。
インクシュルイ	使用しているインク種類を表示します。

ロール紙残量管理メニュー

セットしているロール紙の残量管理情報を管理します。ロール紙の残量管理情報を印刷したり、印刷された残量管理コードを読み取ってロール紙の残量を管理したりすることができます。

Note

- ロール紙残量管理の印刷、または簡易印刷を行う場合は、印刷可能領域の幅が 400mm 以上になるように設定してから実行してください。印刷可能領域の幅が 400mm 未満でロール紙残量管理印刷、または簡易印刷を行った場合、印刷が行われません。
  印刷可能領域の幅はセットしているメディアのメディア幅を基準に、原点設定の CR 方向の変更量と、サイドマージンの変更量（左右合計）によって増減します。
  ☞「メディアハバ」P.111 、「ゲンテンセッテイ」P.112 、「サイドマージン」P.111
  - 「メディア検出メニュー」を [Off] に設定した場合は、ロール紙残量管理メニューは表示されません。
    ☞「メディアケンシュツ」P.111
- メディアをセットしていない場合は、ロール紙残量管理メニューは表示されません。

サブメニュー	設定値	内容
インサツ		メディアをカットしたあとに、メディア残量管理情報を印刷（ロール紙種類、残量、印刷日、残量管理コード）します。ロール紙長さ設定メニュー（「ロールシナガサセッテイ」P.132）が [オフ] に設定されている場合は、印刷できません。
カンイ　インサツ		メディアをカットしたあとに、メディア残量管理情報（ロール紙種類、残量、印刷日）を簡易印刷します。ロール紙長さ設定メニュー（「ロールシナガサセッテイ」P.132）が [オフ] に設定されている場合は、印刷できません。

サブメニュー	設定値	内容
ヨミトリ ☞「読み取り」P.133		印刷した残量管理コードを読み取ります。読み取りに失敗すると、ロール紙長さ設定メニュー（「ロールシナガササセッテイ」P.132 ）が表示されます。手動で入力してください。
ロールシナガササセッテイ	オフ、ロールシ 1,2,3	セットしたメディアの長さを 3 つ設定できます。[オフ] 以外を選択して [Enter] キーをタップすると、ロール紙の長さ設定に移行します。
ナガサ	1 m～ 30 m ～ 200m	1m単位でロール紙の長さを設定できます。[Enter] キーをタップすると印刷停止メニューに移行します。
インサツテイシ	オフ、オン	ロール紙残量のカウント値がゼロになったときに、印刷を停止するかどうかを設定します。 • オフ：リアセンサーが検出したときに印刷が停止します。 • オン：メディアの残量カウントがゼロになると「ロール紙残量エラー」となって、印刷を停止します。紙管からメディアが離れにくい場合は、「オン」に設定してください。「オン」を選択し [Enter] キーをタップをすると、ニアエンド設定メニューに移行します。
ニアエンド	オフ、1-10 m	ロール紙残量のカウント値がゼロになる前に、パネルにロール紙の残量を表示させるかどうかを設定します。 • オフ：表示しません。 • ノコリ **m(** は 1-10 で設定可）：カウント値が設定値以下になった場合、パネルに「ロール紙ニアエンド」を表示します。
ジドウヨミトリセッテイ	オフ、オン	残量管理コードを自動で読み取るかどうかを設定します。 • オフ：残量管理コードの自動読み取りを行いません。 • オン：以下のタイミングで残量管理コードの自動読み取りを行います。 • プリンターの電源をオンにしたとき • ロール紙を交換したとき 読み取り中に [Cancel] キーをタップすると、読み取りを中止します。 **Note** • 残量コードに汚れが付着していたり、折れ曲がりがある場合、読み取りを失敗する可能性があります。残量管理コードを読み取ることができなかった場合、残量管理コード以外に印刷されている残量管理情報を元に値を入力して、ロール紙長さを設定してください。 ☞「ロールシナガササセッテイ」P.132 • 自動読み取り設定メニューを [オン] に設定していても、読み取りが出来ない場合は、以下の設定が [オフ]、または [オートカット] になっていることを確認してください。 ☞「メディアケンシュツ」P.111 、「ハイシモード」P.111

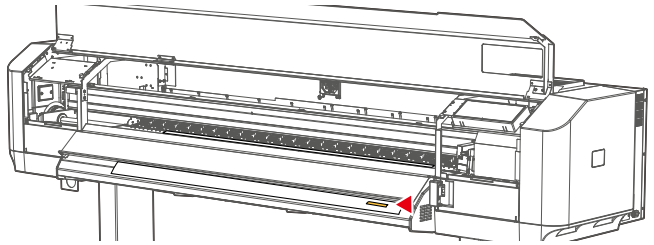
サブメニュー	設定値	内容
ジドウインサツセッテイ	オフ、オン	メディアをカットしたあとにロール紙残量管理情報を印刷する確認するメッセージを表示するかどうかを設定します。 • オフ：メッセージは表示されません。 • オン：メディアカット後、パネルに [ザンリョウヲインサツシマスカ？] と表示されます。「ハイ」または「イイエ」を選択し、[Enter] キーをタップします。 **Note** • ロール紙長さ設定メニューが [オフ] に設定されている場合、自動印刷設定メニューは有効にできません。 ☞「ロールシナガサセッテイ」P.132

読み取り

印刷した残量管理コードを読み取ります。

1 残量管理コードが印刷されているメディアをセットします。
☞「メディアのセット方法」P.49
☞「インサツ」P.131

2 残量管理コードが加圧アームを通過していることを確認します。



3 **ロール紙残量管理：読み取りメニューにアクセスします。**

- [Home] キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- / キーで [メニュー 6　ロールシザンリョウカンリ] を選択します。
- キーをタップすると、[ロールシザンリョウカンリ　インサツ] が表示されます。
- / キーで [メニュー 3　ヨミトリ] を選択します。

4 **[Enter] キーをタップすると、読み取りを開始します。**

- 読み取り中に [Cancel] キーをタップすると、読み取りを中止します。

5 **読み取りが成功した場合、「ロール紙長さ設定」に以下の情報が設定されます。**

ロール紙種類、残量

☞「ロールシナガササセッテイ」P.132

Note

- **残量コードに汚れが付着していたり、折れ曲がりがある場合、読み取りを失敗する可能性があります。残量管理コードを読み取ることができなかった場合、残量管理コード以外に印刷されている残量管理情報を元に値を入力して、ロール紙長さを設定してください。**

☞「ロールシナガササセッテイ」P.132

- **排紙モードメニューが [マキトリ] に設定されている場合は、読み取りできません。**

☞「ハイシモード」P.111

メディア調整メニュー

画質調整とメディア送り補正を自動で調整します。

Note

- 調整パターンを印刷します。印刷可能領域の幅が 550mm 以上です。550mm 未満の場合、調整できません。
- 印刷可能領域の幅はセットしているメディアの幅を基準に、原点設定の CR 方向の変更量と、サイドマージンの変更量（左右合計）によって増減します。
  ☞「メディアハバ」P.111 、「ゲンテンセッテイ」P.112 、「サイドマージン」P.111
- 調整を行っても画質が向上しないとき（バンディングや粒状感が見られる時）は、メディア調整をやり直すか、調整印刷のカスタムで調整を行ってください。
  ☞「画質調整（調整印刷）」P.72

1 メディア調整メニューにアクセスします。

- [Home] キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- ▲ / ▼ キーで [メニュー 7　メディアチョウセイ] を選択します。

2 ▶ キーをタップします。

- [ユーザテイギ　Type ＊] が表示されます。

Note

＊は、現在選択中のユーザー定義の番号です。

3 ▲ / ▼ キーをタップして、任意のタイプを選択します。

- [Enter] キーをタップします。選択中のユーザー定義が置き換えられます。
- メディア厚さの設定に移行します。

4 メディア厚さの値を入力します。

- ▲ / ▼ キー：値を入力
- ↵ [Enter] キー：確定

Note

ここで変更した内容は、ユーザー定義に保存されます。

5 調整パターンが印刷されます。
カラーセンサーが印刷結果を読み取り、自動調整を開始します。

- 調整が終了すると、[セイジョウニ　シュウリョウ　シマシタ　カクニン　->　Enter] と表示されます。
- 調整が失敗した場合、[チョウセイニ　シッパイ　シマシタ　　カクニン　->　Enter] と表示されます。手動でやり直してください。

☞「画質調整（調整印刷）」P.72 、「メディア送り補正」P.78

6 ↵ [Enter] キーをタップして調整を終了します。

インクかくはんメニュー

インクかくはん の開始（即時実行）と、次回のかくはんが必要となるまでの時間を確認します。
また、「＊　インク　カクハン　スル」（以降、インクをかくはんするメッセージ）表示後の印刷動作を設定することができます。

※「＊」には、6 色設定時は、「KMCYW」／「KMCY」／「W」のいずれか、4 色設定時は「ALL」が表示されます。

サブメニュー	内容
カイシ	インクを選択して、かくはんを行います。 ☞「インクをかくはんする」P.145
ジカイ　カクハン	次回のかくはんが必要となるまでの時間を表示します。 ☞「インクをかくはんする」P.145
インサツ　テイシ	インクをかくはんするメッセージが表示されている状態での新規印刷動作を、停止するか否か設定します。

印刷停止設定

インクをかくはんするメッセージが表示されている状態での新規印刷動作を、停止するか否か設定します。
※インクをかくはんするメッセージは、前回かくはんを行ってからホワイト（Wh）は 12 時間経過後、カラー（K,M,C,Y）は 72 時間経過後に表示されます。

印刷停止オン (初期値)

- インクをかくはんするメッセージが表示されてからの経過時間が 12 時間未満の場合は、印刷開始前にインクをかくはんして頂くための待機動作が発生します。一定時間経過すると、印刷を開始します。
- 経過時間が 12 時間を超えると、かくはんを行うまで印刷ができなくなります。これは、インクパック内で沈降したインクを使用することによる、印刷品質の低下を防止するための措置です。
- インクをかくはんするメッセージが表示されたら、インクをかくはんしてください。

印刷停止オフ

Important !!

印刷停止をオフに設定し、インクをかくはんせずに使用を続けると、印刷物に以下の現象が発生します。
- インクカートリッジ (インクパック) 内のインクが沈降し、色の濃いインクから吐出されることで、色ムラの発生やデータと異なる色味になります。
- 上記の状態でそのまま使用を続けると、インクカートリッジ (インクパック) 内に色の薄いインクが残るため、徐々に色が薄くなります。

上記現象が発生した場合、インクをかくはんするだけでは正しい色合いに復旧できません。
解消するにはインク排出後、新品インクでの初期充てんが必要となります。
☞「2. インクを排出する」P.216
☞「インク排出後の初期充てんの方法」P.222
印刷停止設定の変更は上記現象が発生しうることをご承知の上、実施してください。印刷停止オフでの印刷品質は保証できません。

- インクをかくはんするメッセージが表示された後も、時間経過に関係なく印刷を続けることができます。
- また、以下に挙げる動作も発生しません。
  - 印刷開始前にインクをかくはんして頂くための待機動作
  - インクを長期間かくはんしていないことに伴う印刷の抑止動作
- 印刷データを複数送信して長時間連続印刷を行う等の場合に使用できます。(夜間の無人状態での印刷等)

例）ホワイト（Wh）の前回インクかくはんから 10 時間経過後、印刷完了に 1 時間かかるデータを 20 枚分プリンタへ送信した場合
印刷停止オンの場合：2 枚印刷完了後、3 枚目～ 13 枚目までは一定時間経過しないと印刷が開始されない状態が続き、
14 枚目以降は印刷できなくなります。
印刷停止オフの場合：20 枚印刷が可能です。

Note

印刷品質やインクの品質を維持するため、長時間の連続印刷を行いたい場合においても、印刷停止設定は[オン] に設定いただき、メニュー又はダイレクトキーより、かくはんを実施してから印刷を開始することを推奨します。
☞「任意のタイミングでかくはんを行いたいとき」P.148

1 [Home] キーをタップすると、[メニュー1　セッテイ] が表示されます。

/ キーで、[メニュー8：　インクカクハン] を選択します。

```
メニュー 8
インクカクハン
```

2 キーをタップします。

[インクカクハン 1：　カイシ] が表示されます。

```
インクカクハン 1
カイシ
```

3 / キーで、[インクカクハン3：　インサツ　テイシ] を選択します。

```
インクカクハン 3
インサツ　テイシ
```

4 / キーでインクをかくはんするメッセージが表示されている状態での新規印刷を、停止するか否か設定します。

- 「オン」：インクをかくはんするメッセージが表示されてから 12 時間以上経過すると、新規印刷ができなくなります。インクをかくはんすることで、印刷が可能となります。

☞「インクをかくはんする」P.145

- 「オフ」：インクをかくはんするメッセージが表示されている状態でも、新規の印刷が行えます。

```
インサツ　テイシ:
                オン
```

```
インサツ　テイシ:
                オフ
```

5 [Enter] キーをタップします。

- 「オン」選択時は、インクカクハンメニューに戻ります。
- 「オフ」選択時は、手順６に進みます。

Important !!

「オフ」選択時、この時点ではまだ設定値は確定していません。

6 「オフ」を選択した場合、警告画面を表示します。

7 ▲/▼キーで [イイエ] ／ [ハイ] を選択します。

- [Enter] キーで設定を確定します。
  - 「イイエ」で確定した場合、設定は「オン」となります。
  - 「ハイ」で確定した場合、 設定は「オフ」となります。

インクをかくはんするメッセージが表示されている状態で印刷を継続した場合、印刷物に色ムラが発生したり、データと異なる色味になることがあります。

☞「 Important!!」P.138 を参照してください。

スリープモードメニュー

本製品をスリープモードに移行します。

設定項目	設定範囲	内容
ジッコウ		本製品をスリープモードに移行します。表示される指示にしたがって、必ずデイリーメンテナンスを行ってください。 ☞「スリープモード」P.103 ☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.171

メンテナンス

メンテナンスについて 143
保護具をつける 144
インクをかくはんする 145
インクの確認と交換 158
廃液タンクを空にする 167
1日の作業終了後のメンテナンス 171
ご使用に合わせたメンテナンス 185
消耗品の交換 195
長期間使用しない場合 (長期保存) 216
輸送・移動 218

メンテナンスについて

本製品の性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。
メンテナンスには次のようなものがあります。

毎日の作業の開始前	☞「ノズルチェックとクリーニング」P.61
毎日の作業の終了後	☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.171
ご使用に合わせて	☞「インクをかくはんする」P.145
	☞「インクの交換」P.160
	☞「廃液タンクを空にする」P.167
	☞「ヘッドクリーニング」P.185
	☞「漬け置きクリーニング」P.186
	☞「カラーセンサーの清掃」P.191
	☞「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.197
	☞「クリーニングワイパーの交換」P.201
	☞「カッターの交換」P.204
	☞「UV-LED ランプのフィルターの交換」P.207
	☞「UV-LED ランプのガラスの交換」P.209
	☞「排気ファンフィルターの交換、清掃」P.212
1か月に1度	☞「内部の清掃」P.193
1週間以上使用しないとき	☞「ヘッドクリーニング」P.185（1週間に1度）
長期間使用しないとき	☞「長期間使用しない場合 (長期保存)」P.216

Important !!

次の場合には、サービスマンによる対応が必要となるため、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

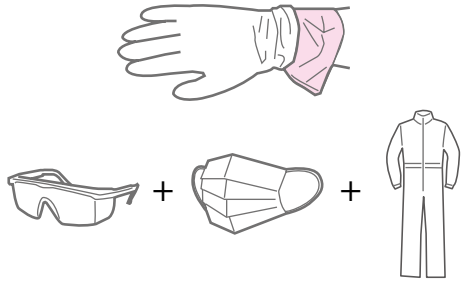
- 重障害エラーが繰り返し発生した。
- 各種モーター、ポンプ、プリントヘッドの寿命を知らせるメッセージが表示された。

☞「メッセージとエラーメッセージ」P.228
☞「お問い合わせ先」P.260

保護具をつける

特に下記の作業を行う場合は、付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグル等の保護具を着用してください。

- 「インクの確認と交換」P.158
- 「廃液タンクを空にする」P.167
- 「1日の作業終了後のメンテナンス」P.171
- 「漬け置きクリーニング」P.186
- 「カラーセンサーの清掃」P.191
- 「内部の清掃」P.193
- 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.197
- 「クリーニングワイパーの交換」P.201
- 「UV-LED ランプのフィルターの交換」P.207
- 「UV-LED ランプのガラスの交換」P.209
- 「排気ファンフィルターの交換、清掃」P.212



付属の手袋の装着方法

ポリエチレン手袋（ピンク色）の上に、ゴム手袋を重ねて着用してください。

注意

硬化前のインクに素手で触れないようにしてください。

- 手袋にインクが付着した場合は、新しい手袋に取り換えてください。
- 衣類等に付着した場合はすぐに脱ぎ、再使用する場合は、洗濯をしてください。
- 皮膚に付着した場合は直ちに石鹸と多量の水で 15 分間洗浄し、万一刺激が続いたり炎症がある場合は、医師の診断 / 手当を受けてください。
- 眼に入った場合は、多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の診断／手当を受けてください。
- 飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かせないようにし、医師の診断／手当を受けてください。

インクをかくはんする

インクの沈降を防ぐため、インクを次の場合にかくはんしてください。

- インクカートリッジまたはインクパックを開封したとき
- 次のメッセージが表示されたとき

- 6 色設定時

Wインク　カクハン　スル	ホワイト（Wh）のインクをかくはんしてください。 • 12 時間ごとに表示します
KMCYインク　カクハン　スル	ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）のインクをかくはんしてください。 • 72 時間ごとに表示します。
KMCYWインク　カクハン　スル	ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）、ホワイト（Wh）のインクをかくはんしてください。 • 72 時間ごとに表示します。

- 4 色設定時

ALLインク　カクハン　スル	ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）のインクをかくはんしてください • 72 時間ごとに表示します。

Note

印刷停止設定を［オフ］に設定した場合は、次のように表示が変わります。
通常よりもインクかくはんに、ご留意いただくためです。
☞「印刷停止設定」P.137

Important !!

- インクは定期的にかくはんする必要があります。放置するとインクが沈降し、画質不良や故障の原因となります。
- ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) をかくはんするメッセージは、ホワイト (Wh) をかくはんする周期に合わせて表示される場合があります。
- インクをかくはんするメッセージが表示された後、12 時間までは印刷開始前にインクをかくはんして頂くための待機動作が発生します。かくはんを行うか、一定時間経過すると、印刷を開始します。
- 12 時間経過後は、かくはんを行うまで印刷ができなくなります。

※印刷停止設定で［オフ］に設定した場合は、以下の動作となります。

- インクをかくはんするメッセージが表示された後、一定時間の経過を待たずに印刷を開始します。
- インクをかくはんするメッセージが表示された後、１２時間経過後も印刷を行います。

ただし、この状態での印刷品質は保証できません。

☞「印刷停止設定」P.137

インクをかくはんする表示された状態で印刷を実行した場合は、次のように表示が変わります。

印刷終了後にインクをかくはんしてください。

Important !!

- 印刷中は、カートリッジを抜かないでください。印刷が一時停止し、印刷品質の低下に繋がります。

注意

UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

任意のタイミングでかくはんを行いたいとき

かくはんメッセージが表示される前に、任意のタイミングでかくはんを行うことができます。

- 夜間など、連続印刷を行いたい場合などでは予め、かくはんを行うことで安定した品質で、スムーズに印刷を行うことができます。

以下 2 つの方法があります。

- ☞「メニューからかくはんを行う場合」P.148
- ☞「ダイレクトキーからかくはんを行う場合」P.150

Note

☞「次回、かくはんが必要となるまでの時間は、インクかくはんメニューからも確認できます」P.152

メニューからかくはんを行う場合

1 [Home] キーをタップすると、[メニュー1　セッテイ] が表示されます。

/ キーをタップし、[メニュー8：　インクカクハン] を選択します。

```
メニュー8
インクカクハン
```

2 キーをタップします。

[インクカクハン 1：　カイシ] が表示されます。

```
インクカクハン1
カイシ
```

3 キーをタップすると、[タイショウ　インク：　KMC YW] が表示されます。

```
タイショウ　インク：
                KMCYW
```

Note

4色設定で運用している場合は、かくはん対象を「ALL」と表示します。

4 ▲／▼キーでかくはんを行いたいインクを選択します。

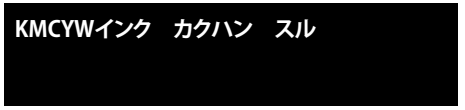
- 「KMCYW」:ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y)、ホワイト (Wh) のかくはんを行いたい場合に選択します。
- 「KMCY」　:ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のかくはんを行いたい場合に選択します。
- 「W」　　:ホワイト (Wh) のかくはんを行いたい場合に選択します。

Note

すでに「＊　インク　カクハン　スル」が表示されている場合、本画面に表示される選択肢は、以下のように変わります。
例)「KMCY　インク　カクハンスル」が表示されている場合:「KMCYW」と [KMCY] を表示します。
「W　インク　カクハンスル」　が表示されている場合 :「KMCYW」と「W」を表示します。
「KMCYW　インク　カクハンスル」　が表示されている場合 :「KMCYW」のみ表示します。
かくはんメッセージが示すインクを、かくはんしていただくためです。

5 [Enter] キーで確定すると、選択したインクをかくはんする、メッセージが表示されます。

- 表示されているインクをかくはんしてください。
- 表示されているインクすべてをかくはんすると、メッセージが消えます。



Note

「印刷停止設定」を［オフ］に設定している場合は、次のように表示が変わります。

ダイレクトキーからかくはんを行う場合

1 パネルに右図の画面が表示されているときに [Enter] キーをタップします。

または

2 次回、かくはんが必要となるまでの時間が表示されます。

- ▲／▼キーで、ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）と　ホワイト（Wh）の時間を確認できます。

Note

- 4色設定で運用している場合は、「ALL」と表示し、▲／▼キーでの画面切り替えはありません。

1時間単位で表示します。

表示例）

次回のかくはんまで、 2時間以上3時間未満の場合：　「2h」と表示します。
次回のかくはんまで、 1時間以上2時間未満の場合：　「1h」と表示します。
次回のかくはんまで、　　1時間未満の場合：　「<1h」と表示します。
すでにかくはんメッセージが表示されている場合：　「カクハン　スル」を表示します。

3 ▶キーをタップすると、[タイショウ　インク：　KMC YW] が表示されます。

```
タイショウ　インク：
                KMCYW
```

Note

4色設定で運用している場合は、かくはん対象を「ALL」と表示します。

4 ▲／▼キーでかくはんを行いたいインクを選択します。

- 「KMCYW」:ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y)、ホワイト (Wh) のかくはんを行いたい場合に選択します。
- 「KMCY」　:ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のかくはんを行いたい場合に選択します。
- 「W」　　:ホワイト (Wh) のかくはんを行いたい場合に選択します。

Note

すでに「＊　インク　カクハン　スル」が表示されている場合、本画面に表示される選択肢は、以下のように変わります。
例)「KMCY　インク　カクハンスル」が表示されている場合:「KMCYW」と [KMCY] を表示します。
「W　インク　カクハンスル」　が表示されている場合 :「KMCYW」と「W」を表示します。
かくはんメッセージが示すインクを、かくはんしていただくためです。

5 ↵ [Enter] キーで確定すると、選択したインクをかくはんする、メッセージが表示されます。

```
KMCYWインク　カクハン　スル
```

- 表示されているインクをかくはんしてください。
- 表示されているインクすべてをかくはんすると、メッセージが消えます。

Note

「印刷停止設定」を［オフ］に設定している場合は、次のように表示が変わります。

```
■■■■■■ CAUTION ■■■■■
KMCYW　インク　カクハン　スル
```

次回、かくはんが必要となるまでの時間は、インクかくはんメニューからも確認できます

1 [Home] キーをタップすると、[メニュー1　セッテイ] が表示されます。

/ キーをタップし、[メニュー8：　インクカクハン] を選択します。

```
メニュー 8
インクカクハン
```

2 キーをタップします。

[インクカクハン 1：　カイシ] が表示されます。

```
インクカクハン 1
カイシ
```

3 キーをタップし、[インクカクハン2：　ジカイ　カクハン] を選択します。

```
インクカクハン 2
ジカイ　カクハン
```

4 次回、かくはんが必要となるまでの時間が表示されます。
［KMCY］：ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）
［W］　：ホワイト（Wh）
の次回かくはんまでの時間を表示します。

1時間単位で表示します。
表示例）
次回のかくはんまで、2時間以上3時間未満の場合：「2h」と表示します。
次回のかくはんまで、1時間以上2時間未満の場合：「1h」と表示します。
次回のかくはんまで、1時間未満の場合：「<1h」と表示します。
すでにメッセージ表示されている場合：「カクハン　スル」を表示します。

Note

4色設定で運用している場合は、「ALL：　48h」と表示します。

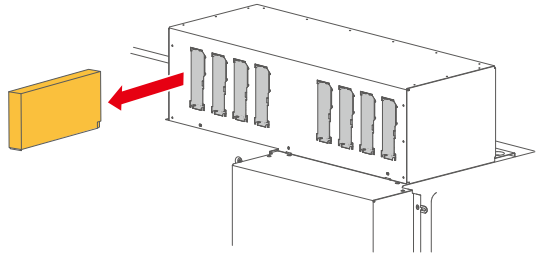
Note

キーをタップすると、かくはんを行う画面を表示します。
• かくはんを行いたい場合は、実行してください。
詳細は「メニューからかくはんを行う場合」P.148 を参照してください。

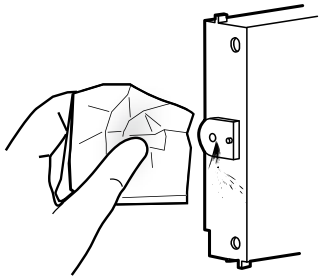
5 時間を確認したら、キーをタップして、インクかくはんメニューに戻ります。
[Home] キーをタップすると、[インサツデキマス] の表示に戻ります。

インクカートリッジをお使いの場合

1 インクカートリッジをインクカートリッジスロットから取り外します。



2 プリンター付属のペーパータオルで、インクカートリッジの差し込み口に付着しているインクを拭き取ります。

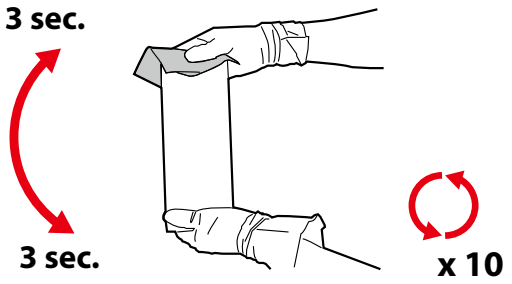


3 下記の方法でインクをかくはんします。

- 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次に、差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- これを 10 回繰り返します。

Note

バーニッシュインクは、かくはんせずにご使用いただけます。

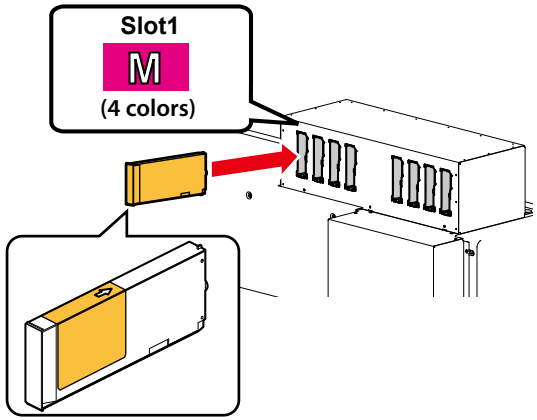


4 インクカートリッジを元のカートリッジスロットに取り付けます。

- 本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください（右のイラストは 4 色設定の例です）。
- 矢印マークを上にしてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。

Important !!

カートリッジを戻すときは、元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けないでください。

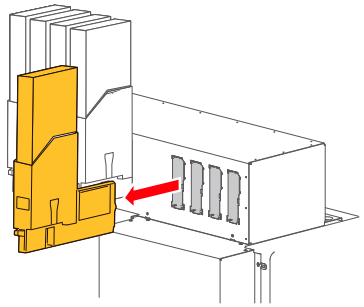


大容量パックアダプターをお使いの場合

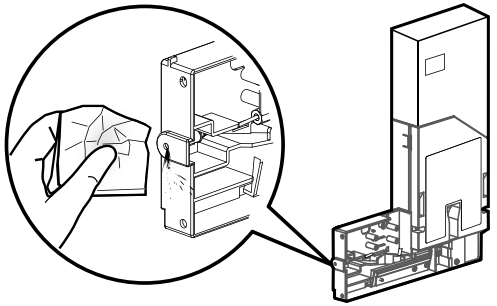
Note

大容量パックアダプターの詳しい取り扱い方法につきましては、大容量パックアダプターの取扱説明書を参照してください。

1 大容量パックアダプターをインクカートリッジスロットから取り外します。

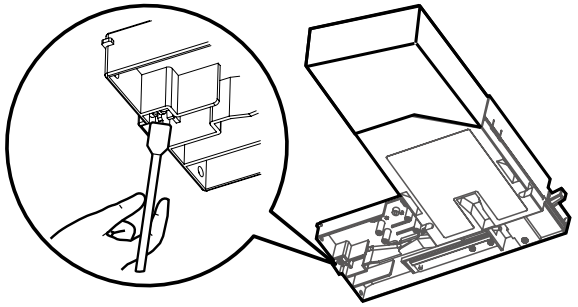


2 プリンター付属のペーパータオルで、大容量パックアダプターの差し込み口に付着しているインクを拭き取ります。



3 大容量パックアダプターを傾け、垂れてきたインクをクリーンスティックで吸い取ります。

- 傾けるときは、大容量パックアダプターの差し込み口がやや下を向くようにします。
- 傾けるときは、警告ラベルの貼付面が下向きになるようにします。

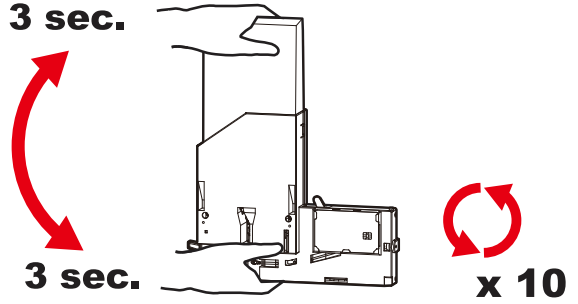


4

- インクパックが大容量パックアダプターから抜けないように、遮光カバーの上から押さえ、インクパックの差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次に、差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- これを 10 回繰り返します。

Note

バーニッシュインクは、かくはんせずにご使用いただけます。

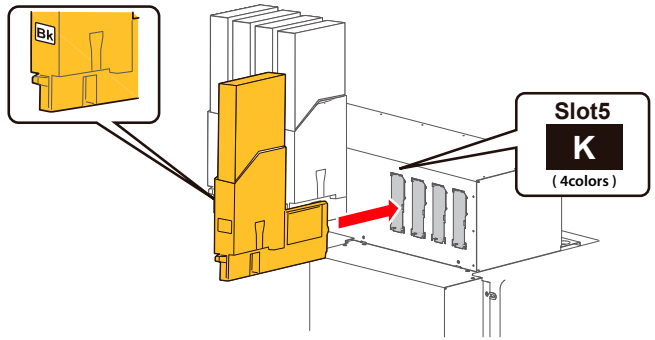


5 大容量パックアダプターを元のカートリッジスロットに取り付けます。

- 製品のラベルと大容量パックアダプターの色を合わせてください（右のイラストは 4 色設定の例です）。
- 奥までしっかり差し込んでください。

Important !!

大容量パックアダプターを戻すときは、元のインクスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けないでください。



インクの確認と交換

インク残量を確認する

各スロットに対応するインクの配列については、「スロットの番号とインクの配列」P.32 を参照してください。

手順

1 インジケーターを確認します。

- 詳細を確認する場合は、[Home] キーをタップします。

> **Note**
> MSM のリモートパネルからもインク残量を確認できます。
> 「MSM の起動方法」P.36

2 プリンタステータスメニューにアクセスします。

- キーを何回かタップ して、[プリンタステータス 1　インク] を表示します。
- キーをタップします。

3 スロット 1 ～ スロット 8 のインク残量が 0% ～ 100% で表示されます。

> **Note**
> インク残量が 10%で点滅表示している場合、対応しているインクに対してスマートチップリカバリーが実行されています。「スマートチップリカバリー」P.237

インクの交換が近づいたら

インクの残量が少なくなると、プリンターコントロールパネルのエラー LED が点滅し、ブザーが鳴ります。

1 [Enter] キーをタップします。

- ブザーが停止します。
- 2 秒間隔でプリンター状態とインク残量警告を交互に表示します。また、対象のインク色のインジケーターは 0.5 秒間隔で表示・非表示を繰り返します。
- 右のイラストの場合、スロット 2 とスロット 4 のインクの交換が近づいています。

2 インクを交換します。

☞「インクの交換」P.160

Note

スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

インクの交換

インクがなくなると、プリンターコントロールパネルのエラー LED が点灯し、ブザーが鳴ります。プリンターコントロールパネルに [インクナシ] が表示されます。すみやかに新しいインクカートリッジ（インクパック）とスマートチップカードに交換してください。一定時間インクが交換されないと、印刷が一時停止します。その場合は新しいインクカートリッジ（インクパック）に交換すると、印刷が再開されます。

警告

インクカートリッジ、インクパックは、火気や高温のものから遠ざけてください。
火災の原因となります。

注意

UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

Important !!

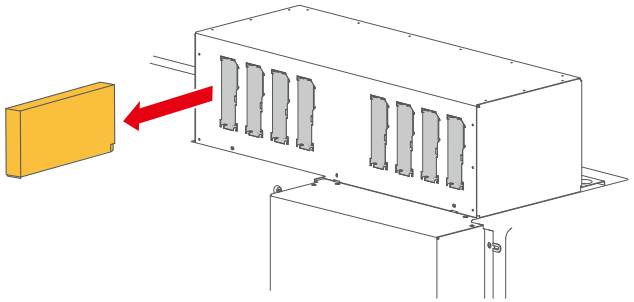
- プリンターの電源がオフ になっている場合は、インクを交換しないでください。
  インク残量の検出が正しくできなくなります。
- インクカートリッジ（インクパック）を寒い場所から暖かい場所へ移動させた場合は、移動先の環境に馴染ませるため、3 時間以上放置してから使用してください。
- 交換用のインクカートリッジ（インクパック）がない場合は、空のインクカートリッジ（インクパック）をプリンターから取り外さないでください。
  インクカートリッジ（インクパック）を取り外した状態で放置すると、プリントヘッドが目詰まりする原因になります。

インクカートリッジをお使いの場合

1 プリンターコントロールパネルの [Enter] キーをタップします。

- ブザーが停止します。
- 右のイラストの場合、スロット 1 とスロット 8 のインク交換が必要です。

2 インクカートリッジをスロットから取り外します。

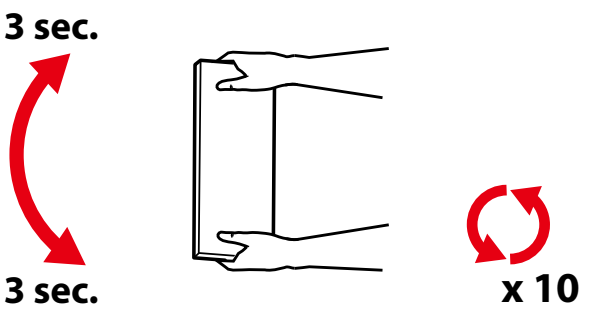


3 新しいインクカートリッジを用意し、インクをかくはんします。

- 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次に、差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- これを 10 回繰り返します。※ Wh のみ 20 回

Note

バーニッシュインクは、かくはんせずにご使用いただけます。

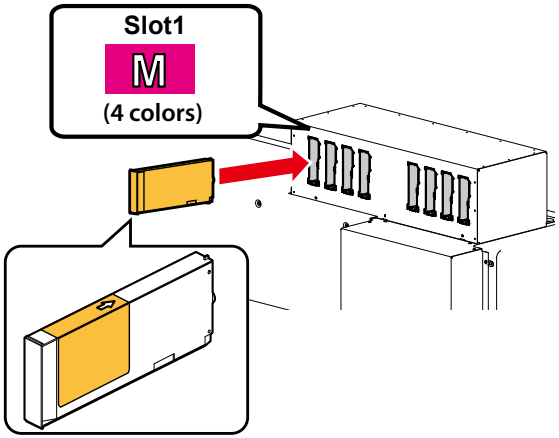


4 新しいインクカートリッジを取り付けます。

- 本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください（右のイラストは 4 色設定の例です）。
- 矢印マークを上にしてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。

Important !!

カートリッジを戻すときは、元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けないでください。



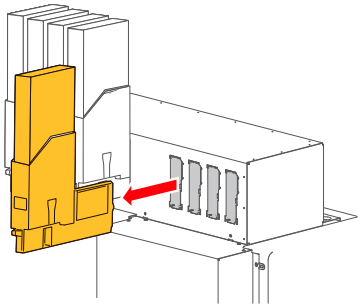
大容量パックアダプターをお使いの場合の手順

1. 大容量パックアダプターの取り外し

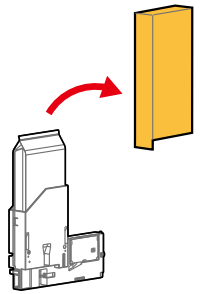
1 プリンターコントロールパネルの [Enter] キーをタップします。

- ブザーが停止します。
- 右図ではスロット 1 とスロット 8 のインク交換が必要です。

2 交換する大容量パックアダプターを取り外します。



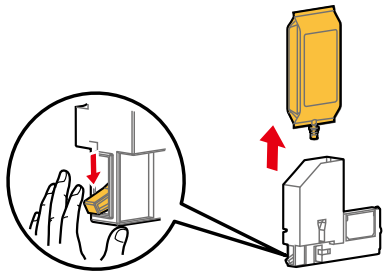
3 遮光カバーを取り外します。



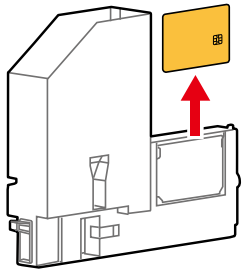
4 大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、空のインクパックを取り外します。

Note

使用済みのインクパックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



5 大容量パックアダプターからスマートチップカードを取り外します。



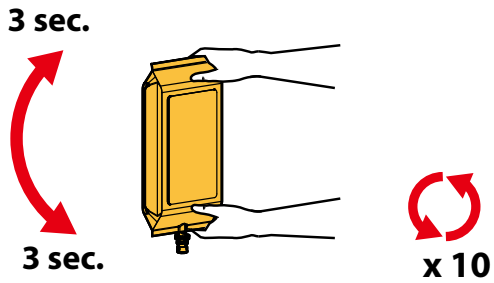
2. インクパックの取り付け

1 新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

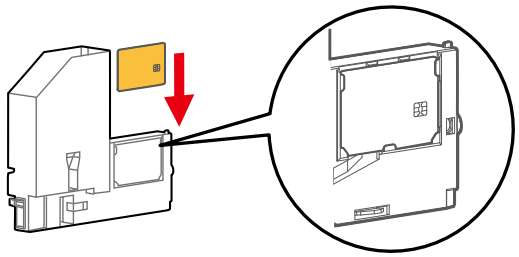
- 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- これを 10 回繰り返します。※ Wh のみ 20 回

Note

バーニッシュインクは、かくはんせずにご使用いただけます。

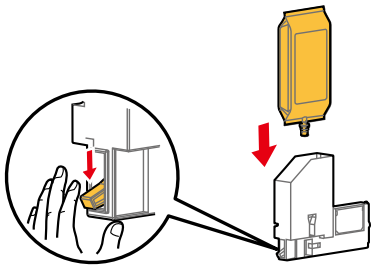


2 大容量パックアダプターのツメにスマートチップカードをスライドして取り付けます。

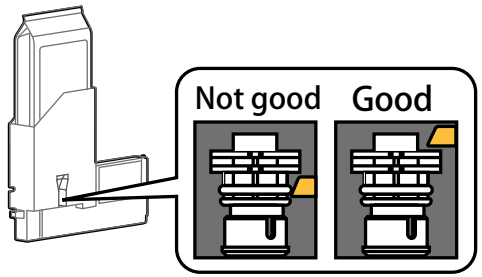


3 大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、インクパックを挿入します。

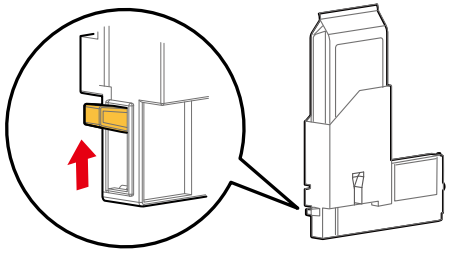
- インクパックは奥までしっかりと挿入してください。



4 インクパックが奥まで差し込まれ、ロックしていることを確認します。

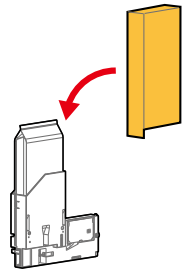


5 大容量パックアダプターのロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。



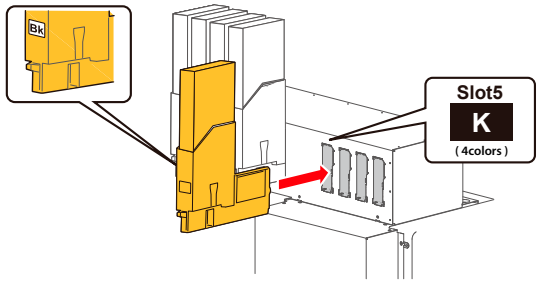
6 遮光カバーを取り付けます。

> **Note**
> 遮光カバーは大容量パックアダプターの内側に入るように取り付けてください。



7 大容量パックアダプターを差し込みます。

- 本製品のラベルと大容量パックアダプターの色を合わせてください（右のイラストは４色設定の場合です）。
- 矢印マークを上にしてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。



大容量パックアダプターのプラグ交換

プラグ寿命がなくなると、プリンターコントロールパネルのエラー LED が点灯し、メッセージが表示されます。
以下の手順で新しいプラグに交換してください。

1 [[1] プラグ コウカン カクニン -> Enter] が表示されたら、[Enter] キーをタップします。

- [ ] 内の数字は slot 番号です。

2 [[1] プラグ コウカン] が表示されます。

3 大容量パックアダプターの取扱説明書を見ながら、プラグを交換します。

☞**大容量パックアダプター取扱説明書「アダプタープラグの交換」**

4 交換後、大容量パックアダプターを取り付けると、[[1] プラグ カエマシタカ? イイエ] が表示されます。

- キーをタップします。

5 [[1] プラグ カエマシタカ? ハイ] が表示されます。

- [Enter] キーをタップします。
- 大容量パックアダプターの寿命がリセットされます。

Important!

アダプタープラグを交換していない場合は、[ハイ] を選択しないでください。アダプタープラグを交換しないまま使用すると、インク漏れの原因となります。

廃液タンクを空にする

次の場合には、廃液タンクの廃液を容器に移して排出してください。

- 印刷開始前に廃液が廃液タンクに半分以上たまっている場合
- ディスプレイ表示に [ハイエキ　ヲ　ステテ、Enter キーヲ　タップ゜シテクダサイ] と表示された場合
- ディスプレイ表示に [ハイエキタンク　マンタン] と表示された場合

ディスプレイ表示

ハイエキ　ヲ　ステテ、 Enterキーヲ　タップシテクダサイ	定期的に表示されます。廃液を排出してください。 • 廃液の排出処理後、[Enter] キーをタップすると元のディスプレイ表示に戻ります。
ハイエキタンク　マンタン	廃液タンクが満タンになりました。ただちに廃液を排出してください。 • 印刷などの動作は停止します。排出後、再開します。

警告

- 廃液は直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 廃液は火気や高温のものから遠ざけてください。
- 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。
  他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。
- 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。
- 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。

注意

UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。
廃液タンクが空またはタンク内の廃液が少量のときに、廃液タンクからインクが排出できないことがあります。

手順

1 廃液を移し替える容器を用意します。

Important!

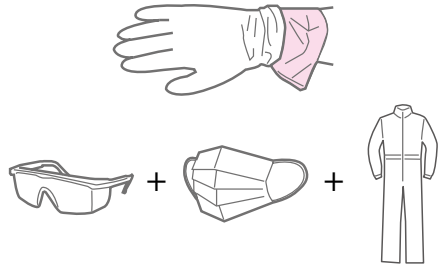
廃液タンクの容量は 2,000ml です。廃液を排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

Note

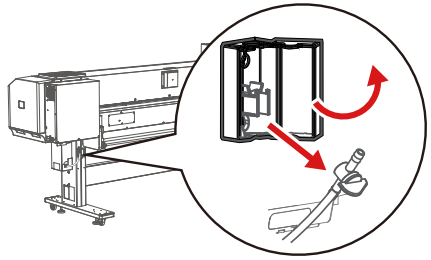
廃液タンクが空またはタンク内の廃液が少量のときに、廃液タンクからインクが排出できないことがあります。

2 いらない用紙などを廃液タンクの下の床に敷きます。

3
- ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用します。
- 保護マスク、保護衣など保護具を着用します。



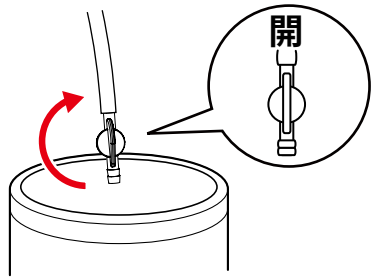
4 廃液バルブケースのカバーを開き、廃液バルブを取り外します。



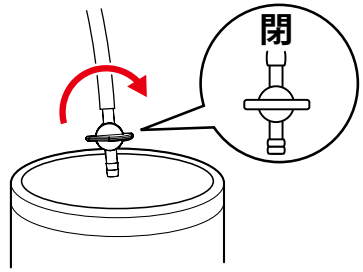
5 廃液バルブの先端を空容器に入れた後、廃液バルブを開き、空容器に廃液を移します。

Important!

廃液バルブを開き空容器に廃液を移すときに、廃液が飛び散ることがあります。廃液バルブの先端を空容器に入れて処理を行ってください。

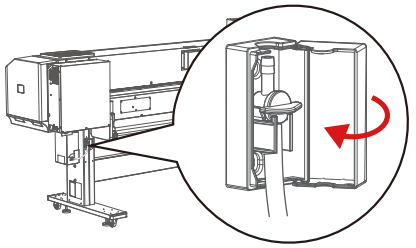


6 廃液を空容器に移し終わったら、廃液バルブを確実に閉めます



7 廃液バルブの口を乾いた布で拭き取ります。

8 廃液バルブを廃液バルブケースに収納し、カバーを閉じます。



9 廃液は産業廃棄物として処理します。

警告

- プリンターから出る廃液は、産業廃棄物の廃油（廃インキ）に該当します。
- 廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。
- 本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。

10

● ディスプレイ表示が [ハイエキヲステテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] の場合

廃液の排出処理後、[Enter] [Enter] キーをタップします。
- 元のディスプレイ表示に戻ります。

● ディスプレイ表示が [ハイエキタンク　マンタン] の場合

廃液の排出処理後、プリンターが動作を再開します。

1日の作業終了後のメンテナンス

作業前に、必ず以下をお読みください。

☞「取り扱いについて」P.12
☞「インクと廃液について」P.14

本製品は日常のメンテナンスが必要です。1 日の作業終了後に、以下の順番に従って実施してください。

Step1. デイリーメンテナンスの準備

Step2. スリープモードにする

Step3. デイリーメンテナンスを行う

1. 左側の UV-LED ランプの清掃
2. プリントヘッド周辺の清掃
3. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃
4. 右側の UV-LED ランプの清掃

Step4. デイリーメンテナンスを終了する

Important!

- スリープモードにせずに 1 日中印刷する場合でも、1 日 1 回、必ずデイリーメンテナンスを実施してください。メンテナンスが不十分な場合、画質不良や故障の原因となります。スリープモードにしない場合のデイリーメンテナンスは、メンテナンスメニューの [デイリーメンテナンス] から実施してください。

  ☞「各部の清掃」P.189
- デイリーメンテナンスの順番は必ずお守りください。

Step1. デイリーメンテナンスの準備

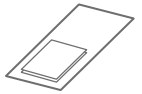
用意するもの

1 メンテナンスを行う場合は、以下のものを用意します。

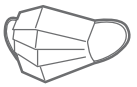
ポリエチレン手袋

ゴム手袋

ゴーグル

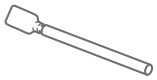

ペーパータオル
または、ポリニットワイパー

スポイト


保護マスク

専用メンテナンス液

プラスチックカップ


クリーンスティック

ステンレスバット

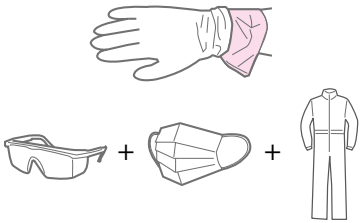
スクレイパー

保護衣

Important !

• ペーパータオルは付属のもの、または別売品のポリニットワイパーをご使用ください。
ティッシュペーパーは使用しないでください。紙から出る繊維や粉じんが、プリントヘッドの故障の原因となります。
• メンテナンス液は、専用のもの以外を使用しないでください。
• 専用メンテナンス液などの別売品のご購入は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。
☞「お問い合わせ先」P.260

2
• ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用します。
• ゴーグル、保護マスク、保護衣など保護具を着用します。



Step2. スリープモードにする

☞「スリープモード」P.103

1 製品の動作状態について以下を確認します。

- フロントカバー、メンテナンスカバーが閉じている。
- メディアが取り外されている。
- インクの残量が十分にある。
- 廃液タンクの空き容量が十分にある。

Important!

長時間スリープモードを継続する場合は、廃液タンクから廃インクを排出してください。

☞「廃液タンクを空にする」P.167

2 スリープモードメニューにアクセスします。

- [Home] キーをタップすると、[メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- / キーをタップして、[メニュー 8　スリープモード] を選択します。
- キータップします。

3 [スリープモード 1 ジッコウ] が表示されたら、 キーをタップします。

4 [スリープモード カイシ　->　Enter] が表示されたら、[Enter] キーをタップします。

5 [デイリーメンテナンス　カイシ　-> Enter] が表示されたら、[Enter] キーをタップします。

- [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。
- キャリッジがメンテナンス位置（製品の左側）へ移動します。

6 右のメッセージが表示されたら、デイリーメンテナンスをはじめます。

☞「Step3. デイリーメンテナンスを行う」P.174

- [Enter] キーをタップしないでください。[Enter] キーをタップすると、清掃できなくなってしまいます。

Step3. デイリーメンテナンスを行う

Important!

デイリーメンテナンスは 5 分以内に終わらせてください。

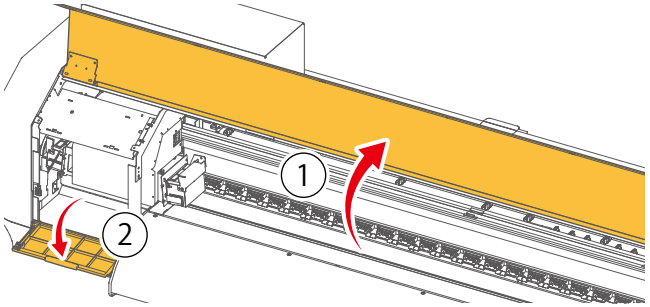
1. 左側の UV-LED ランプの清掃

注意

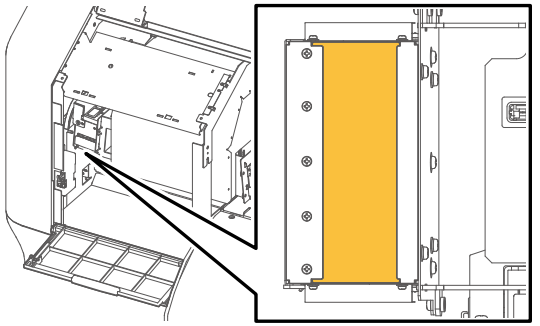
印刷直後はランプ表面が高温になっています。
印刷終了後 10 分経過してから作業を行ってください。

1 以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。

- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー L

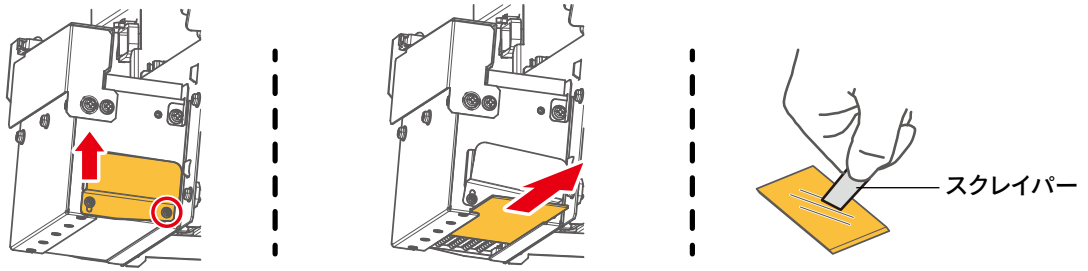


2 左側の UV-LED ランプ底面のガラスにインクが付着しているかどうかを確認します。



3 ガラスにインクが付着している場合は、以下を行ってください。

1. 右側のネジを支点にして、排気カバーを上にスライドします。
2. UV-LED ランプ下側のガラスを手前にスライドして外します。
3. ガラスのインクが固着している箇所に、スクレイパーを少し傾けて当て、インクを削ぎ落とします。
4. ペーパータオルでインクの削りかすを拭き取ります。
5. ガラスを UV-LED ランプに取り付けます。
6. ガラスをしっかりと奥まで挿入し、排気カバーを元のように下げます。



Important !

- 専用のスクレイパーを使用してください。
- スクレイパーの角を強く押しつけないでください。ガラスが破損する原因となります。
- ガラスの取り付け忘れや排気カバーの戻し忘れがないように注意してください。UV-LED ランプの故障の原因となります。

4 続いて、プリントヘッドの周辺を清掃します。

☞「2. プリントヘッド周辺の清掃」P.176

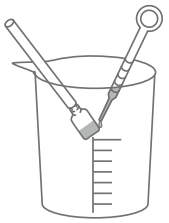
2. プリントヘッド周辺の清掃

Important!

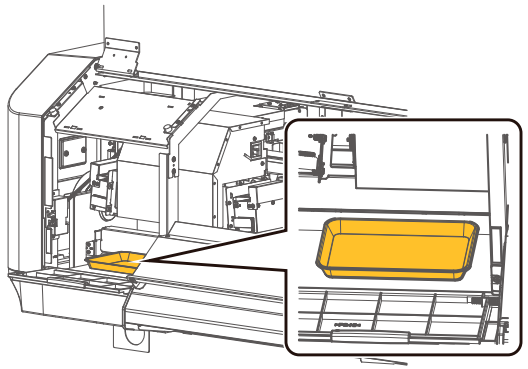
- 必ず、指示された手順通り行ってください。
- 必ず、未使用のクリーンスティックと専用メンテナンス液を使用してください。再利用したクリーンスティックや専用メンテナンス液以外を使用したりすると、プリントヘッドが破損するおそれがあります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂などが付着すると、プリントヘッドが破損するおそれがあります。
- 周囲を汚さないように、キャリッジの下にステンレスバットを置いてください。
- ステンレスバットをキャリッジの下に放置しないでください。ステンレスバットを長時間放置すると、外光が反射してヘッドノズル面に付着しているインクが硬化するおそれがあります。

1 クリーンスティックに専用メンテナンス液を浸します。

1. プラスチックカップに未使用のクリーンスティックを入れます。
2. スポイトを使って、クリーンスティックの先端に専用メンテナンス液を浸します
（使用量目安：0.5 ml）



2 キャリッジの下にステンレスバットを置きます。

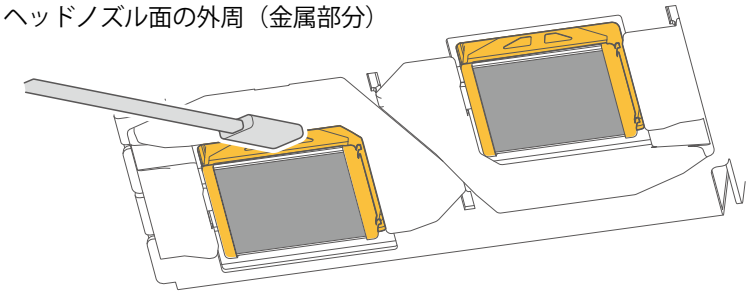


3 キャリッジ底面のプリントヘッド周辺付着しているインクやほこりをクリーンスティックで拭き取ります。

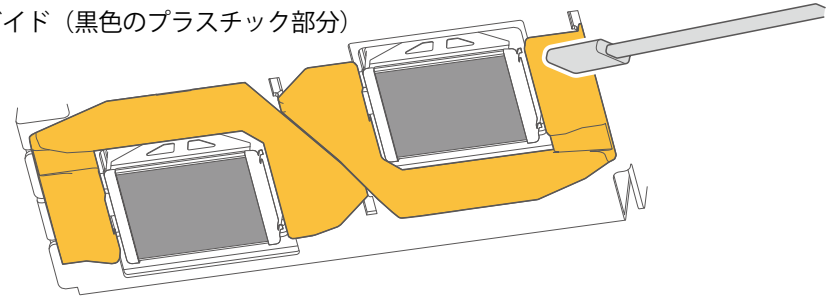
清掃箇所

ノズル面には絶対に触れないでください。

- プリントヘッドノズル面の外周（金属部分）



- プリントヘッドガイド（黒色のプラスチック部分）



Important !

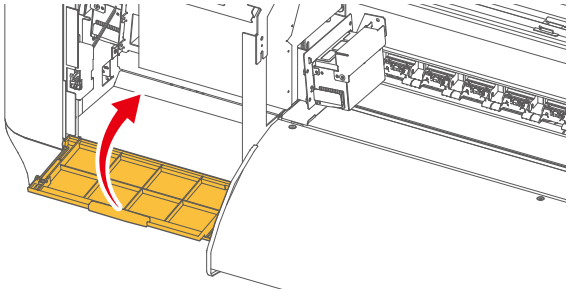
メンテナンス液がプリンターに付着した場合は、ペーパータオルなどで拭き取ってください。

4 ステンレスバットを取り除きます。

Important !

ステンレスバットをキャリッジの下に放置しないでください。ステンレスバットを長時間放置すると、外光が反射してヘッドノズル面に付着しているインクが硬化するおそれがあります。

5 メンテナンスカバー L をゆっくりと閉じます。



6 続いて、クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃します。

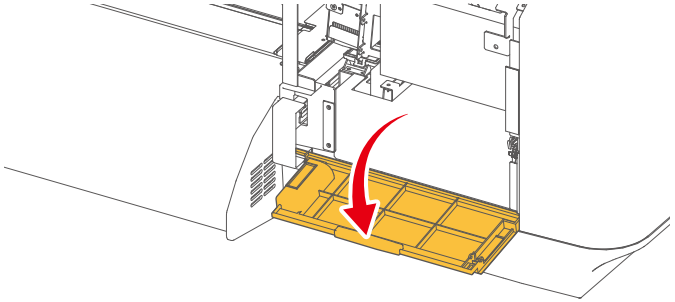
☞「3. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃」P.179

Important !

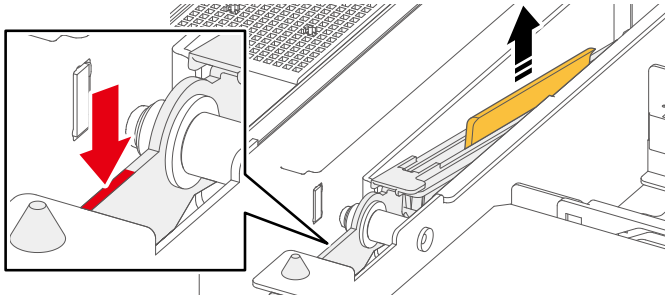
クリーンスティックがインクやホコリで汚れた場合は、プラスチックカップの中のメンテナンス液で汚れを落としてください。汚れが落ちない場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。

3. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃

1 メンテナンスカバー R をゆっくりと開きます。

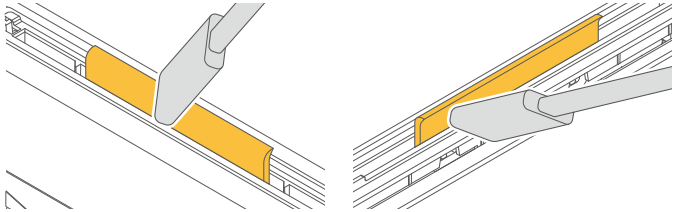


2 イラストの赤色部分を押して、ワイパーを上げます。



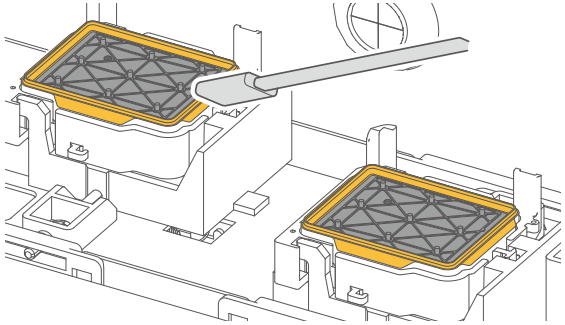
3 クリーニングワイパー（黒いゴム板）に付着しているインクやほこりをクリーンスティックで拭き取ります。

- 左側面、右側面を清掃してください。



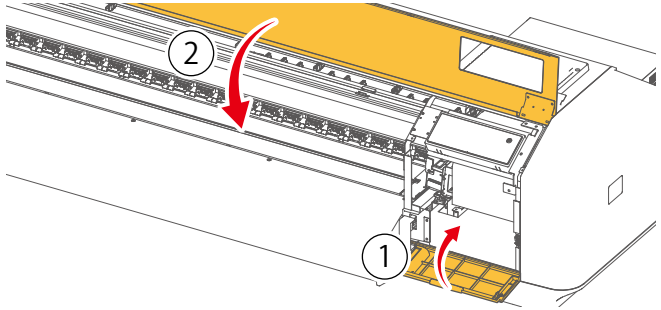
4 キャップ外周に付着しているインクやほこりをクリーンスティックで拭き取ります。

清掃箇所　吸収材には絶対に触れないでください。



5 以下の順番で、カバーをゆっくりと閉じます。

- ①メンテナンスカバー R
- ②フロントカバー



6 プリンターコントロールパネルの [Enter] キーをタップします。

- キャリッジが右側の UV-LED ランプ清掃位置へ移動します。

7 続いて、右側の UV-LED ランプを清掃します。

☞「4. 右側の UV-LED ランプの清掃」P.181

4. 右側の UV-LED ランプの清掃

注意

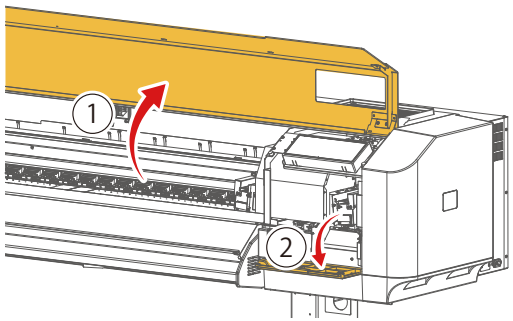
印刷直後はランプ表面が高温になっています。
印刷終了後 10 分経過してから作業を行ってください。

1 プリンターコントロールパネルに右の内容が表示されたら、右側 UV-LED ランプの清掃を開始します。

- [Enter] キーをタップしないでください。 [Enter] キーをタップすると、清掃できなくなってしまいます。

2 以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。

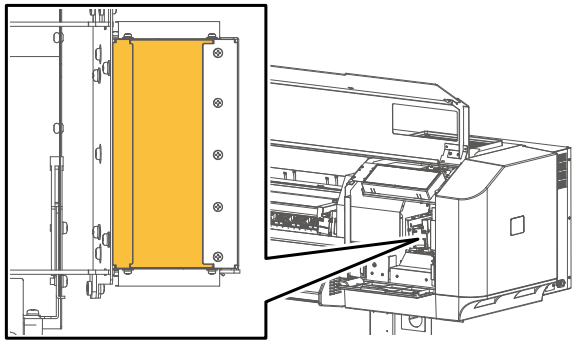
- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー R



3 右側の UV-LED ランプ底面のガラスにインクが付着しているかどうかを確認します。

Note

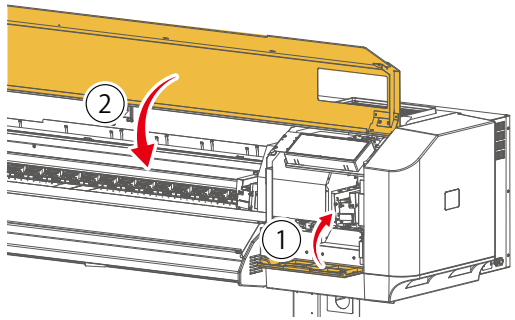
キャリッジを手動で移動できます。ガラス面が確認できる位置にキャリッジをゆっくりと動かして確認してください。



4 ガラスにインクが付着している場合は、「1. 左側の UV-LED ランプの清掃」P.174 を参照して、清掃してください。

5 以下の順番で、カバーをゆっくりと閉じます。

- ①メンテナンスカバー R
- ②フロントカバー



6 続いて、デイリーメンテナンスを終了します。

☞「Step4. デイリーメンテナンスを終了する」P.183

Step4. デイリーメンテナンスを終了する

1 プリンターコントロールパネルの [Enter] キーをタップします。

- 自動でクリーニングが始まります。

Note

[デイリーメンテナンス] メニューから実施した場合は、メニュー選択画面へ戻ります。

☞「デイリーメンテナンス」P.127

2 クリーニング終了後、右のメッセージが表示されます。

- スリープモードを開始します。

Note

- スリープモード中は、電源ボタン上部の LED が 5 秒おきに点滅します。

3 デイリーメンテナンスを終了します。

- クリーンスティックは廃棄してください。クリーンスティックは再利用できません。
- スポイトに付着したメンテナンス液をペーパータオルで拭き取ります。
- プラスチックカップ内のメンテナンス液を廃棄して、ペーパータオルで拭き取ります

Important !

- メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。
- 使用済みのクリーンスティックやプラスチックカップに残った専用メンテナンス液は産業廃棄物です。地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

4 スリープモードを解除するときは、[Enter] キーをタップします。

☞「スリープモードを解除する」P.104

ご使用に合わせたメンテナンス

ヘッドクリーニング

ノズルチェックをしてノズルの目詰まりがあったときは、ヘッドクリーニングを行ってください。

- 「ノズルチェックをする」P.61
  ノズルの状態を印刷して、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。
- 「ヘッドクリーニングをする」P.65
  ノズルの目詰まりがあったときは、ヘッドクリーニングをしてください。
  本製品にはいくつかのクリーニングモードがあります。ノズルチェックの印刷結果によって使い分けてください。

ヘッドクリーニングを実施してもノズルの目詰まりが解消しないときは、漬け置きクリーニングを実施してください。

☞「漬け置きクリーニング」P.186

漬け置きクリーニング

実施時期

- 一週間に一度（推奨）
- ヘッドクリーニングでノズル詰まりや飛行曲がりが解消しないとき

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、ゴーグル、マスク
- スポイト、プラスチックカップ
- 専用メンテナンス液

1 保護具を着用します。

☞「保護具をつける」P.144

2 メンテナンス液をプラスチックカップに適量そそぎます。

3 漬け置きクリーニングメニューにアクセスします

- [Home] キーをタップすると、[メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーをタップし、[メニュー 3　メンテナンス] を選択します。
- キーをタップすると、[メンテナンス 1：　クリーニング] が表示されます。
- / キーをタップし、[メンテナンス 5：　ツケオキクリーニング] を選択します。

4 キーをタップします。

- [ツケオキクリーニング　カイシ　ー> Enter] が表示されます。

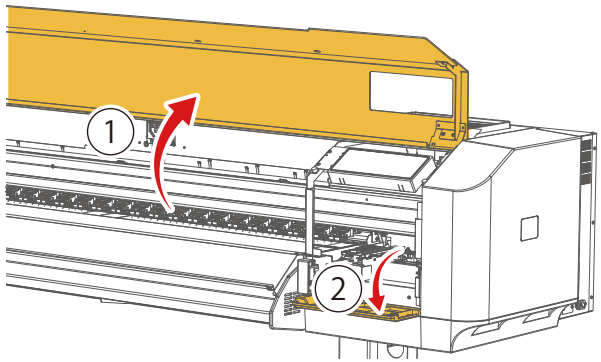
5 [Enter] キーをタップします。

- キャリッジがメンテナンス位置（プリンター左側）へ移動します。

6 [センジョウエキ ヲ ミタス シュウリョウ -> Enter] が表示されたら、メンテナンスを開始します。

以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。

- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー R

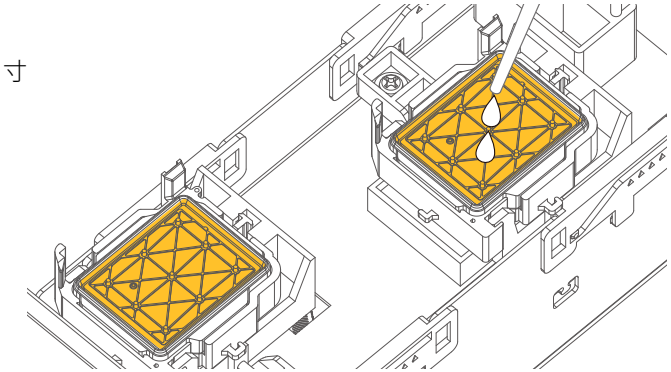


Note

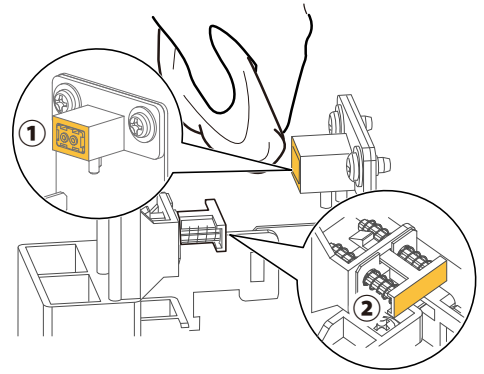
カバーを開いたままの状態で 10 分経過すると、[カバーヲトジテクダサイ] が表示されます。その場合は、すべてのカバーを閉じてやり直してください。

7 キャップいっぱいにメンテナンス液を満たします。

- スポイトでメンテナンス液をとり、キャップからあふれる寸前まで注入してください。



8 ペーパータオルを使って、エアバルブの表面（①と②の部分）に付着したインクを拭き取ります。



9 メンテナンスカバー R、フロントカバーを順番にゆっくり閉じて、[Enter] キーをタップします。

- キャリッジが元の位置へ戻り、キャップインします。

10 [ツケオキジカン (1-99)　10 フン] が表示されたら、/ キーをタップして漬け置き時間を指定し、[Enter] キーをタップします。

- 漬け置き時間のカウントダウンが始まります。
- 漬け置き時間は 10 分を推奨します。

11 漬け置き時間経過後、自動でクリーニングを開始します。

12 漬け置きクリーニングを終了します。

- スポイトに付着したメンテナンス液をペーパータオルで拭き取ります。
- プラスチックカップ内のメンテナンス液を廃棄して、ペーパータオルで拭き取ります。

Important !

- **メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。**
- **使用済みのペーパータオルやプラスチックカップに残った専用メンテナンス液は産業廃棄物です。地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。**

各部の清掃

以下の場合は、それぞれの手順に従って各部を清掃してください。

- ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき
- 部分的に印刷が汚れるとき

☞「各部の清掃の流れ」P.189

- 画質調整（調整印刷）やヘッド調整でオート調整が何度も失敗するとき

☞「カラーセンサーの清掃」P.191

- 1か月に一度
- インク汚れやほこりが見えるとき

☞「内部の清掃」P.193

各部の清掃の流れ

Important !!

以下は、メンテナンス後も印刷作業を続ける場合の手順です。1日の作業終了後にデイリーメンテナンスを行うときは、プリンターをスリープモードにしてからメンテナンスを行ってください。

☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.171

1. デイリーメンテナンス状態にする

1 デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

☞「Step1. デイリーメンテナンスの準備」P.172

2 デイリーメンテナンスメニューにアクセスします。

- [Home] キーをタップすると、[メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーをタップし、[メニュー 3　メンテナンス] を選択します。
- キーをタップすると、[メンテナンス 1：　クリーニング] が表示されます。
- / キーをタップし、[メンテナンス 6：　デイリーメンテナンス] を選択します。

3 キーをタップすると、[デイリーメンテナンス カイシ　->　Enter] が表示されます。

- [Enter] キーをタップします。

4 [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。

- キャリッジがメンテナンス位置（製品の左側）に移動します。

5 [デイリーメンテナンス　ツギヘ　->　Enter] が表示されます。

2. 各部を清掃する

つぎの場所を清掃します。手順は、「 デイリーメンテナンス」と同一です。

☞「2. プリントヘッド周辺の清掃」P.176
☞「3. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃」P.179

カラーセンサーの清掃

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、ゴーグル、マスク
- クリーンスティック
- エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）

Important !!

- クリーンスティックでカラーセンサーのガラス面を強く押さないでください。ガラスが破損する原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、カラーセンサーの誤動作の原因となります。
- 作業時間の目安は 5 分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障原因となります。

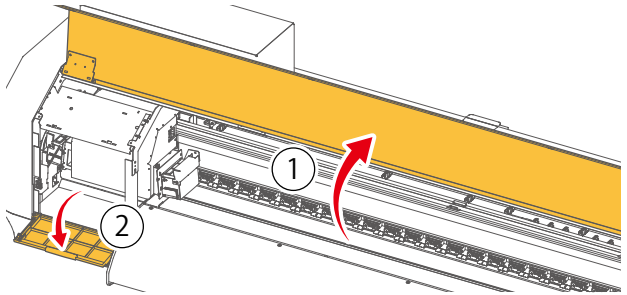
注意

インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋・保護メガネ・マスクを着用してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

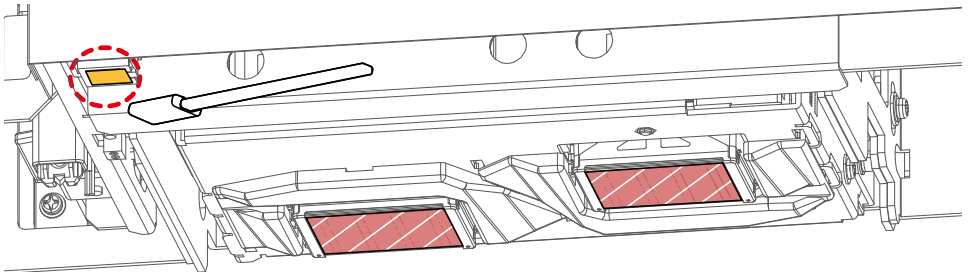
1 保護具を着用します。
☞「保護具をつける」P.144

2 本製品を CR メンテナンス状態にします。
☞「1.CR メンテナンス状態にする」P.196

3 以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。
- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー L



4 キャリッジの下側にある、カラーセンサーのガラス面に付着したインクやホコリを、エタノールを少量染み込ませたクリーンスティックでやさしく清掃します。



清掃箇所（ガラス面は強く押さないでください）

ヘッド面には絶対に触れないでください。

5
- メンテナンスカバー L を閉じます。
- フロントカバーを閉じます。

6 [CR メンテナンス シュウリョウ -> Enter] が表示されていることを確認し、[Enter] キーをタップします。
- [CR メンテナンス カイシ -> Enter] が表示されます。
- [Home] キーをタップして、手順を終了します。

Important !!

問題が解決しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
☞「お問い合わせ先」P.260

Note

使用済みのクリーンスティックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

内部の清掃

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、ゴーグル、マスク
- 柔らかいブラシ
- ペーパータオルまたは柔らかい布
- エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）

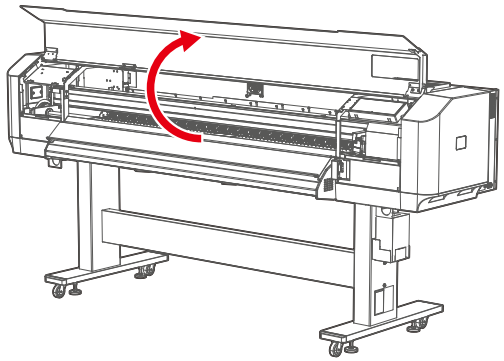
注意

UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

1 保護具を着用します。

☞「保護具をつける」P.144

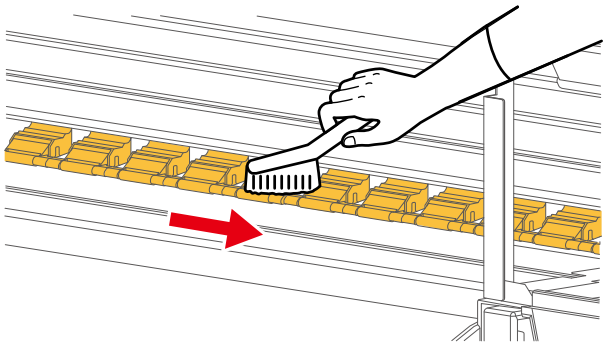
2 フロントカバーを開きます。



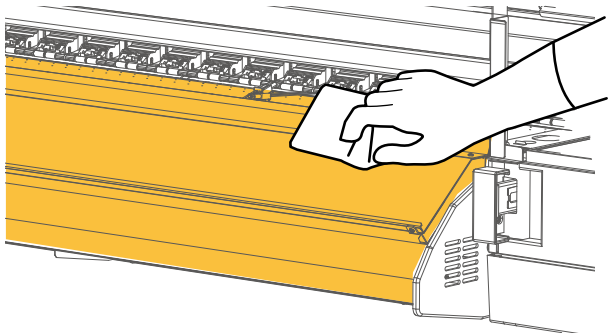
3 柔らかいブラシを使って、加圧アームのホコリを払います。

Important !!

本製品内部に付着したホコリをエアダスターなどで吹き飛ばさないでください。
ホコリが可動部に付着して、異音や故障の原因となる恐れがあります。



4 エタノールを少量染み込ませたペーパータオルまたは柔らかい布で、プラテンとメディアガイドおよびエッジホルダーなどに付着している汚れを取ります。



5 フロントカバーを閉じます。

消耗品の交換

安定した印刷を行うために、次の部品は定期的に交換してください。

交換部品	交換の目安
フラッシングボックス用吸収材	フラッシングボックス用吸収材上に堆積したインクのかたまりが、フラッシングボックス枠より盛り上がった場合 (使用頻度によりますので定期的に確認してください)。 ☞「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.197
クリーニングワイパー	約6か月 ☞「クリーニングワイパーの交換」P.201
カッター	• メディアがきれいにカットできない場合 • カット部に毛羽立ちなどが発生した場合 ☞「カッターの交換」P.204
UV ー LED ランプのフィルター	約 1 か月またはいちじるしくインクやホコリによる汚れがある場合 (使用頻度によりますので定期的に確認してください) ☞「UV-LED ランプのフィルターの交換」P.207
UV ー LED ランプのガラス	ガラスに欠け、割れがある場合。または汚れが落ちない場合 ☞「UV-LED ランプのガラスの交換」P.209
排気ファンフィルターの交換、清掃	フィルターのインク汚れが、フィルターカバーのかげになっている部分にも広がっている場合 (使用頻度によりますので定期的に確認してください) ☞「排気ファンフィルターの交換、清掃」P.212 * *(「排気ファンフィルターの交換、清掃」は、CR メンテナンス状態にする必要はありません。)

消耗品交換の流れ

1.CR メンテナンス状態にする

1 CR メンテナンスメニューにアクセスします。

- [Home] キーをタップすると、[メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーで [メニュー 3　メンテナンス] を選択します。
- キーをタップすると、[メンテナンス 1：　クリーニング] が表示されます。
- キーで [メンテナンス 2：　CR メンテナンス] を選択します。

2 キーをタップします。

3 [CR メンテナンス カイシ　->　Enter] が表示されたら、[Enter] キーをタップします。

- キャリッジがメンテナンス位置（プリンターの左側）へ移動します。
- [CR メンテナンス シュウリョウ　->　Enter] が表示されます。

4 交換作業をはじめます。

2. 消耗品を交換する

それぞれの手順に沿って、各部品の交換を行ってください。

☞「消耗品の交換」P.195

フラッシングボックス用吸収材の交換

フラッシングボックスは、プリントヘッドが排出するインクを受ける部品です。フラッシングボックス用吸収材は定期的に交換してください。交換せずに使用しつづけると、プリントヘッドが故障する原因になります。

交換時期の目安：

- インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていることを確認したとき（約 2 か月）
  ＊使用頻度によるため、定期的に確認してください。

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、ゴーグル、マスク
- 交換用のフラッシングボックス用吸収材
- 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）

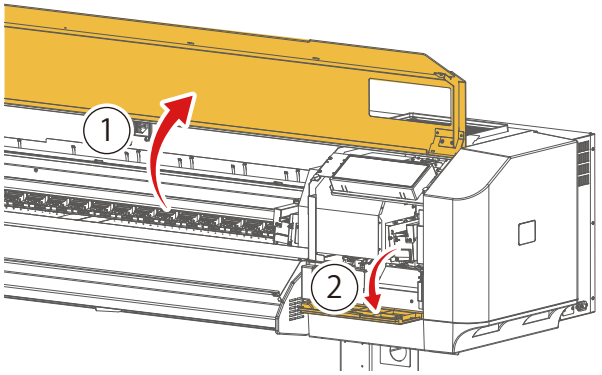
注意

UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

確認手順

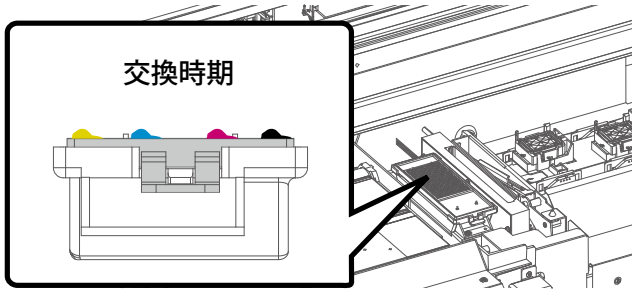
1 以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。

- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー R



2 フラッシングボックス用吸収材を確認します。

- インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていたら、交換時期です。



3 メンテナンスカバー R を閉じます。

4 フロントカバーを閉じます。

交換手順

1 保護具を着用します。

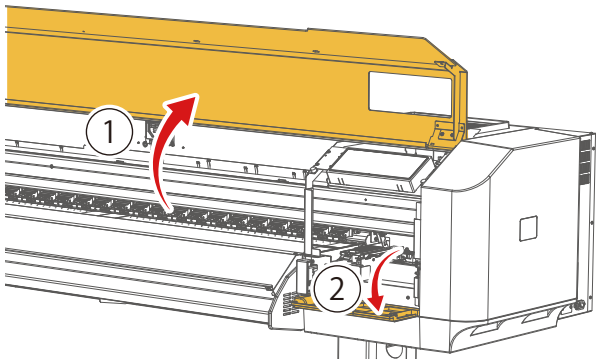
☞保護具をつける P.144

2 本製品を CR メンテナンス状態にします。

☞「1.CR メンテナンス状態にする」P.196

3 以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。

- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー R



4 プラテンに、汚れてもかまわない紙を敷きます。

Important !!

フラッシングボックス用吸収材からインクが垂れることがあります。床にも紙を敷くことをおすすめします。

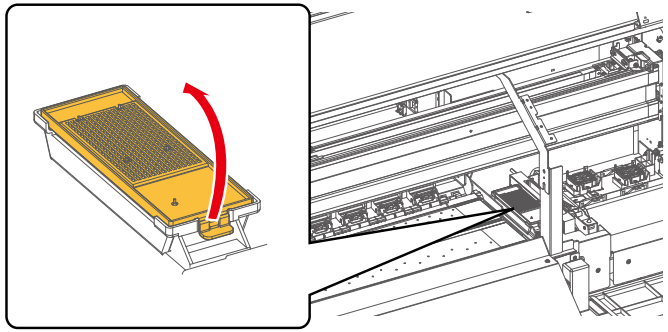
5 フラッシングボックス用吸収材のツメ部を持ち上げてフックを解除し、フラッシングボックス用吸収材を取り外します。

Important !!

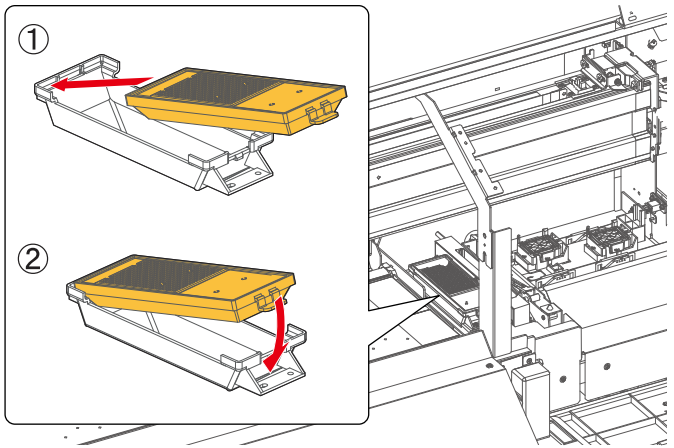
フラッシングボックス用吸収材を取り外すときに、インクが垂れ落ちないよう注意してください。

Note

使用済みのフラッシングボックス用吸収材は、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



6 新しいフラッシングボックス用吸収材を取り付けます。



7 メンテナンスカバー R を閉じます。

8 フロントカバーを閉じます。

9 [CR メンテナンス シュウリョウ -> Enter] が表示されていることを確認し、[Enter] キーをタップします。

- [CR メンテナンス カイシ -> Enter] が表示されます。
- [Home] キーをタップして、手順を終了します。

クリーニングワイパーの交換

クリーニングワイパーは、製品が安定した印刷を行うために必要な部品です。定期的に交換してください。

交換時期の目安：

- 約 6 か月

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、ゴーグル、マスク
- 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）
- 交換用のクリーニングワイパー

注意

UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

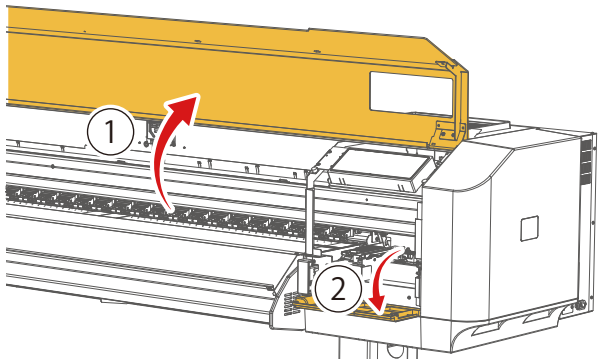
交換手順

1 保護具を着用します。
☞保護具をつける P.144

2 本製品を CR メンテナンス状態にします。
☞「1.CR メンテナンス状態にする」P.196

3 以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。

- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー R



4 プラテンに、汚れてもかまわない紙を敷きます。

Important !!

クリーニングワイパーからインクが垂れることがあります。床にも紙を敷くことをおすすめします。

5 クリーニングワイパーを取り外します。

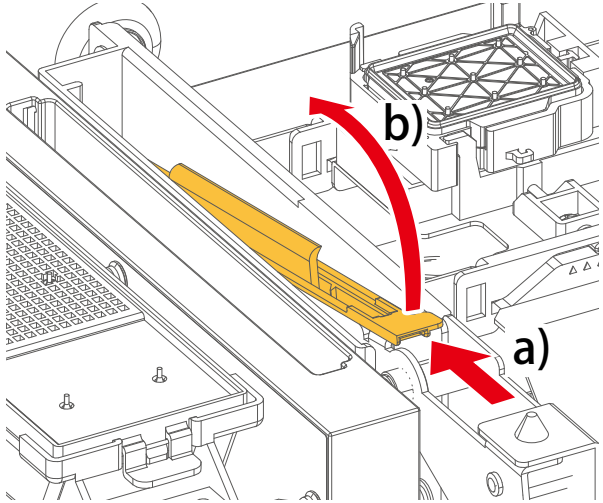
- a) クリーニングワイパーのツメ部を奥に押して、手前のフックを解除します。
- b) クリーニングワイパーのツメ部を持上げて、クリーニングワイパーを取り外します。

Important !!

クリーニングワイパーを取り外すときに、インクが垂れ落ちないよう注意してください。

Note

使用済みのクリーニングワイパーは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

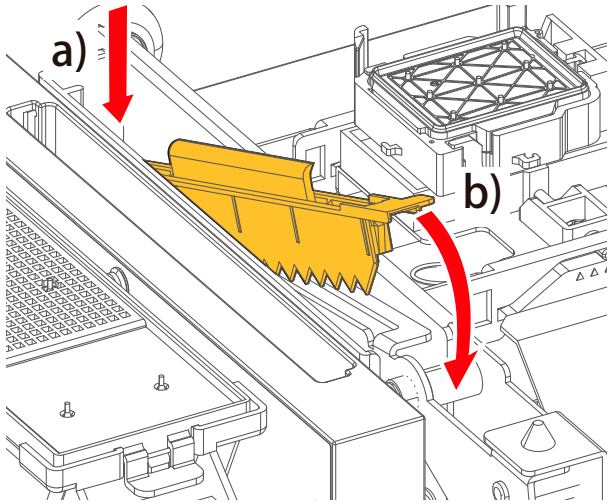


6 以下の手順に従って、クリーニングワイパーを取り付けます。

- a) クリーニングワイパーの奥側を挿入します。
- b) クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。

Important !!

クリーニングワイパーのゴム部分を素手で触れないように注意してください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障原因となります。



7 メンテナンスカバー R を閉じます。

8 フロントカバーを閉じます。

9 [CR メンテナンス シュウリョウ -> Enter] が表示されていることを確認し、[Enter] キーをタップします。

- [CR メンテナンス カイシ -> Enter] が表示されます。
- [Home] キーをタップして、手順を終了します。

カッターの交換

交換時期の目安：

- メディアがきれいにカットできない場合
- カット部に毛羽立ちなどが発生した場合

必要なもの：

- カッター交換刃

注意

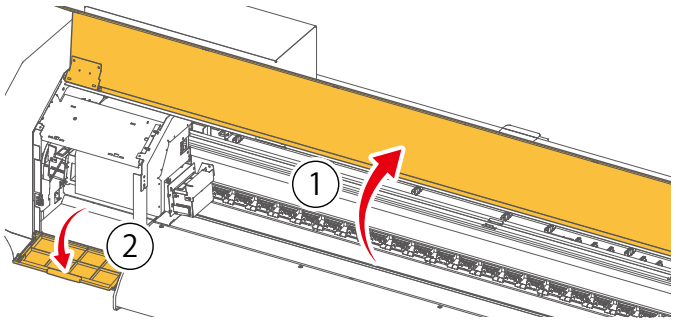
- カッターのつまみを強く押したり、急に離したりしないでください。
  カッターの下にバネがあるため、カッターが飛び出す可能性があります。
- カッターの刃先には触れないでください。
  けがをする恐れがあります。

交換手順

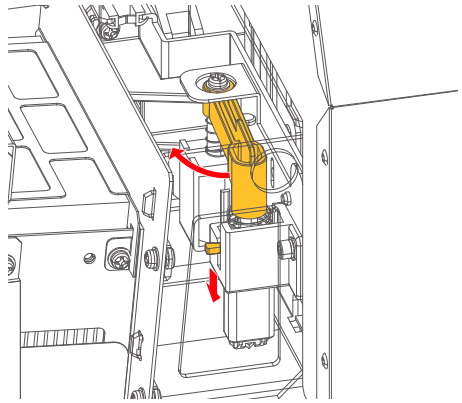
1 本製品を CR メンテナンス状態にします。
☞「1.CR メンテナンス状態にする」P.196

2 以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。

- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー L



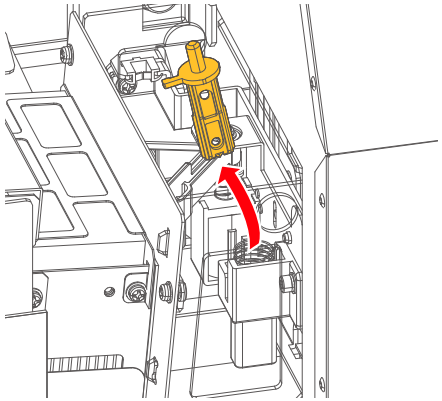
3 カッターのつまみを軽く押しながら、カッターキャップを図の方向に回転させます。



Important !!

カッターキャップを下方向に押さないでください。
カッターキャップが破損する恐れがあります。

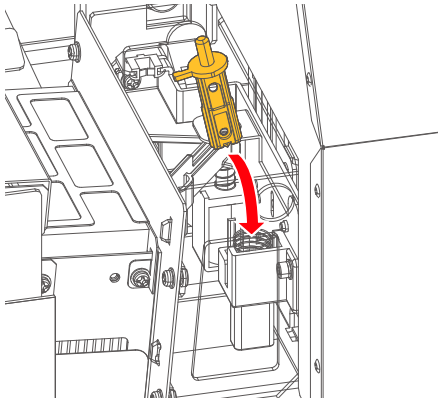
4 カッターを取り出します。



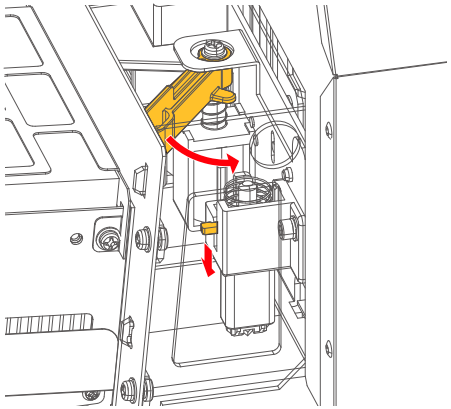
Note

使用済みのカッターは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

5 新しいカッターを取り付けます。



6 カッターのつまみを軽く押しながら、カッターキャップを元の位置に戻します。



7 メンテナンスカバー L を閉じます。

8 フロントカバーを閉じます。

9 [CR メンテナンス シュウリョウ -> Enter] が表示されていることを確認し、[Enter] キーをタップします。

- [CR メンテナンス カイシ -> Enter] が表示されます。
- [Home] キーをタップして、手順を終了します。

UV-LED ランプのフィルターの交換

UV-LED ランプのフィルターは、インクミストから UV-LED ランプを保護するための部品です。汚れが蓄積したまま使用を続けると UV-LED ランプの故障の原因となります。定期的に交換してください。

交換時期の目安：

- 約 1 か月またはいちじるしくインクやホコリによる汚れがある場合（使用頻度によりますので定期的に確認してください）

必要なもの

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、ゴーグル、マスク
- 交換用フィルター

注意

・UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

・印刷直後はランプ表面が高温になっています。
印刷終了後 10 分経過してから作業を行ってください。

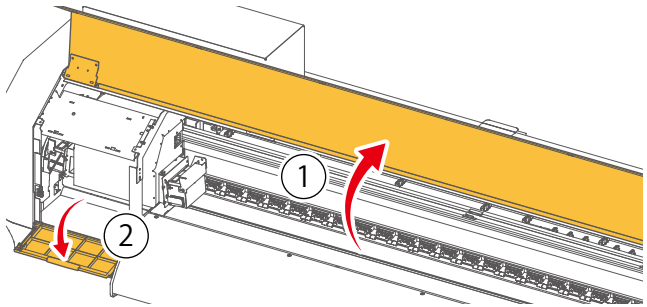
交換手順

1 保護具を着用します。
☞「保護具をつける」P.144

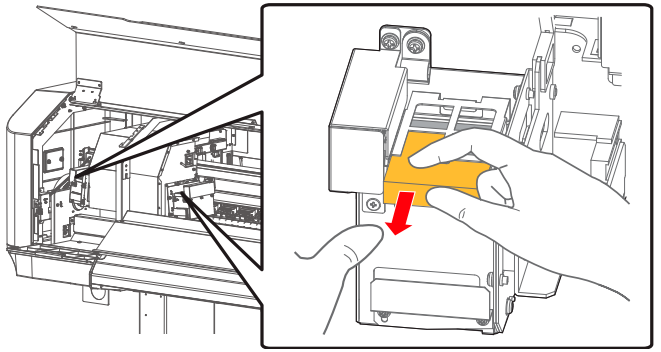
2 本製品を CR メンテナンス状態にします。
☞「1.CR メンテナンス状態にする」P.196

3 以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。

- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー L



4 UV-LED ユニットに手を添えながら、フィルターを取り出します。



5 新しいフィルターに交換します。

- フィルターはしっかりと奥まで挿入します。

6 メンテナンスカバー L を閉じます。

7 フロントカバーを閉じます。

8 [CR メンテナンス シュウリョウ -> Enter] が表示されていることを確認し、[Enter] キーをタップします。

- [CR メンテナンス カイシ -> Enter] が表示されます。
- [Home] キーをタップして、手順を終了します。

UV-LED ランプのガラスの交換

UV-LED ランプのガラスは、UV-LED ランプを保護するための部品です。破損していたり、汚れが落ちないまま使用を続けると UV-LED ランプの故障やインクの硬化不良の原因となります。必要に応じて交換してください。

交換時期の目安：

- ガラスに欠け、割れがある場合。または汚れが落ちない場合

必要なもの

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、ゴーグル、マスク
- 交換用ガラス

注意

- UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
  作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。
- 印刷直後はランプ表面が高温になっています。印刷終了後 10 分経過してから作業を行ってください。

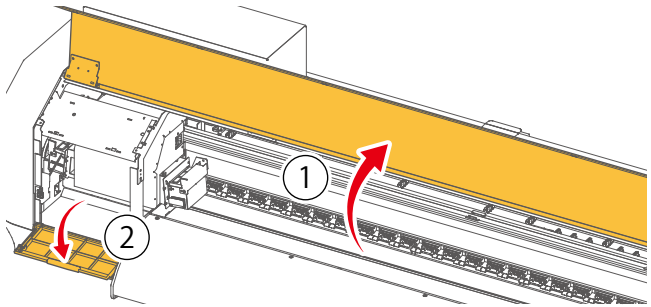
交換手順

1 保護具を着用します。
☞「保護具をつける」P.144

2 本製品を CR メンテナンス状態にします。
☞「1.CR メンテナンス状態にする」P.196

3 以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。

- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー L

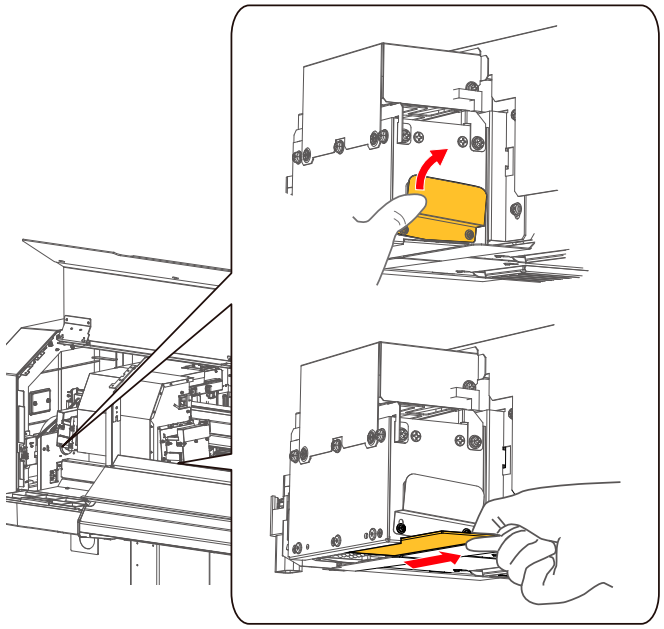


4 ガラスを確認し、欠けや割れなどがあれば交換します。

1. 排気カバーの右側のネジを支点にして、排気カバーを上にスライドします。
2. UV-LED ランプ下側のガラスを右側にスライドして取り外します。
3. ガラスに欠け、割れ、落ちない汚れがあるか確認します。
4. 新しいガラスを UV-LED ランプに取り付けます。ガラスをしっかりと奥まで挿入し、排気カバーを元のように下げます。

Important !

ガラスの取り付け忘れや排気カバーの戻し忘れがないように注意してください。UV-LED ランプの故障の原因となります。



5 メンテナンスカバー L を閉じます。

6 フロントカバーを閉じます。

7 [CR メンテナンス シュウリョウ -> Enter] が表示されていることを確認し、[Enter] キーをタップします。

- [CR メンテナンス カイシ -> Enter] が表示されます。
- [Home] キーをタップして、手順を終了します。

排気ファンフィルターの交換、清掃

排気ファンフィルターは、製品内部で発生するインクミストを受ける部品です。フィルターは定期的に交換してください。
交換せずに使用しつづけると、製品本体や印刷品質に悪影響がでる場合があります。
交換、清掃時期の目安：

- フィルターのインク汚れが、カバーのかげになっている部分にも広がっているとき（使用頻度によりますので定期的に確認してください）。

必要なもの

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、ゴーグル、マスクなどの保護具
- 交換用フィルター
- ペーパータオルまたは柔らかい布
- エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）

注意

UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

手順

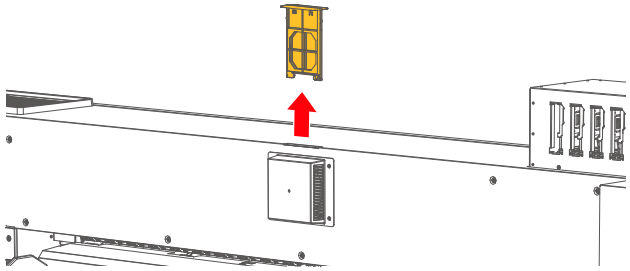
1. 保護具を着用します。
☞「保護具をつける」P.144

2. プリンターが動作していないことを確認します。

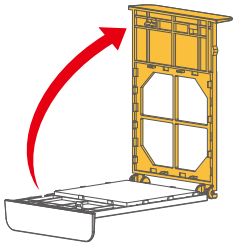
3 排気ファンから排気ファンフィルターを取り外します。

Important !

排気ファンフィルターを取り外すときに、インクが垂れ落ちないよう注意してください。

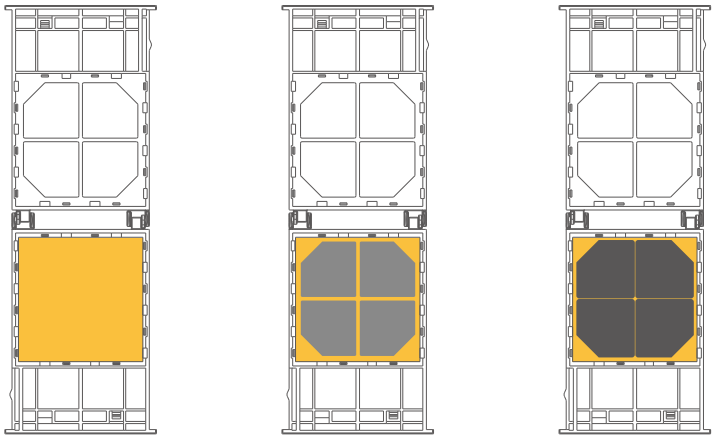


4 排気ファンフィルターのカバーを開きます。



5 フィルターのインク汚れを確認します。

- カバーのかげになっている部分にインク汚れが広がっていたら、交換時期です。

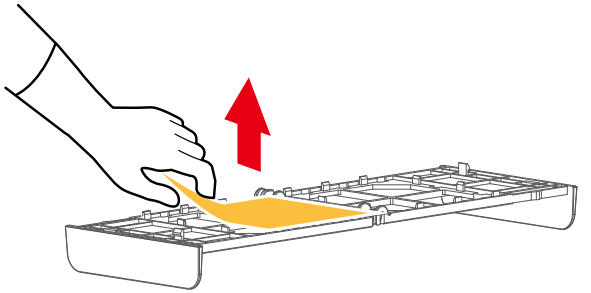


6 交換時期の場合はフィルターを交換します。

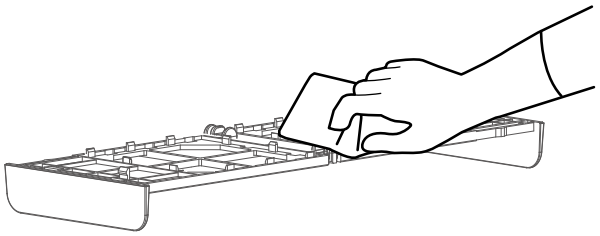
- 汚れたフィルターを取り外します。

Important!

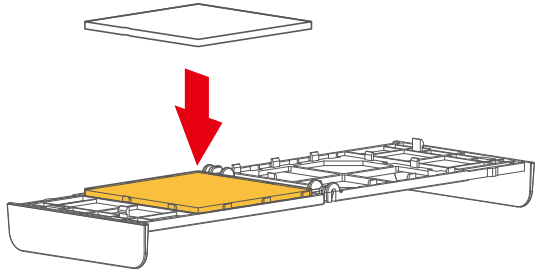
- フィルターを取り外すときに、インクが垂れ落ちないよう注意してください。
- 使用済みのフィルターは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



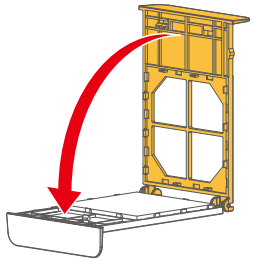
7 エタノールを少量染み込ませたペーパータオルまたは柔らかい布で、排気ファンフィルターカバーに付着している汚れを取ります。



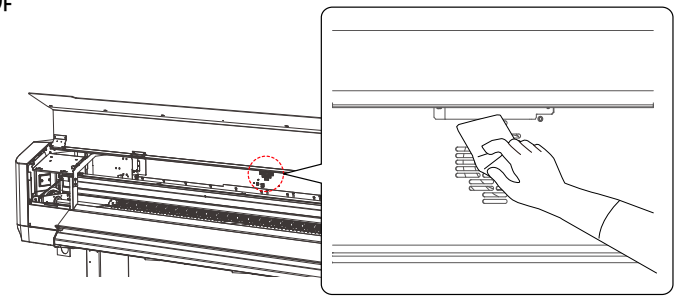
8 新しいフィルターを排気ファンフィルターカバーに取り付けます。



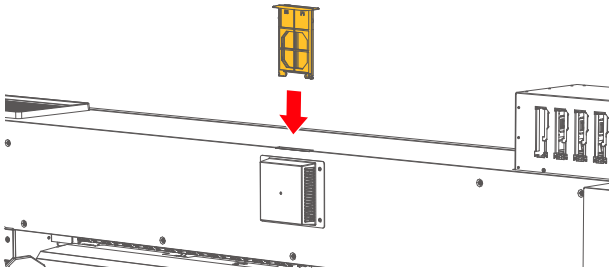
9 排気ファンフィルターのカバーを閉じます。



10 フィルターを交換した場合は、フロントカバーを開き、排気ファンの内側を清掃します。



11 フロントカバーを閉じ、排気ファンに排気ファンフィルターを取り付けます。



長期間使用しない場合 (長期保存)

長期間（最長 1 か月）使用しない場合は、以下の手順に従って、電源をオフにしてください。

1. デイリーメンテナンスを実施する

1 デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。
☞「Step1. デイリーメンテナンスの準備」P.172

2 デイリーメンテナンス状態にします。
☞「1. デイリーメンテナンス状態にする」P.189

3 以下を清掃します。
- デイリーメンテナンスの対象箇所
  ☞「Step3. デイリーメンテナンスを行う」P.174
- カラーセンサー、内部の清掃
  ☞「カラーセンサーの清掃」P.191 、「内部の清掃」P.193

4 清掃後、フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じ、[Enter] キーをタップします。
☞「Step4. デイリーメンテナンスを終了する」P.183

2. インクを排出する

1 インク排出メニューにアクセスします。
- [Home] キーをタップすると、[メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーでメニューをスクロールし、[メニュー 3 メンテナンス] を選択します。
- キーをタップ すると、[メンテナンス 1　クリーニング] が表示されます。
- キーをタップし、[メンテナンス 3　インクハイシュツ] を選択します。

2 **▶ キーをタップします。**

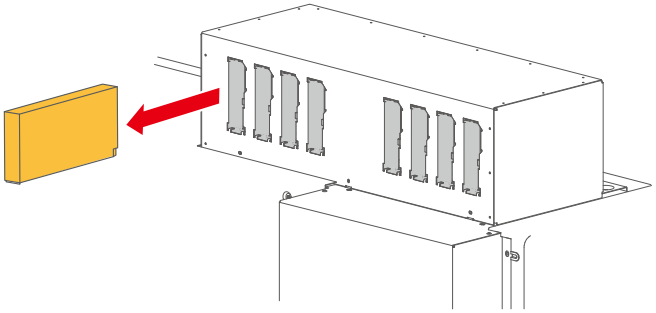
- [インクハイシュツカイシ　->　Enter] が表示されたら、[Enter] キーをタップします。

3 **[ハイエキ ヲ ステテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ] が表示されたら、容器に廃インクを移し替えます。**

- [Enter] キーをタップします。
☞「廃液タンクを空にする」P.167

4 **[カートリッジヲヌイテクダサイ] が表示されたら、すべてのインクカートリッジ（インクパック）をインクスロットから取り外します。**

- [インクハイシュツチュウ ＊＊%] が表示され、インクの排出を開始します。
- [カートリッジ　ナシ ×××××××] が表示されたら、容器に廃インクを移し替えてください。
☞「廃液タンクを空にする」P.167
- インクカートリッジは、元の梱包箱等に入れ、遮光して保管してください。インクパックは、大容量パックアダプターから取り外した後、元の梱包箱等に入れ、大容量パックアダプターと一緒に遮光して保管してください。



5 **インク排出を終了します。**

3. 電源をオフにする

1 **コントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押します。**

- 本製品が電源オフ動作を開始します。

輸送・移動

移動の方法

本製品の移動方法について説明します。

Important !!

- プリンターは水平の状態を保ったまま移動させてください。
- プリンターを傾けたりしないでください。内部のインクが漏れる恐れがあります。また移動後の正常動作が保証できません。
- プリンターを移動するときは、廃液タンクを空にしてください。移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。

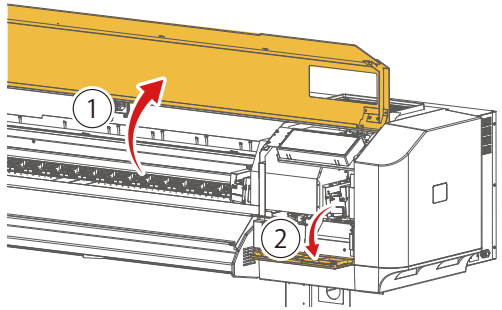
移動前の手順

1 電源をオフにします。
☞「電源をオフにする」P.47

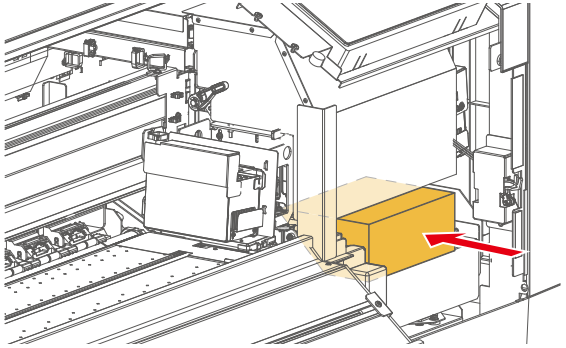
2 廃液タンクを空にします。
☞「廃液タンクを空にする」P.167

3 電源コードなどのケーブル類をすべて取り外します。

4 以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。
- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー R



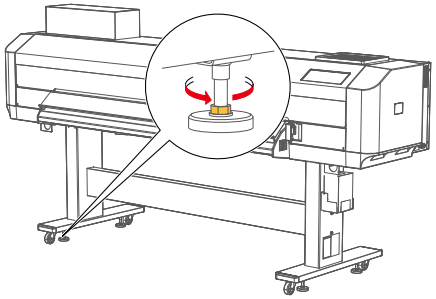
5 キャリッジの下に保護材を取り付けます。



6 メンテナンスカバー R を閉じます。

7 フロントカバーを閉じます。

8 専用スタンドのアジャスター（4 箇所）を、反時計回りの方向に回転させて緩めます。



9 本製品を移動します。

移動後の手順

1 設置に適した場所を確認します。
☞スタートアップガイド「設置前の確認」

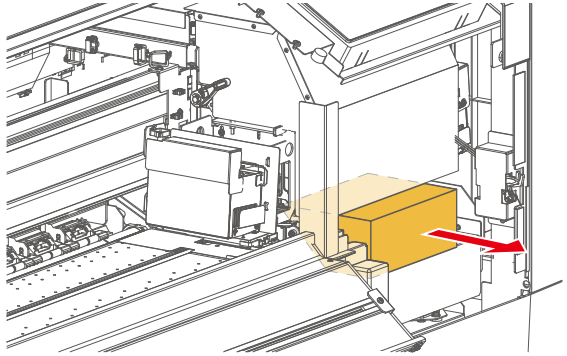
2 設置場所に移動後、製品を固定します。

3 以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。
- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー R

4 キャリッジ下の保護材を取り外します。

Note

取り外した保護材は保管してください。プリンターを移動または運搬するときに再利用します。



5 メンテナンスカバー R を閉じます。

6 フロントカバーを閉じます。

7 電源コードなどのケーブル類を取り付けます。

8 ノズルチェックを行い、目詰まりがないかを確認します。
☞「ノズルチェックをする」P.61

9 画質調整を実施します。
☞「画質調整（調整印刷）」P.72

輸送の方法

本製品を輸送する場合は、振動や衝撃から製品本体を守るために、保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ梱包状態にする必要があります。

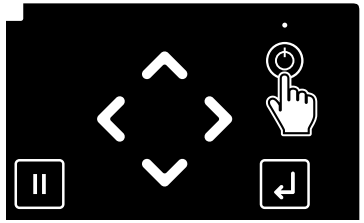
Important !!

本製品を輸送する場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

インク排出後の初期充てんの方法

1 コントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押します。

- 各キーが点灯します。
- プリンターが初期動作を開始します。



2 [インクジュウテンカイシ　　->　Enter] が表示されたら、廃液タンクが空またはタンク内の廃液が少量であることを確認して、[Enter] キーをタップします。

3 [ハイエキヲステテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] が表示されたら、容器に廃インクを移し替えてください。

☞「廃液タンクを空にする」P.167

- 処理後、[Enter] キーをタップします。

4 [インクカートリッジヲセット] が表示されたら、インクをかくはんし、インクスロットにさし込みます。

Important !!

必ず新品のインクパックを使用してください。インク残量が不十分なインクパックを使用すると、初期充てん中にインクエンドとなり、再充てんによるインク損失が発生します。

5 初期充てんを開始します。

☞「インクカートリッジをお使いの場合の手順」P.223
☞「大容量パックアダプターをお使いの場合の手順」P.224

インクカートリッジをお使いの場合の手順

1 新しいインクカートリッジを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

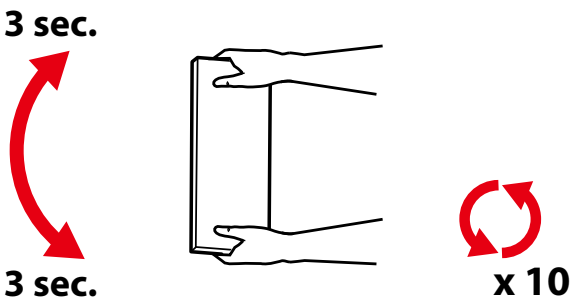
- 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次に、差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- これを 10 回繰り返します。※ Wh のみ 20 回

Important !!

必ず新品のインクカートリッジを使用してください。

Note

バーニッシュはかくはんせずにご使用いただけます。

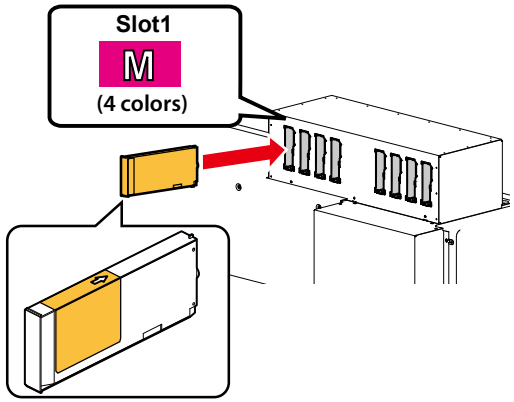


2 新しいインクカートリッジを取り付けます。

- 本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください（右のイラストは 4 色設定の例です）。
- 矢印マークを上にしてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。

Important !!

インクは、輸送前と同じ色数の組み合わせで元のインクスロットにセットしてください。



大容量パックアダプターをお使いの場合の手順

1 新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

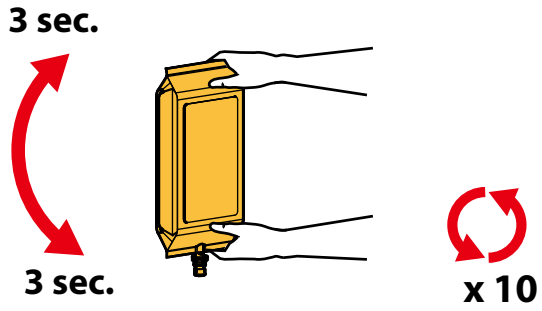
- 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- これを 10 回繰り返します。※ Wh のみ 20 回

Important !!

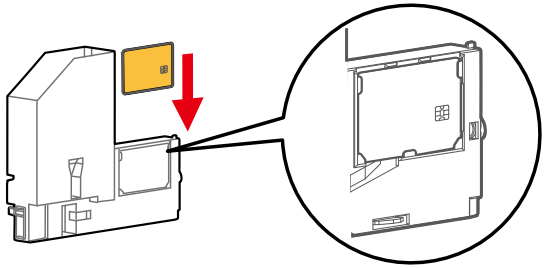
必ず新品のインクパックを使用してください。

Note

バーニッシュインクはかくはんせずにご使用いただけます。

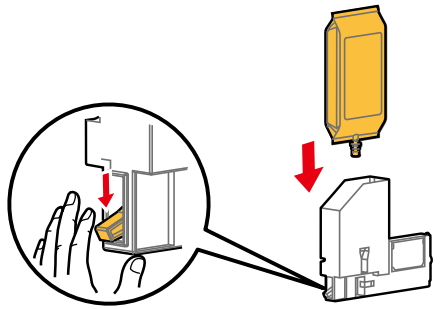


2 大容量パックアダプターのツメにスマートチップカードをスライドして取り付けます。

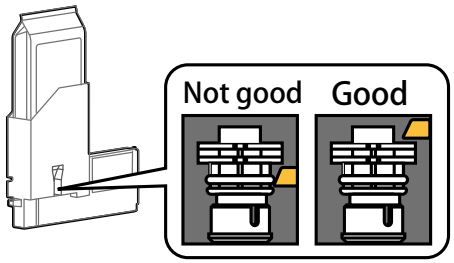


3 大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、インクパックを挿入します。

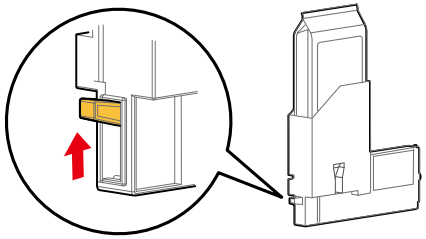
- インクパックは奥までしっかりと挿入してください。



4 インクパックが奥まで差し込まれ、ロックしていることを確認します。



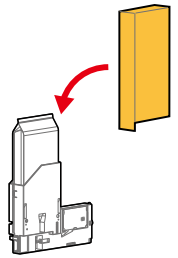
5 大容量パックアダプターのロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。



6 遮光カバーを取り付けます。

Note

遮光カバーは大容量パックアダプターの内側に入るように取り付けてください。

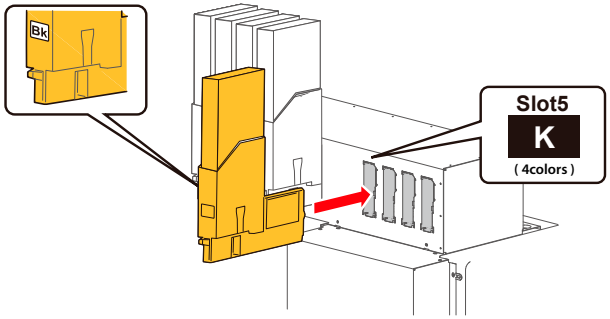


7 大容量パックアダプターを差し込みます。

- 本製品のラベルと大容量パックアダプターの色を合わせてください（右のイラストは４色設定の例です）。
- 奥までしっかり差し込んでください。

Important !!

インクは、輸送前と同じ色数の組み合わせで元のインクスロットにセットしてください。



インクをセットした後の手順

1 [インクジュウテンチュウ＊＊%] が表示されます。

- インク充てんを開始します。

注意

インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- 製品の電源をオフにする
- 製品の電源コードを抜く
- フロントカバーを開ける
- メンテナンスカバーを開ける
- 加圧アームを上げる

2 インク充てんが完了すると、[メディアナシ] が表示されます。

- インク充てんが完了しました。

Important !!

初期充てん終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

- 印刷した線がかすれる
- 部分的に印刷されない

このような場合には、「クリーニング」P.126 に従って、微量充てんを行ってから、印刷結果を確認してください。
微量充てんを行っても印刷結果に変化がない場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。
それでも印刷結果に変化がない場合は、「お問い合わせ先」P.260 でご連絡ください。

困った時は

メッセージとエラーメッセージ　228

トラブルシューティング　239

メッセージとエラーメッセージ

ここでは、本製品の正常作業時およびエラー発生時に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

動作状態表示

本製品が正常に動作している場合の表示内容について説明します。

本製品が正常に動作している場合、プリンターコントロールパネルには以下の各動作状態が表示されます。

表示	内容
アクティベーション ヲ　シテクダサイ	アクティベーションが未実行状態です。アクティベーションを行ってください。詳細はスタートアップガイドを参照してください。
F／W　ヲ　コウシン　シテクﾀﾞサイ >>　Controller　F／W　<<	ファームウェアアップデートには MUTOH Status Monitor(MSM) が必要です。アップデート方法については、MUTOH Status Monitor 取扱説明書の「ファームウェア更新」を参照してください。
インサツﾃﾞキマス PG：Low　　W：XXXXmm	待機中。（メディアはセットされています。）
ﾒﾃﾞｨｱ　ナシ PG：Low	待機中。（メディアはセットされていません。） ☞「メディアのセット方法」P.49
ﾃﾞｰﾀｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ PG：Low　　W：XXXXmm	データ受信中です。
ﾃﾞｰﾀｶｲｾｷﾁｭｳ PG：Low　　W：XXXXmm	データ解析中です。
ﾃﾞｰﾀｲﾝｻﾂﾁｭｳ PG：Low　　W：XXXXmm	印刷中です。
インサツノコリ：　　XXX．Xm	現在印刷しているデータについて、まだ印刷されていないデータの長さをメートルで表示します。
ノコリｼﾞｶﾝ：　　XXXX フン	現在印刷しているデータについて、印刷にかかる残り時間を分で表示します。
ロールシノコリ：　　XXXm	現在セットしているロールメディアの残りの長さをメートルで表示します。

表示	内容
インサツ　イチジ テイシチュウ インサツキャンセル　　->Enter	印刷を一時停止中です。 • [Cancel] キーをタップすると、印刷を再開します。 • [Enter] キーをタップすると、印刷を停止します。
キャンセルチュウ PG：Low　　W：****mm	印刷を中止しています。
フロントフィード チュウ	メディアを前側に送り出しています。
バ ックフィード チュウ	メディアを巻き戻しています。
クリーニング チュウ　　**%	クリーニング中です。しばらくお待ちください。
インクジ ュウテンチュウ　　**%	インク充てん中です。しばらくお待ちください。
インクハイシュツチュウ　　**%	インク排出中です。 しばらくお待ちください。
デ イリーメンテナンス　シテクダ サイ	前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過しました。 デイリーメンテナンスをしてください。 ☞「各部の清掃」P.189
ヘッド センジ ョウチュウ	初期洗浄で洗浄液の充てんおよび排出を行っています。 または、ヘッド洗浄処理で、プリントヘッドの洗浄中です。 しばらくお待ちください。
ユーザ ：　　Type ** OK?	メディアイニシャル中です。 しばらくお待ちください。 （**は設定したユーザー定義を表示します。）
メデ ィア　イニシャル　チュウ	
ゲ ンテンイチ　ニ　イド ウチュウ	原点設定メニューで、プリントヘッドが印刷開始位置に移動中です。 しばらくお待ちください。
イチカクニン シュウリョウ　　->Enter	プリントヘッドが印刷開始位置に移動しました。 位置を確認し、[Enter] キーをタップしてください。
デ ンゲ ンシャダ ンチュウ	プリンターの電源をオフしています。しばらくお待ちください。
インクカートリッジ　ヲ　セット	インク充てん中です。インクカートリッジ（インクパック）を取り付けてください。

表示	内容
センｼﾞｮウカートリッジ　ヲ　セット	ヘッド洗浄処理中です。洗浄カートリッジを取り付けてください。
カートリッジ　ヲ　ヌイテクﾀﾞｻｲ	ヘッド洗浄処理中またはインク排出処理中です。 インクカートリッジを取り外してください。
ハイエキヲステテ、 Ｅｎｔｅｒキーヲ　タｯﾌﾟシテクﾀﾞｻｲ	初期充填中に廃液タンクが満タンになりました。 廃液タンクを空にして、[Enter] キーをタップしてください。
Ｓ/Ｃリードﾞチュウ	スマートチップカードの読み取り中です。
＊＊＊　リモート　モードﾞ　＊＊＊ シュウリョウ　　ー>Ｅｎｔｅｒ	MSM などでリモートパネルモードを実行中です。 リモートパネルモード中は、プリンターコントロールパネルからの操作はできません。 [Enter] キーをタップすると、リモートパネルモードを強制終了します。
ロールシザﾞンリョウ　エラー	メディアの残量カウントがゼロになりました。（印刷を停止します。）
ロールシ　ニアエンドﾞ：　＊ｍ	メディアの残量カウントがもうすぐゼロになります。メディアの残量は＊ｍです。
ジｭミョウカクニン［ポﾟンプﾟ＊］ カクニン　　ー>Ｅｎｔｅｒ	ポンプモーターの寿命が近づいています。（動作を継続します。） お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 「お問い合わせ先」P.260
ジｭミョウカクニン［ＣＲ モータ］ カクニン　　ー>Ｅｎｔｅｒ	CR モーターの寿命が近づいています。（動作を継続します。） お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 「お問い合わせ先」P.260
ジｭミョウカクニン［ＰＦ モータ］ カクニン　　ー>Ｅｎｔｅｒ	PF モーターの寿命が近づいています。（動作を継続します。） お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 「お問い合わせ先」P.260
ジｭミョウカクニン［ＵＶ ランプﾟ＊］ カクニン　　ー>Ｅｎｔｅｒ	UV ランプの寿命が近づいています。（動作を継続します。） お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 「お問い合わせ先」P.260

表示	内容
ｼﾞｭﾐｮｳｶｸﾆﾝ［C ﾎﾟﾝﾌﾟ］ カクニン　　ー>Ｅｎｔｅｒ	循環ポンプの寿命が近づいています。（動作を継続します。） お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 ☞「お問い合わせ先」P.260
インクｼﾞｭﾝｶﾝﾁｭｳ　　＊＊%	プリンター内でインクが循環中です。

メッセージ型エラー表示と対処方法

本製品の動作中に、メッセージ型エラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。
メッセージ型エラーは、本製品の動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。
メッセージ型エラーが発生した場合、本製品はプリンターコントロールパネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。

表示	対処方法
カバ ーオープ ン	カバー（フロントカバー、メンテナンスカバー R、メンテナンスカバー L）のいずれか、またはすべてが開いています。 カバーを閉じてください。
プレッシャーローラーヲ サゲ テクダ サイ	加圧アームが上がっています。加圧アームを下ろしてください。
メデ ィアヲセットシテクダ サイ	メディアがセットされていません。メディアをセットしてください。 ☞「メディアのセット方法」P.49
メデ ィアニンシキエラー	メディア認識に失敗しました。（動作を停止します） メディアをセットし直してください。
メデ ィアシャコウエラー	メディアが斜行しました。（動作を停止します） メディアをセットし直してください。
メデ ィアカットエラー	メディアがカットできませんでした。（動作を停止します） メディアをセットし直してください。
ロールシエンド	メディアがなくなりました。（動作を停止します） 新しいメディアをセットしてください。 ☞「メディアのセット方法」P.49
ヘッドタカサヲ＊＊＊ニシテクダ サイ PG：＊＊＊　　W：XXXX mm	印刷データで指定されているヘッド高さと、実際のヘッド高さが異なっています。表示されたヘッド高さに変更してください。 ☞「ヘッド高さについて」P.91
［＊＊＊＊＊＊＊＊］インク　ナシ	インクがなくなりました。（動作を停止します） 新しいインクカートリッジ（インクパック）に交換してください。 ☞「インクの交換」P.160

表示	対処方法
インク　ナシ　■■■■□□□□	インクがなくなりました（左図の場合の対象はスロット 6, スロット 7）。（動作を停止します。） インクカートリッジを抜いて、新しいインクカートリッジ (インクパック）に交換し、かくはんをしてからスロットに差し込んでください。新しいスマートチップカードに交換してください。 （インク量設定が「オン」の場合の表示） ☞「インクの交換」P.160
［＊＊＊＊］カートリッジ　ナシ	インクカートリッジが挿入されていません。（動作を停止します） インクカートリッジを挿入してください。
カートリッジ　ナシ　××□■■□■■	インクカートリッジが挿入されていません(左図の場合の対象はスロット 1, スロット 2）。 インクカートリッジを挿入してください。 （インク量設定が「オン」の場合の表示）
［＊＊＊＊］ミジ゛ュウテン	インクが充てんされていません。初期充てんを行ってください。 ☞「インク排出後の初期充てんの方法」P.222
ハイエキタンク　マンタン	廃液タンクが満タンになりました。（動作を停止します） ただちに廃液を容器に移してください。 ☞「廃液タンクを空にする」P.167
［＊＊＊＊］Ｓ / Ｃリード゛エラー	スマートチップカードの読み取りに失敗しました。スマートチップカードを挿入し直してください。
［＊＊＊＊］Ｓ / Ｃカラー　エラー	インクカートリッジ（インクパック）が、間違ったインクカートリッジスロットに取り付けられています。 正しいインクカートリッジスロットに取り付けてください。
［＊＊＊＊］Ｓ / Ｃインク　エラー	本製品で使用できない種類のインクです。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。 ☞「お問い合わせ先」P.260
［＊＊＊＊］Ｓ / Ｃコード゛　エラー	適切でないインクカートリッジが挿入されています。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。 ☞「お問い合わせ先」P.260
［＊＊＊＊］ハソンシタ　チップ゜	スマートチップカードが破損しています。新しいインクカートリッジに交換してください。

表示	対処方法
［＊＊＊＊］インクスクナイ PG：Low　W：1625mm	インクが残り少なくなりました。（動作は継続します。） 交換用インクを準備してください。 （インク量設定が「オフ」の場合の表示）
インクスクナイ ■■■■■■■■ PG：Low　W：1625mm	インクが残り少なくなりました（左図の場合、対象はスロット 3，スロット 4）。（動作は継続します。） 交換用インクを準備してください。 （インク量設定が「オン」の場合の表示）
W インク　カクハン　スル ■■■■■■　CAUTION　■■■■■ W インク　カクハン　スル	前回のインクカートリッジのかくはんから一定時間が経過しました。 ホワイト (W) インクをかくはんしてください。 ☞「インクをかくはんする」P.145
KMCY インク　カクハン　スル ■■■■■■　CAUTION　■■■■■ KMCY インク　カクハン　スル	前回のインクカートリッジのかくはんから一定時間が経過しました。 ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）のインクをかくはんしてください。 ☞「インクをかくはんする」P.145
KMCYW インク　カクハン　スル ■■■■■■　CAUTION　■■■■■ KMCYW インク　カクハン　スル	前回のインクカートリッジのかくはんから一定時間が経過しました。 ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）、ホワイト (W) のインクをかくはんしてください。 ☞「インクをかくはんする」P.145
ALL インク　カクハン　スル ■■■■■■　CAUTION　■■■■■ ALL インク　カクハン　スル	前回のインクカートリッジのかくはんから一定時間が経過しました。 ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）のインクをかくはんしてください。 ☞「インクをかくはんする」P.145
インサツ　ゴ　カクハン	前回のインクカートリッジのかくはんから一定時間が経過しました。 印刷終了後、コントロールパネルの表示に従ってインクをかくはんしてください。 ☞「インクをかくはんする」P.145 **Important !!** 印刷中は、カートリッジを抜かないでください。

表示	対処方法
［*］　ﾌﾟﾗｸﾞ　コウカン	大容量パックアダプターを一定回数使用しました。 プラグの交換をしてください。
キノウ　ハ　ムコウﾃﾞｽ インサツエリア　フソク	印刷可能領域の幅が不足しているため、印刷が行われません。 印刷可能領域の幅は、セットしているメディアのメディア幅を基準に、原点設定の CR 方向の変更量と、サイドマージンの変更量（左右合計）によって増減します。 ☞「メディアハバ」P.111 、「ゲンテンセッテイ」P.112 、「サイドマージン」P.111 必要な印刷可能領域の幅は機能ごとに異なります。適切な幅になるように調整してください。 ☞「画質調整（調整印刷）」P.72　（550 mm 以上） ☞「メディア送り補正」P.78　（400 mm 以上） ☞「ヘッド調整」P.68　（550 mm 以上） ☞「インサツ」P.131 、「カンイ　インサツ」P.131　（400 mm 以上）
キノウ　ハ　ムコウﾃﾞｽ ﾒﾃﾞｨｱケンシュツオフ	メディア検出が「オフ」に設定されているため、「ロール紙残量管理メニュー」が表示できません。 ☞「メディアケンシュツ」P.111 メディア検出を「Top&Width」、または「Width」に設定してから、「メニュー 6　ロールシザンリョウカンリ」メニューを選択してください。 ☞「ロール紙残量管理メニュー」P.131
キノウ　ハ　ムコウﾃﾞｽ ﾒﾃﾞｨｱ　ミセット	メディアがセットされていません。 メディアをセットしてください。 ☞「メディアのセット方法」P.49
キノウ　ハ　ムコウﾃﾞｽ ロールシナｶﾞｻセッテイ　オフ	「ロール紙長さ設定」が「オフ」に設定されているため、印刷が行われません。 ☞「ロールシナガサセッテイ」P.132 「ロール紙長さ設定」を設定してから、印刷メニューまたは簡易印刷メニューを選択してください。 ☞「インサツ」P.131 、「カンイ　インサツ」P.131

表示	対処方法
キノウ　ハ　ムコウデ゛ス ハイシモード　マキトリ	排紙モードが「マキトリ」に設定されているため、読み取りできません。 ☞「ハイシモード」P.111 排紙モードを「オフ」を設定してから、読み取りメニューを選択してください。 ☞「ヨミトリ」P.132
ユニット コショウ ジ゛ド゛ウノズ゛ルチェック オフ	吐出検知ユニットが故障しました。 印刷はできますが、自動ノズルチェック機能を使用できません。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。
ジ゛ド゛ウノズ゛ルチェック ノズ゛ルヌケ ガ゛ アリマス	自動ノズルチェックでノズル抜けを検出し、オートクリーニングを実行しても、ノズル抜けを解消できませんでした。 手動でノズルチェックとクリーニングを行ってください。 ☞「ノズルチェックとクリーニング」P.61
インクハユウコウキゲンナイデスカ? カクニン –> Ｅｎｔｅｒ	インクカートリッジ（インクパック）のラベルに記載されているインクの有効期限（Use Before）を確認してください。 有効期限の確認またはインクカートリッジ（インクパック）の交換が終わったら、 Enter キーをタップしてください。
［＊＊＊＊］インク キゲ゛ンギ゛レ	インクカートリッジ（インクパック）の使用期限が過ぎている場合に表示されます。 期限が有効なインクに交換してください。

Note

- [ヘッドタカサヲ＊＊＊ニシテクダ゛サイ] の [＊＊＊] には、High/Middle/Low のいずれかが入ります。
- エラー表示の［＊＊＊＊］は警告対象のインクカートリッジを示します。
- [インクナシ] または [カートリッジナシ] が同時に発生したときは、[カートリッジナシ] 表示を優先します。

表示	対処方法
テイオン ケイコク	プリンターが低温状態です。室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。 ☞「本製品の仕様」P.253
コウオン ケイコク	プリンターが高温状態です。室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。 ☞「本製品の仕様」P.253

スマートチップリカバリー

プリンターコントロールパネルに以下のメッセージが表示された場合、スマートチップカードのスマートチップ破損などの不具合が発生している可能性があります。

以下のエラーメッセージが表示された場合、正常なスマートチップカードが挿入されていることを確認したうえで、スマートチップリカバリーを実行すると正常に印刷できるようになります。

スマートチップリカバリーを実行するには、表示されたメッセージに応じて、操作を行ってください。

表示	内容
［＊＊＊＊＊］ S ／ C ニンシキ　エラー	スマートチップリカバリーが必要なスマートチップカードが挿入されている可能性があります。対象のスマートチップカードをさし直してください。 それでも正常に読み取れない場合は、新しいスマートチップカードを挿入してください。 • スマートチップカードをさし直して、新たに「［＊＊］ カラーカクニン　カクニン−>Ｅｎｔｅｒ」が表示された場合は、「［＊＊］ カラーカクニン　カクニン−>Ｅｎｔｅｒ」の内容に従って操作してください。
［＊＊］ カラーカクニン カクニン　−> Ｅｎｔｅｒ	スマートチップリカバリーが必要なスマートチップカードが挿入されている可能性があります。正常なスマートチップカードが挿入されているか、ご確認ください。 • 間違ったスマートチップカードが挿入されている場合、正しいスマートチップカードを挿入し直してください。 • 正しいスマートチップカードが挿入されている場合、[Enter] キーをタップしてください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続されます。

Note

• エラー表示の［＊］は警告対象のインクカートリッジを示します。
• スマートチップリカバリー実行中はインクステータスメニューにおいて、対象のインクが点滅表示します。
☞「インク」P.128

再起動が必要なエラー

再起動が必要なエラーとは、本製品が動作する上で次のような致命的な障害が発生した場合に表示されます。

- 駆動の妨げとなる障害物が発生した場合
- 電気回路（基板、モーター、センサー等）が故障した場合
- 制御プログラム上の異常が発生した場合

再起動が必要なエラーが発生した場合、本製品は次の動作を行った後に動作を停止します。

1. 駆動系の電源を自動的に遮断する。
2. プリンターコントロールパネルのランプが全て点滅し、ブザーが断続的に鳴り続ける。
3. プリンターコントロールパネルにエラーメッセージが表示される。

プリンターコントロールパネルのいずれかのキーをタップすると、ブザー音は鳴り止みます。
再起動が必要なエラーは、エラーの原因を取り除き、本製品を再起動すると復旧します。
もし同じエラーメッセージが再び表示された場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
連絡の際には、かならずエラーメッセージのコード番号をお伝えください。

表示	対処方法
Emergency Mode：E＊＊＊	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。 1. 交換した部品が正しく取り付けられているか確認してください。 2. 電源ボタンをオフします。しばらく待ってから電源ボタンをオンにして、本製品を再起動してください。
Emergency Mode：AC	本製品を起動中に、電源が瞬間的に遮断されました。 電源ボタンをオフします。しばらく待ってから電源ボタンをオンにして、本製品を再起動してください。
Emergency Mode：CPU	CPU エラーが発生しました。 電源ボタンをオフします。しばらく待ってから電源ボタンをオンにして、本製品を再起動してください。

Note

エラーメッセージの「＊＊＊」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。

トラブルシューティング

ここでは、エラー表示しない製品の異常および故障とその時に考えられる要因とその対策について説明します。

Note

- プリンターの状態やエラー情報は MSM のステータス情報から確認できます。
  プリンターが正常に動かない場合は、MSM をご確認ください。
- MSM は最新のバージョンをお使いください。
  MSM のヘルプのバージョン情報で、お使いの MSM より新しいバージョンがあるかを確認できます。
  最新バージョンがある場合は、MUTOH Club からダウンロードしてください。
  ☞ MUTOH Status Monitor 取扱説明書

設置・導入時のトラブル

症状	要因と対策
インクの初期充てんができない	**フロントカバーが開いていたり、メンテナンスカバーが開いていませんか？** • フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じてください。
	加圧アームが上がっていませんか？ • 加圧アームを下げてください。
	インクカートリッジは奥まで確実に差し込まれていますか？ • インクカートリッジを奥まで確実に差し込んでください。 ☞「インクの交換」P.160
初期充てんしてもインクが出ない	**インクカートリッジ（インクパック）は冷えていませんか？** • 最低でも常温で 3 時間以上放置した後、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ☞「ヘッドクリーニング」P.185
	初期充てん中に電源をオフしませんでしたか？ • 再度電源をオンにし、初期充てんをやりなおしてください。

症状	要因と対策
初期充てん後にノズルの目詰まりが発生する	**クリーニングを行ってみましたか？** • クリーニングを行ってから、印刷結果を確認してください。 ☞「ヘッドクリーニング」P.185 • クリーニングを行っても印刷結果に変化がない場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。 • それでも印刷結果に変化がない場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。 ☞「お問い合わせ先」P.260
MSM や RIP からプリンターに接続できない	**イーサネットケーブルはきちんと接続していますか？** • イーサネットケーブルをきちんと接続してください。
	ネットワーク設定は正しく設定されていますか？ • ネットワーク設定を正しく設定してください。
	プリンターのネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせていますか？ • 製品のネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせてください。 ☞「コンピューターとの接続」P.33 、「ショキセッテイ」P.118

動作に関するトラブル

症状	要因と対策
電源投入後まったく動かない / メディアをセットしても動かない	**電源コードはつながっていますか？** • 電源コードをつないでください。
	AC 電源は規定の電圧になっていますか？ • 他のコンセントに接続してください。
	フロントカバーが開いていたり、メンテナンスカバーが開いていませんか？ • フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じてください。
	加圧アームが上がっていませんか？ • 加圧アームを下げてください。
	メディアを正しくセットしていますか？ • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアのセット方法」P.49
	インクカートリッジは挿入されていますか？ • インクカートリッジを挿入してください。
	プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？ • プリンターの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。 ☞**スタートアップガイド「設置前の確認」**
	MSM にエラーが表示されていませんか？ • MSM のステータス情報を確認してください。

メディアに関するトラブル

症状	要因と対策
メディアイニシャル中にメディアが外れる、破れる、シワになる	メディアを正しくセットしていますか？ • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアのセット方法」P.49
	加圧ローラーにメディアの切れ端等の異物が付着していませんか？ • 加圧ローラーを清掃してください。 ☞「内部の清掃」P.193
	プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？ • プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。 ☞スタートアップガイド「設置前の確認」
	メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？ • メディアの両端にエッジホルダーをセットしてください。 • 吸着ファンの設定を確認してください。 ☞「5. メディアセット後の手順」P.59 、「キュウチャクファン」P.110
	折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアを使用していませんか？ • メディアを交換してください。
	メディアへの加圧力は適切ですか？ • 加圧アームのスライドロックレバーを使って、個別に加圧力を弱めたりキャンセルしてみてください。 ☞「加圧アームの加圧力を個別に弱める / キャンセルする」P.94

Note

詰まったり、破れたりしたメディアは、「メディアが詰まった場合」P.249 に従って取り除いてください。

症状	要因と対策
メディアイニシャルでメディアを正しく認識できない	**メディアを正しくセットしていますか？** • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアのセット方法」P.49
	メディアを斜めにセットしていませんか？ • メディアを真っ直ぐにセットしてください。 ☞「メディアのセット方法」P.49
	プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？ • プリンターの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。 ☞**スタートアップガイド「設置前の確認」**
	一度印刷したメディアを再度使用していませんか？ • 新品のメディアを使用してください。
メディア詰まりが頻発する	**プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？** • プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。 ☞**スタートアップガイド「設置前の確認」**
	メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？ • メディアの両端にエッジホルダーをセットしてください。 • 吸着ファンの設定を確認してください。 ☞「5. メディアセット後の手順」P.59 、「キュウチャクファン」P.110
	折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用していませんか？ • メディアを交換してください。

Note

詰まったり、破れたりしたメディアは、「メディアが詰まった場合」P.249 に従って取り除いてください。

症状	要因と対策
印刷中にメディアが斜行する	**メディアを正しくセットしていますか？** • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアのセット方法」P.49

印刷に関するトラブル

症状	要因と対策
データを送っても印刷されない	**イーサネットケーブルはきちんと接続していますか？** • イーサネットケーブルをきちんと接続してください。 ☞「コンピューターとの接続」P.33
	MSM にエラーが表示されていませんか？ • MSM のステータス情報を確認してください。
印刷中、キャリッジが右端または左端で一時的に停止する	**お使いのコンピューターのスペックは以下の通りですか？** • OS：Windows 11、Windows 10 • CPU：Intel (R) Core (TM) i5 以上 • メモリ：8G バイト以上 • ネットワーク： ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用 **Note** • 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。 • RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。
	ギガビット対応イーサネットケーブルで接続をしていますか？ • プリンターとコンピューターの接続には、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルをお使いください。 ☞「コンピューターとの接続」P.33
	MPS 機能が設定されていますか？ • MPS 機能の設定を確認してください。 ☞「MPS」P.102 • オンの場合： お使いのコンピューターのスペックや稼働状況 (CPU 負荷)、イーサネットケーブルの規格や接続状況、ネットワーク環境を確認してください。 • オフの場合： MPS 機能がオフ、または MPS 最適化が「変換しない」に設定されています。MPS 機能をオンにすることで解消する場合があります。 **Note** MPS 機能の設定は、MSM から変更できます。

症状	要因と対策
部分的に印刷が汚れたり、抜けたりする	**メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？** • メディアの両端にエッジホルダーをセットしてください。 • 吸着ファンの設定を確認してください。 ☞「5. メディアセット後の手順」P.59 、「キュウチャクファン」P.110
	メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？ • 新しいメディアに交換してください。
	プリントヘッド外周が汚れていませんか？ • プリントヘッド外周の清掃を行ってください。 ☞「2. プリントヘッド周辺の清掃」P.176
	コントロールパネルに低温または高温である旨のメッセージが表示されていませんか？ • 本製品の「環境条件」に適合しない温度環境で使用すると、インクがプリントヘッドから正常に吐出しなくなることがあります。このような場合は室温を調整し、メッセージが消去されてからプリントヘッドのクリーニングを実施してください。
印刷はするが、描く位置がおかしい / 描けないところがある	**メディアを正しくセットしていますか？** • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアのセット方法」P.49
	原点を設定していませんか？ • 原点の設定を解除するか、再設定してください。 ☞「ゲンテンセッテイ」P.112
印刷した線がにじむ	**メディアの印刷面に印刷していますか？** • メディアの印刷面を確認して正しくセットしてください。
	画質調整を行ってみましたか？ • 画質調整を行ってください。 ☞「画質調整（調整印刷）」P.72
	メディア送り補正を行ってみましたか？ • メディア送り補正を行ってください。 ☞「メディア送り補正」P.78

症状	要因と対策
印刷に白スジや黒スジが出る	**メディアを正しくセットしていますか？** • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアのセット方法」P.49
	メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？ • 新しいメディアに交換してください。
	ノズルの状態は良好ですか？ • ノズルチェックを行ってください。 • ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。 ☞「ノズルチェックとクリーニング」P.61
	画質調整を行ってみましたか？ • 画質調整を行ってください。 ☞「画質調整（調整印刷）」P.72
	メディア送り補正を行ってみましたか？ • メディア送り補正を行ってください。 ☞「メディア送り補正」P.78
印刷線がつながらない / 二重になる、 印刷結果がかすれる	**ノズルの状態は良好ですか？** • ノズルチェックを行ってください。 • ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。 ☞「ノズルチェックとクリーニング」P.61
	画質調整を行ってみましたか？ • 画質調整を行ってください。 ☞「画質調整（調整印刷）」P.72
	メディア送り補正を行ってみましたか？ • メディア送り補正を行ってください。 ☞「メディア送り補正」P.78
	インクカートリッジ（インクパック）は有効期限内ですか？ • 有効期限内のインクカートリッジ（インクパック）を使用してください。

症状	要因と対策
印刷結果の色がおかしい	**ノズルの状態は良好ですか？** • ノズルチェックを行ってください。 • ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。 ☞「ノズルチェックとクリーニング」P.61
	インクパックケースに、正しい組み合わせでインクパックとスマートチップカードが取り付けてありますか？ • インクパックとスマートチップカードの組み合わせを確認してください。 • 組み合わせが間違っている場合、ヘッド洗浄を行ったあとで、初期充てんを行ってください。
	インクのかくはんを行いましたか？ • パネルにメッセージが表示されたら、インクをかくはんしてください。 ☞「インクをかくはんする」P.145
	インクパックは有効期限内ですか？ • 有効期限内のインクカートリッジ（インクパック）を使用してください。
	カラーメンテナンスが「オフ」設定されていませんか？ • カラーメンテナンスを「通常」または「微量」に設定してください。 ☞「カラーメンテナンス」P.116
	印刷停止設定が「オフ」に設定されていませんか？ • かくはんを行わずに、印刷を行っているとインクカートリッジ（インクパック）内のインクの濃度が低下するため、印刷物に色ムラが発生することがあります。 • 印刷停止を「オン」に設定を変更し、インク排出と新品インクカートリッジ（インクパック）で初期充てんを実行してください。 ☞「印刷停止設定」P.137、「2. インクを排出する」P.216、「インク排出後の初期充てんの方法」P.222
	コントロールパネルに低温または高温である旨のメッセージが表示されていませんか？ • 本製品の「環境条件」に適合しない温度環境で使用すると、インクがプリントヘッドから正常に吐出しなくなることがあります。このような場合は室温を調整し、メッセージが消去されてからプリントヘッドのクリーニングを実施してください。

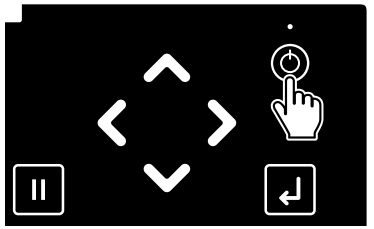
症状	要因と対策
クリーニングを行っても、ノズルの目詰まりが解消しない	**クリーニングワイパーやプリントヘッド外周が汚れていませんか？** • クリーニングワイパーやプリントヘッド外周の清掃を行ってください。 ☞「2. プリントヘッド周辺の清掃」P.176 、「3. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃」P.179
	クリーニングの設定は適切ですか？ • ヘッド選択：「オール」、もしくはノズルの目詰まりがあるヘッドを選択してください。 ☞「ヘッドクリーニングをする」P.65 • クリーニングモード選択：通常クリーニングまたは強力クリーニングを 2 ～ 3 回行ってもノズルの目詰まりが解消しない場合は、微量充てんを行ってください。 ☞「ヘッドクリーニングをする」P.65 • ノズル選択：微量充てんを行ってもノズルの目詰まりが解消しない場合は、ノズル選択で目詰まりがないノズルだけを選択して使用してください。 ☞「ノズル選択」P.119
	クリーニングワイパーやフラッシングボックス用吸収材の交換時期ではありませんか？ • クリーニングワイパーとフラッシングボックス用吸収材の状態を確認してください。 • 交換条件に該当している場合は、交換してください。 ☞「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.197 、「クリーニングワイパーの交換」P.201

メディアが詰まった場合

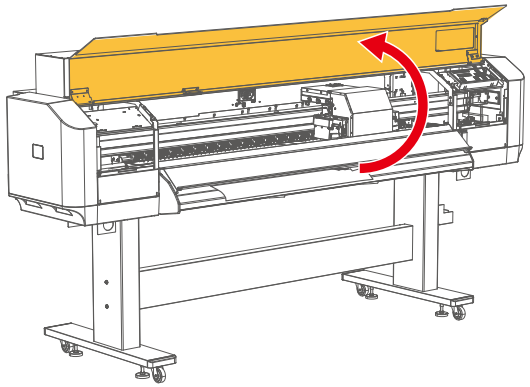
セットしたメディアが詰まった場合は、以下の手順に従って、メディアを取り除いてください。

1 本製品の電源ボタンを 2 秒以上押します。

- 本製品が電源オフ動作を開始します。
- [デンゲンシャダンチュウ] のメッセージが表示されたら、電源ボタンを離します。



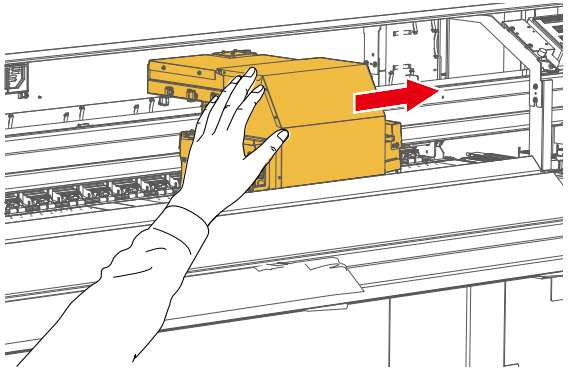
2 フロントカバーを開きます。



3 キャリッジをメディア上から右側へ移動させます。

Important !!

ヘッド高さが Low、または Middle の場合は、High に切り替えてから移動させてください。
移動後は、Low、または Middle に戻してください。
☞「ヘッド高さについて」P.91

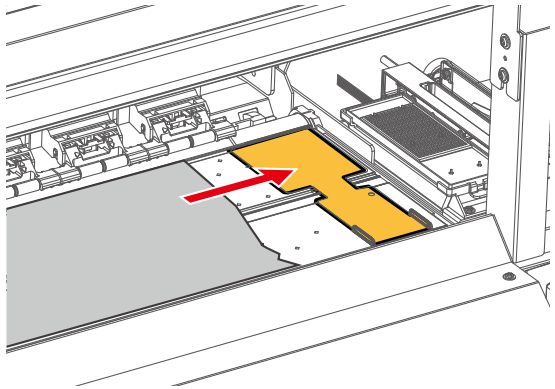


4 エッジホルダーをメディアから取り外します。

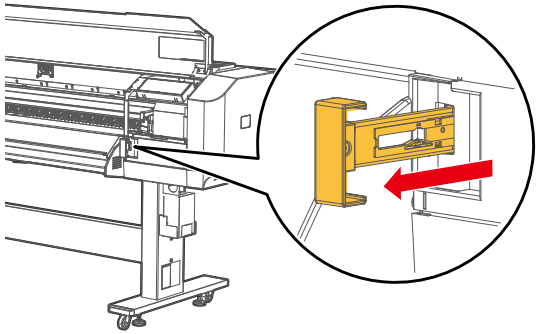
Important !!

エッジホルダーが変形している場合は、本製品の使用を中断し、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

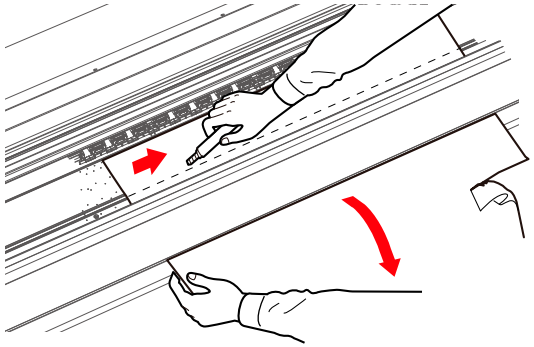
☞「お問い合わせ先」P.260



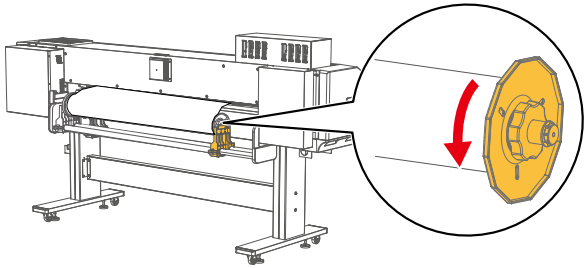
5 メディアセットレバーを一番手前まで引いて、加圧アームを上げます。



6 メディアを手前側に引き出して、破れた部分をメディアカット溝に沿ってカッターナイフ等でカットします。



7 ロール紙受けのフランジを回して、メディアを巻き取ります。



8 製品内部に紙くず、紙片等が残っている場合は、破れた紙片を取り除きます。

9 プリンターの電源をオンにします。

10 ノズルチェックで使用するメディアをセットします。

☞「メディアのセット方法」P.49

11 ◀ キーをタップします。

☞「ダイレクトキーの説明」P.29

12 [インサツ ヲ カイシシマスカ? ノズルチェックＦ] が表示されたら、↵ [Enter] キーをタップします。

- ノズルチェックパターン F を印刷します。

13 パターンを確認します。

- ノズルの目詰まりがある場合は、「ヘッドクリーニングをする」P.65 に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。

付録

本製品の仕様 253
オプション・サプライ品リスト 256
改訂履歴 259
お問い合わせ先 260

本製品の仕様

項目		説明
機種名		XPJ-1682UR
印刷方式		オンデマンドピエゾ方式
駆動方式		ファームウェアサーボ /DC モーター駆動
メディア搬送方式		多点加圧式グリッドローラー方式
メディア固定		手動レバーによる加圧アームダウン方式
インク硬化装置		UV-LED ランプ
使用できるメディア	外径	200mm 以下
	紙管径	2 インチまたは 3 インチ
	重量	30 kg 以下
	幅	500 mm ～ 1,625 mm
	推奨メディア厚さ	1.0mm 以下
最大印刷幅		1,615 mm
最大印刷長さ		200 m
ヘッド高さ調整		Low / Middle / High の 3 段階調整
インターフェース		Gb-Ethernet (1000BASE-T)
廃液タンク		本体固定式、容量 2,000 ml、ユーザーによる廃液排出
インク	色	6 色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト、バーニッシュ） 4 色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）
	種類	US61
	容量	US61： 220ml（インクカートリッジ）、800ml（インクパック） 洗浄液： 220ml（インクカートリッジ）

項目		説明
環境条件	本体動作環境	温度：20℃～ 32℃ 湿度：40% ～ 60%、結露なきこと
	本体精度保証環境	温度：22℃～ 30℃ 湿度：40% ～ 60%、結露なきこと
	変化率	温度：1 時間あたり 2℃以内 湿度：1 時間あたり 5% 以内
	本体保存環境	インク未充てん保存：6 か月以内 温度：-20℃～ 60℃ 湿度：20% ～ 80%、結露なきこと インク充てん保存：1 か月以内 *1 温度：5℃～ 30℃ 湿度：20% ～ 80%、結露なきこと *1 スリープモードによる常時通電、インク残量確認を行うこと。
	インク保存環境	• US61 インク ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト、バーニッシュ 温度：5 ℃～ 30 ℃（屋内暗所に保管すること） • 洗浄カートリッジ 温度：-20 ℃～ 40 ℃（40℃下1か月以内。熱源、可燃物から遠ざけ、換気良好な冷暗所に保管すること）
電源仕様	電圧	AC 100V ～ 240V ± 10%
	周波数	50/ 60 Hz ± 1Hz
	電流	AC 100V ～ 120V　10.5A 以下 AC 200V ～240V　5.0A 以下
消費電力	電源オフ時	20 W 以下
	待機時	70 W 以下
	スリープモード時	21 W 以下
	オペレーション時	950 W 以下

項目		説明
外形寸法	高さ	1,428 mm
	（大容量インクパックアダプター装着時）	1,611 mm
	幅	2,770 mm
	奥行き	895 mm
質量	本体	146 kg
	脚部	32 kg
	巻き取りユニット（オプション）	8 kg

オプション・サプライ品リスト

インク

型番	名称	販売単位
US61-BK220	ソフト UV インクブラック（Bk）220 ml	1 箱（1 個入り）
US61-CY220	ソフト UV インクシアン（Cy）220 ml	1 箱（1 個入り）
US61-MA220	ソフト UV インクマゼンタ（Ma）220 ml	1 箱（1 個入り）
US61-YE220	ソフト UV インクイエロー（Ye）220 ml	1 箱（1 個入り）
US61-WH220	ソフト UV インクホワイト（Wh）220 ml	1 箱（1 個入り）
US61-VA220	ソフト UV インクバーニッシュ（Va）220 ml	1 箱（1 個入り）
US61-BK800	ソフト UV インクブラック（Bk）800 ml	1 箱（1 個入り）
US61-CY800	ソフト UV インクシアン（Cy）800 ml	1 箱（1 個入り）
US61-MA800	ソフト UV インクマゼンタ（Ma）800 ml	1 箱（1 個入り）
US61-YE800	ソフト UV インクイエロー（Ye）800 ml	1 箱（1 個入り）
US61-WH800	ソフト UV インクホワイト（Wh）800 ml	1 箱（1 個入り）
US61-VA800	ソフト UV インクバーニッシュ（Va）800 ml	1 箱（1 個入り）
UH22-CL220U	洗浄液（CL）220 ml	1 箱（1 個入り）

Important !!

インクは純正品を使用してください。本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能をフルに発揮できるよう製造されています。非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響が出る場合があります。異なる種類のインクへの入れ替えには対応しておりません。

サプライ品

型式	名称	販売単位	備考
RH2 クリーンスティック	クリーンスティック	1 箱（100 本入り）	-
VJ-HCIPAR	ＶＪ用アダプタープラグ	1 箱（20 個入り）	-
DROPPER 6PACK SET	デスペット６個セット	1 箱（6 個入り）	-
VJ-ULVA1-ML500U	専用メンテナンス液	1 本	-
IJ-RWPS-02	交換用ワイパーセット	1 箱（2 個入り）	-
IJ-UVGLS-03	UV-LED 用ガラス	消耗品	-
IJ-UVFLT-03	UV-LED 用フィルター	消耗品（6 個入り）	-
IJ-FLABS-03	フラッシング吸収材	1 箱（3 個入り）	-
POLYNITW2	ポリニットワイパー	1 箱（300 枚入り）	-
IJ-EFFLT-01	ファンフィルター	消耗品（18 個入り）	-
IJ-RLCLNK-01	レールクリーナーキット	1 箱（1 個入り）	-
VJ-CB	カッター替刃	1 箱（1 個入り）	交換用カッター

オプション品

型番	名称	販売単位
VJ-AC15SJ	AC ケーブル（電源コード：日本国内安全規格対応品）	1 本
MEDIA-FLANGE	ロール紙フランジ（トルク：1kgf・cm）	1 箱（1 個入り）
MEDIA-FLANGE-H	ロール紙フランジハイトルク（トルク：4kgf・cm）	1 箱（1 個入り）
VJ-HCIPADPT-UV8	大容量インクパックアダプタ	1 セット（8 本入り）
IJ-TUP30-01	巻き取り装置（対応メディア重量：上限 30kg）	1 台
VJ16/19-TUP40U	巻き取り装置（対応メディア重量：上限 40kg）	1 台
IJ-TUP100-01	重量巻き取り装置 100kg（対応メディア重量：上限 100kg）	1 台
IJ-NZMD-01	吐出検知ユニット	

Note

詳細については、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

☞「お問い合わせ先」P.260

改訂履歴

制定年月	版数	マニュアル管理番号	対応ファームウェア
2024.07	00	XPJ1682URJ-A-00	V.1.00
2024.09	01	XPJ1682URJ-A-01	V.1.00
2024.10	02	XPJ1682URJ-A-02	V.1.01
2025.01	03	XPJ1682URJ-A-03	V.1.02
2025.03	04	XPJ1682URJ-A-04	V.1.03
2025.08	05	XPJ1682URJ-A-05	V.1.05
2026.03	06	XPJ1682URJ-A-06	V.1.05 以降

お問い合わせ先

本製品で技術的にお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL: 0120-174911

FAX: 0120-184711

E-mail: gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00